

A U M C O M I C S

AUM COMICS

SPIRIT 2

スピリット・JUMP

ジャンプ



君も体験できる!!
第一話 原宿遊び人から修行者へ
第二話 死の扉をくぐって

監修: 麻原彰晃
作画: AUM MAT STUDIO

スピリット・ジャンプ 2

監修: 麻原彰晃
作画: AUM MAT STUDIO

オウム出版

S P I R I T J U M P



ISBN4-87142-037-X C0079 P420E 定価420円(本体407円)

☆ AUM COMICS

SPIRIT 2

スピリット・JUMP
ジャンプ

君も体験できる!!

第一話 原宿遊び人から修行者へ

第二話 死の扉をくぐって

※この2つのストーリーは、ノンフィクションです。

監修：真理の御魂^{みたま} 最聖 麻原彰晃尊師

作画：AUM MAT STUDIO

君は人間を超えたいと思ったことはないだろうか？

「自分の力はこんなもんじゃないんだ！」と

心の中で叫んだことはないだろうか？

そんな君のためにこの本はある

ここでご紹介するのは

ただのヒトが

修行に巡り合い

解脱をし

人間を超えた神の力

つまり

大なる智慧と神通力(超能力)を

身に付けてい、過程を描いた

ノンフィクションである

修行によって

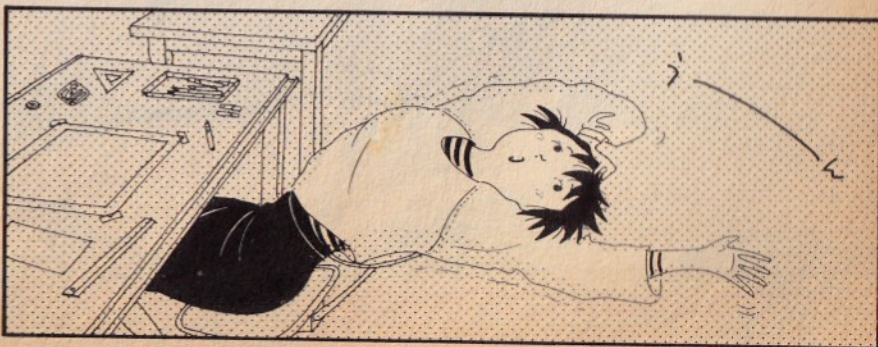
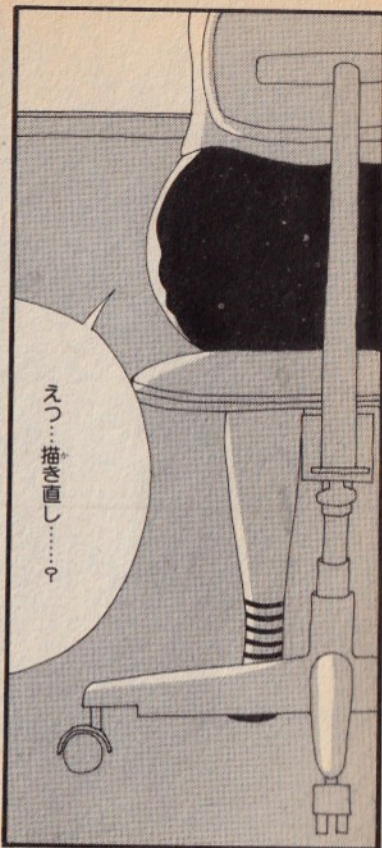
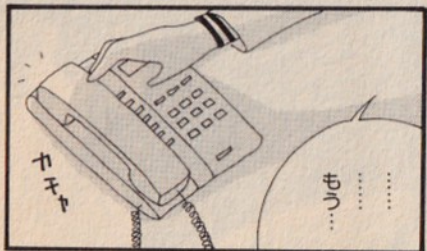
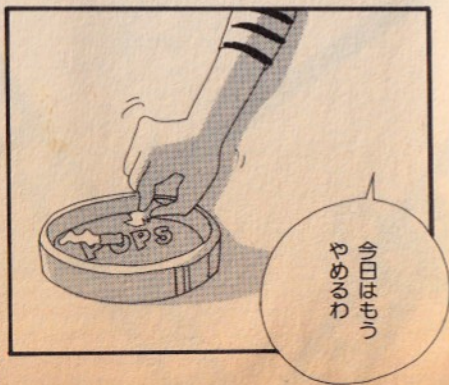
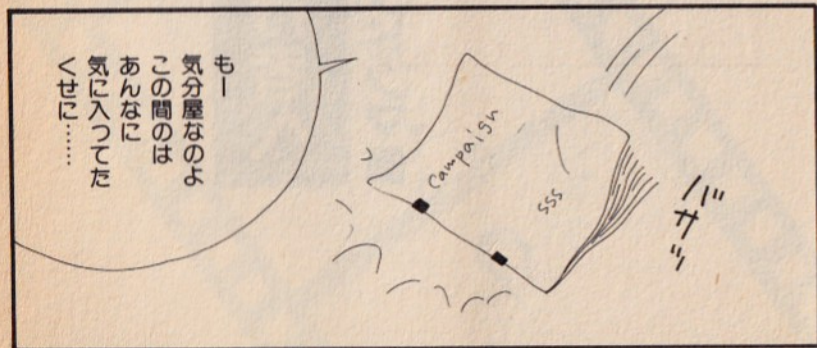
ヒトは進化できる

そう

君も必ず体験できるのだ

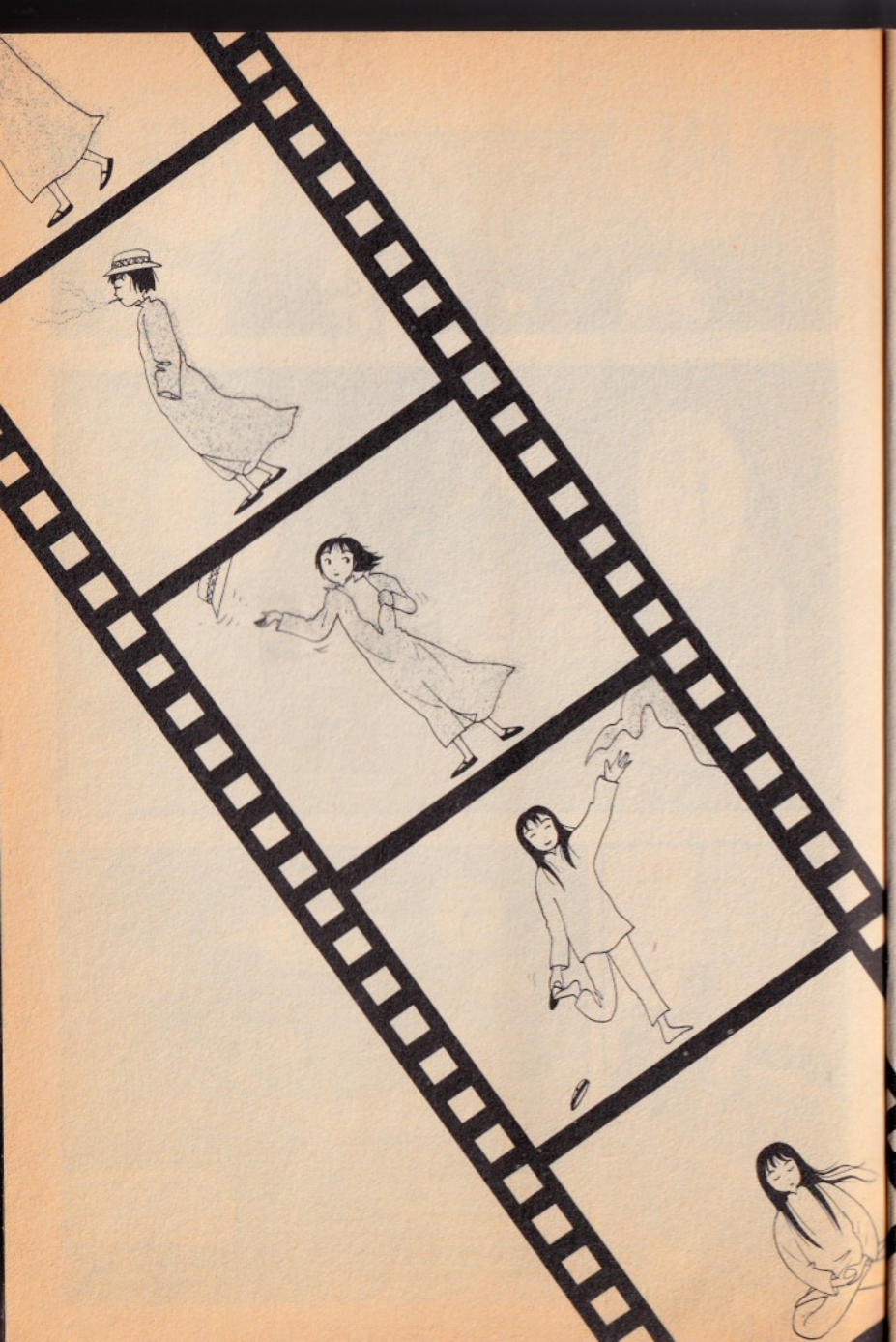
※原作 神通力者への道 1〜2
ビデオ 神通力者への道 ①②
も発売されております(共にオウム出版)

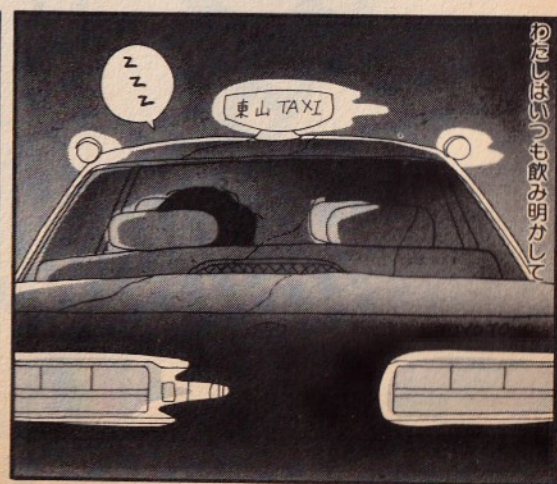
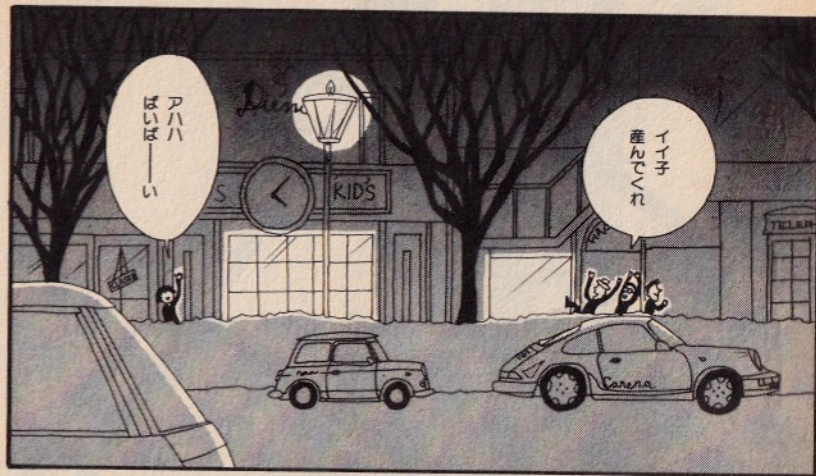
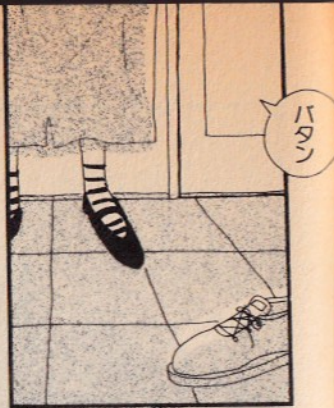


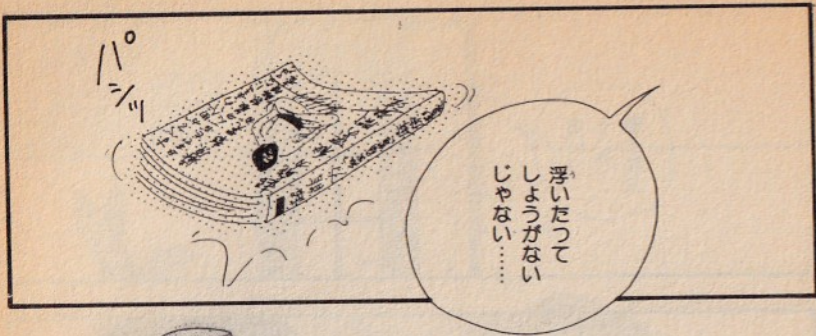


原宿遊び人から修行者へ

マチク・ラフドゥンマ師







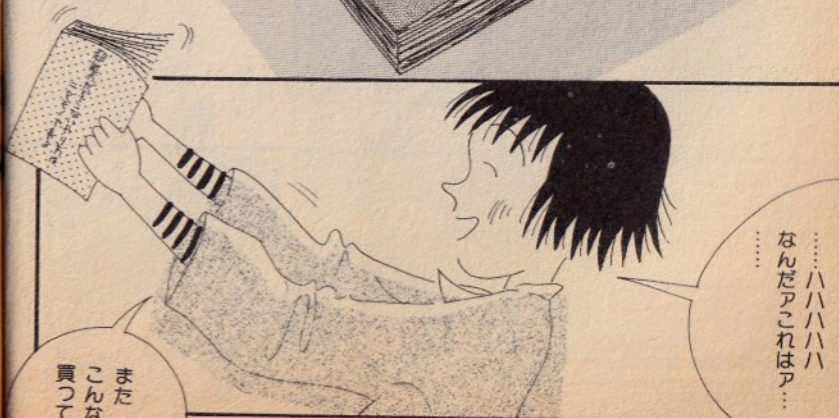
浮いたって
しょうがない
じゃない……



うーん



あ——っ
これはっ!!!

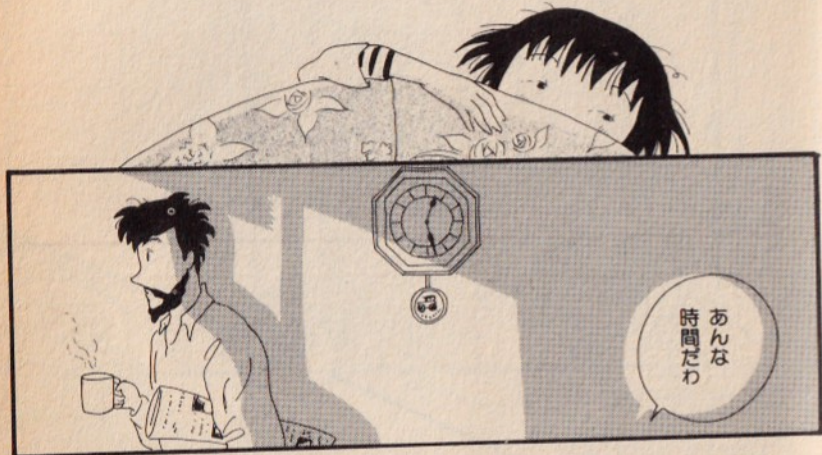


な——んてね
……ハハハハハ
……なんだアこれはア……

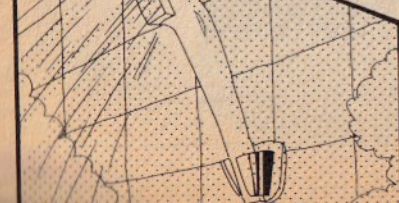
また
こんなもん
買ってえ……



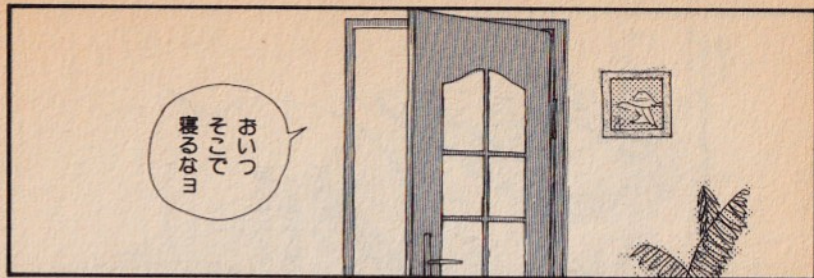
んー？
……



あんな
時間だわ



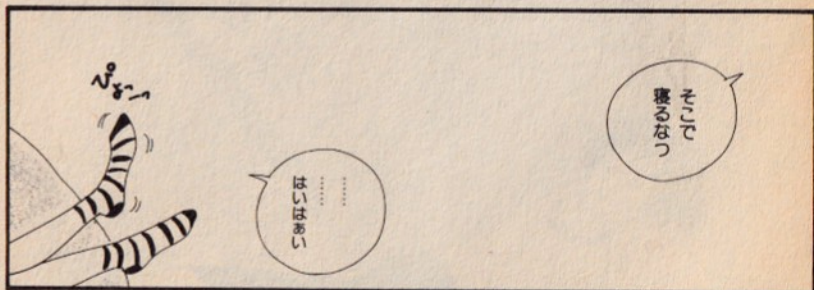
あー、
スカート
しわになっちゃっ
たじゃない…



あいつ
そこで
寝るなっ



はあ
……

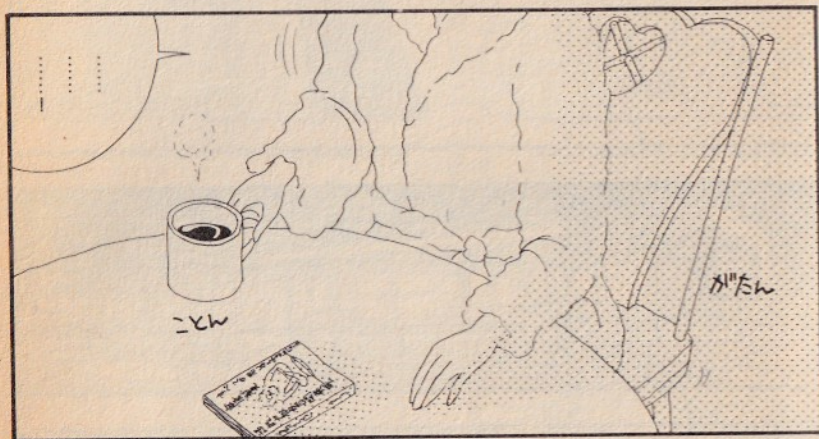


そこで
寝るなっ

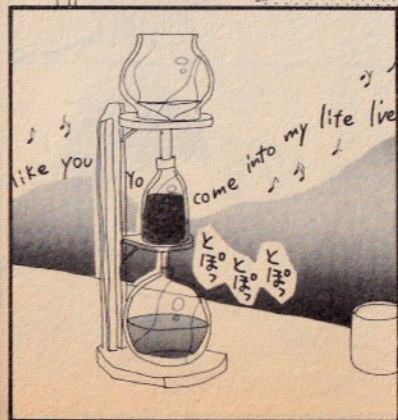
はあ
……

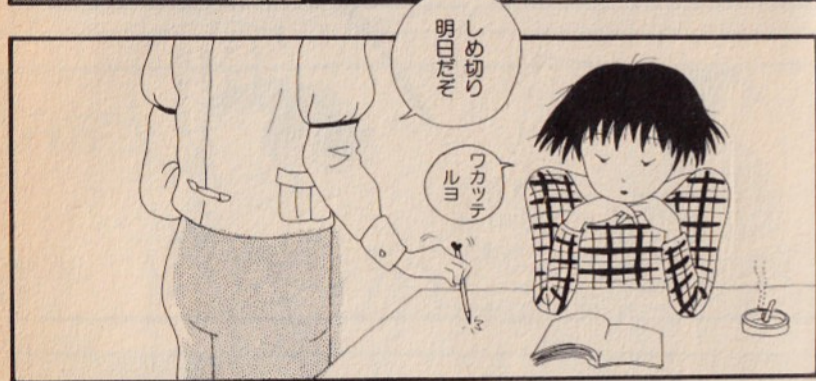
だから
……
そこで



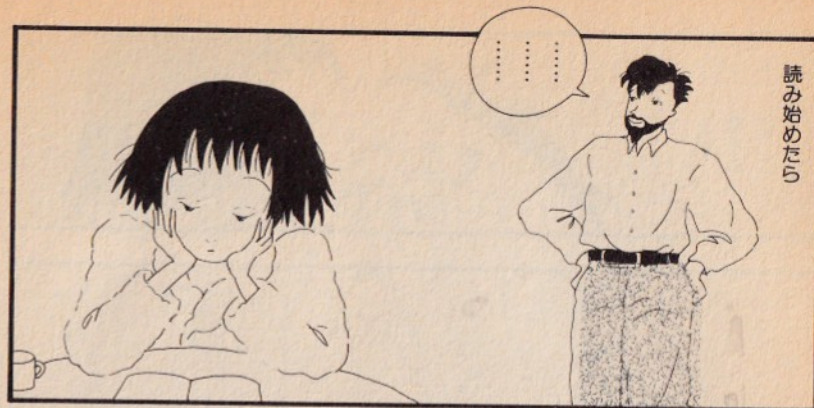


その本は不思議な本でした

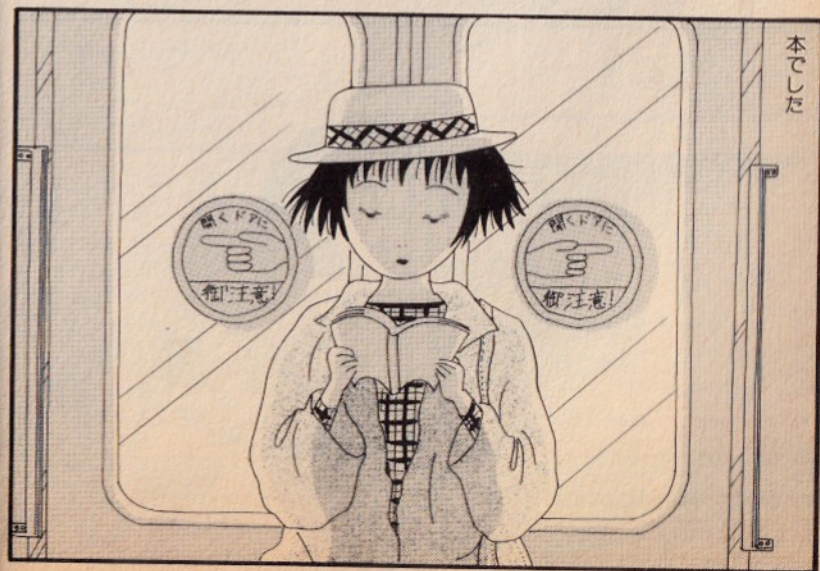
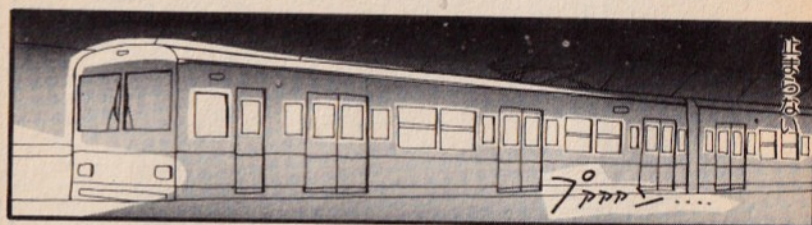




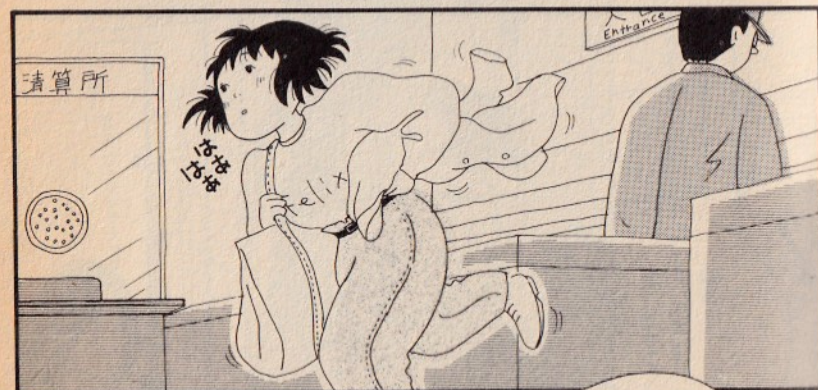
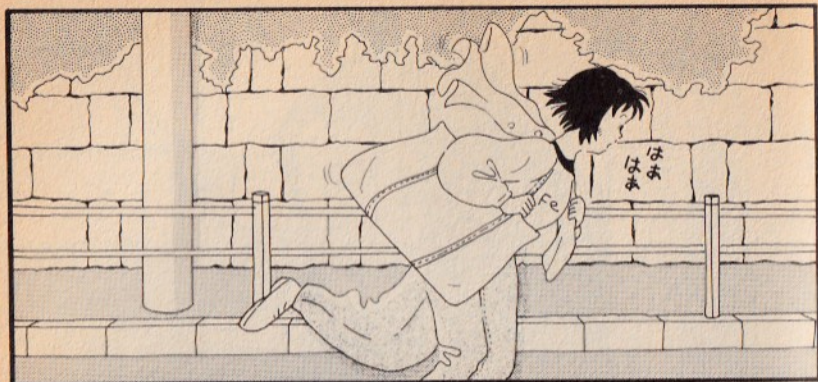
これって
もしかしたら
本物かもしれない!!!



読み始めたら



本でした

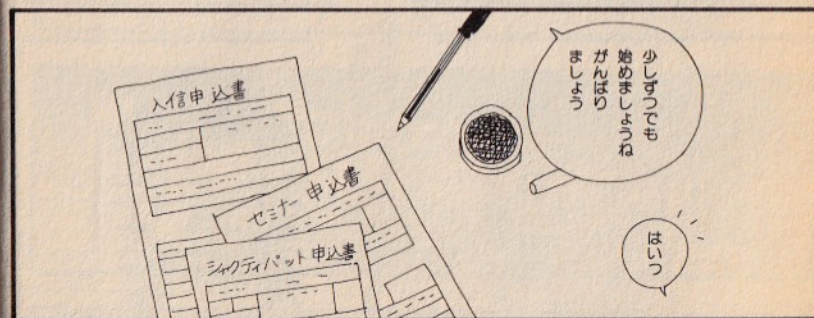


いつもなら
遅れても
絶対こんなこと
しないのに……



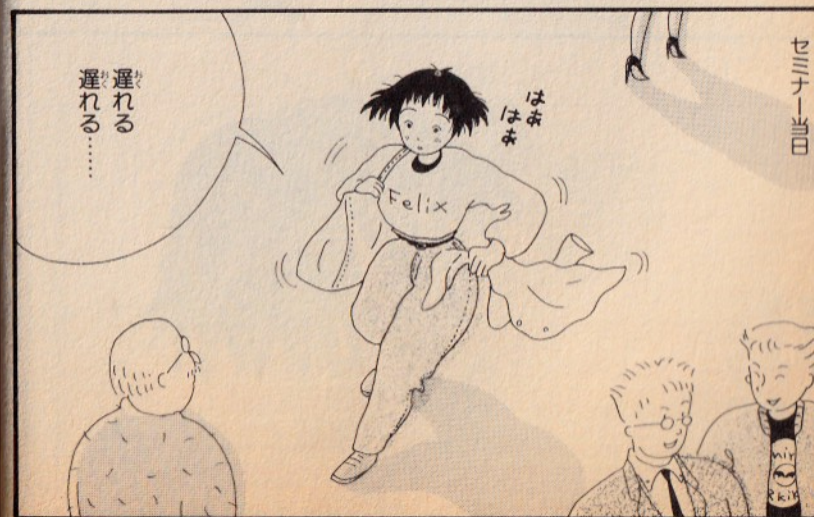
えーつと
この角を
曲がって……

入信したのは本を手
してから一カ月後でした



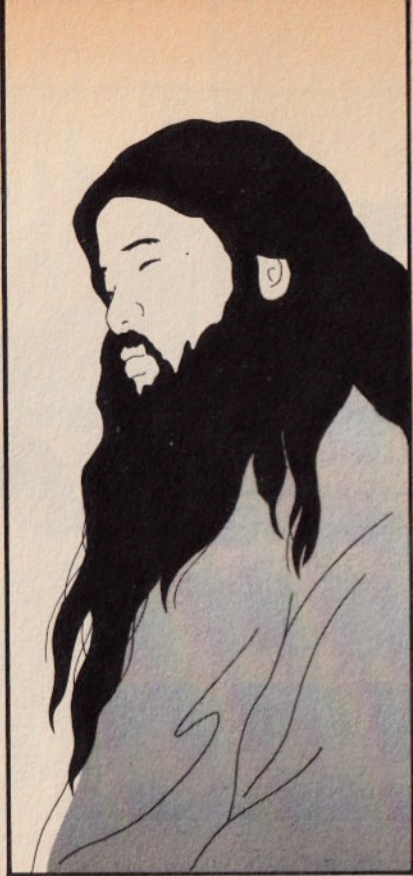
少しづつでも
始めましょうね
がんばり
ましょう

はいっ

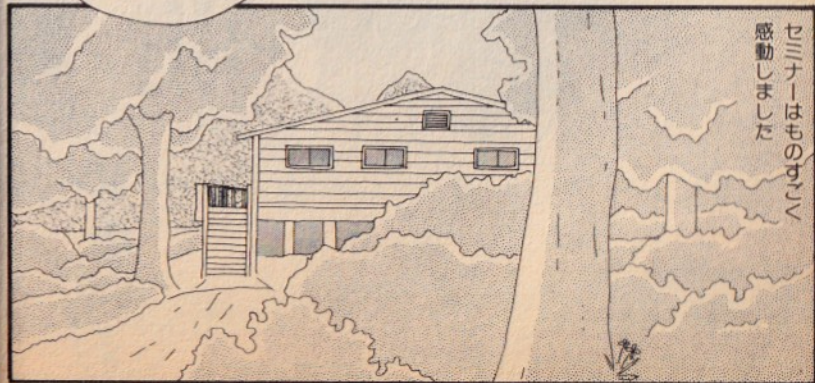
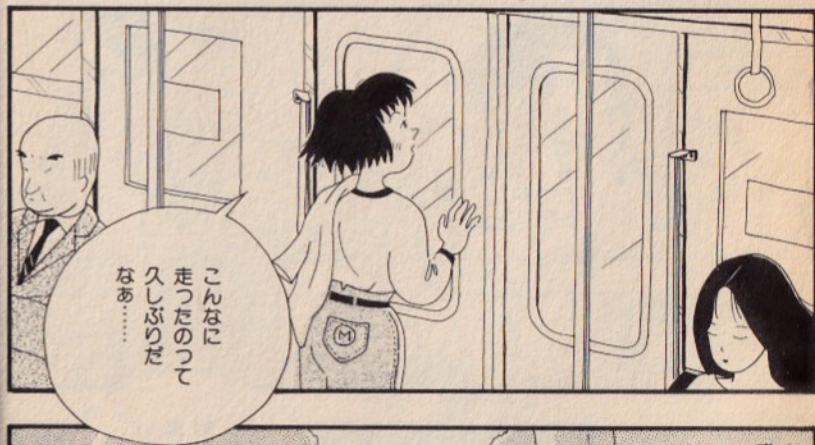


セミナー当日

遅れる
遅れる
遅れる……

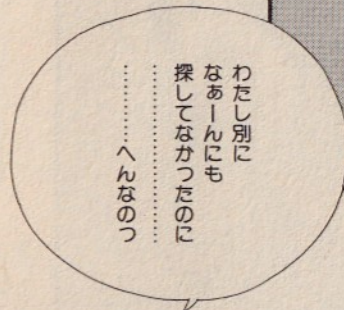
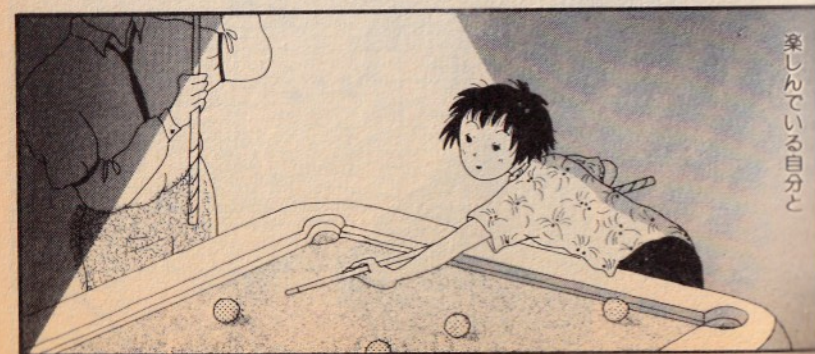
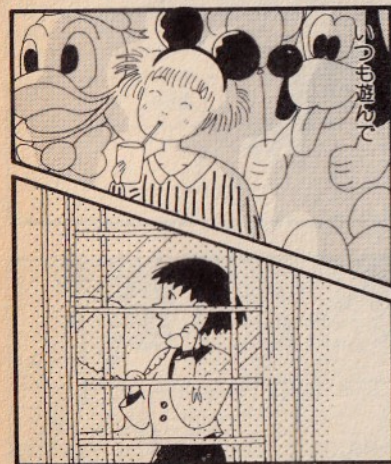
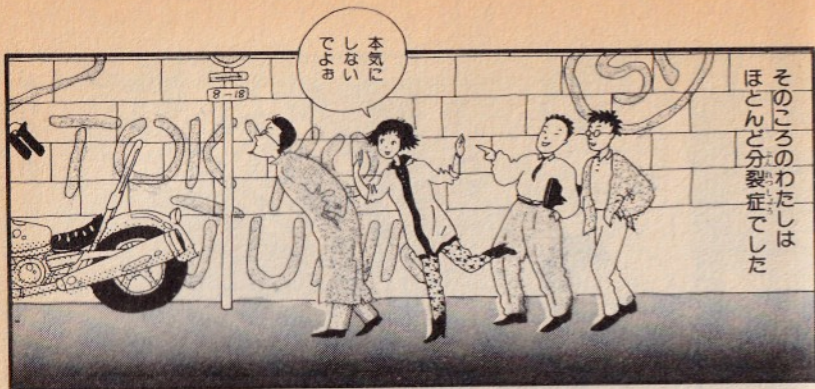


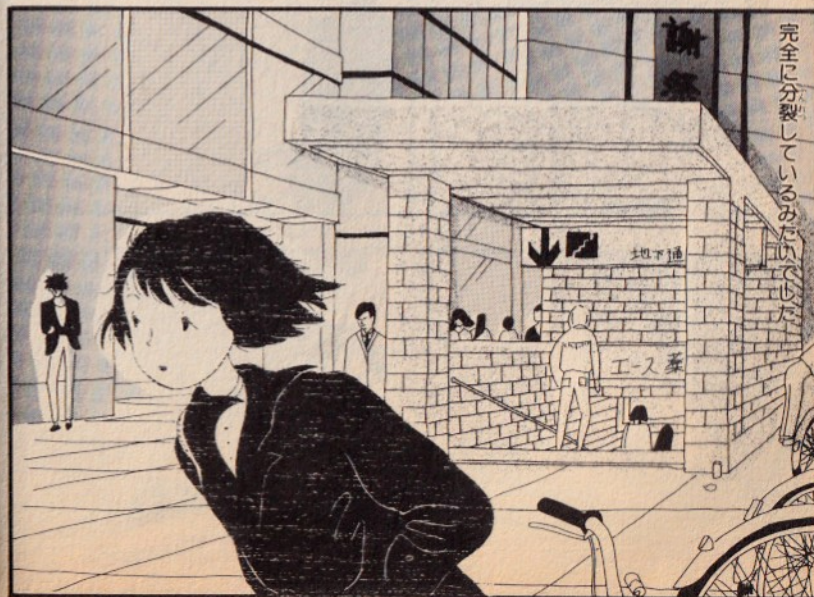
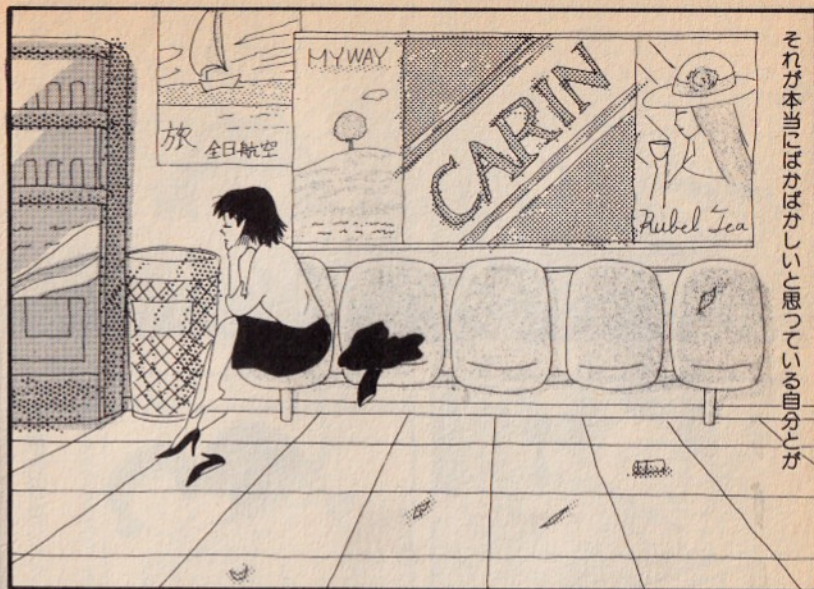
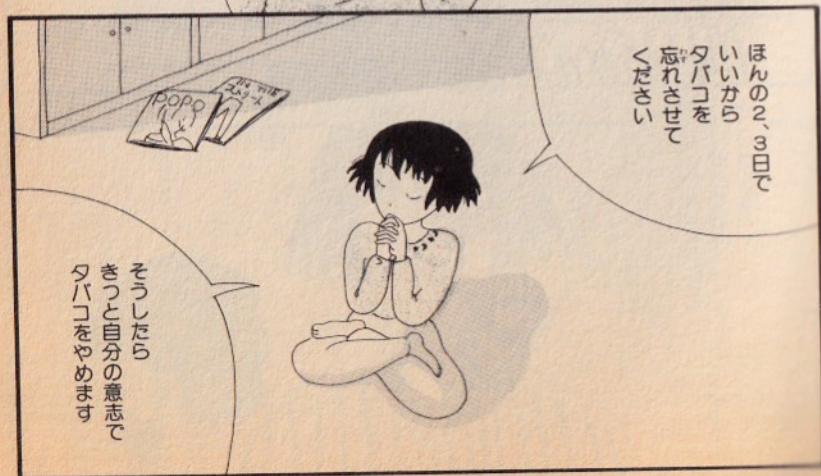
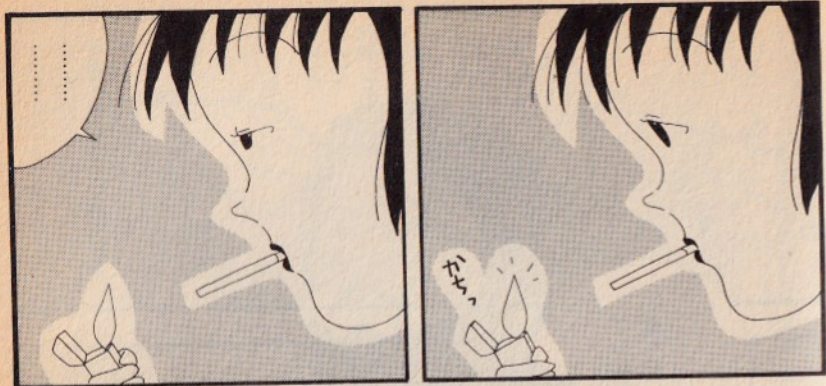
導師のおっしゃっていることは全然わからなかったけど……



セミナーはものすごく 感動しました







シヴァ神にそう願ったら
次の日からタバコも
お酒もびたつとやめられま
しました

今夜は
2人で
瞑想しよう
か？

うんっ

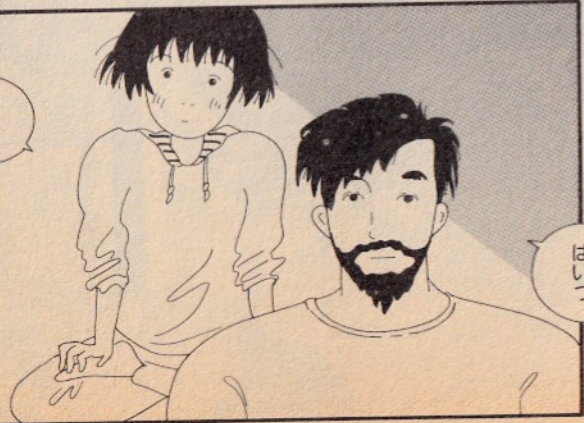
こんな生活も
悪くないなあ
……



いつかはわたしも
出家するの
かしら……

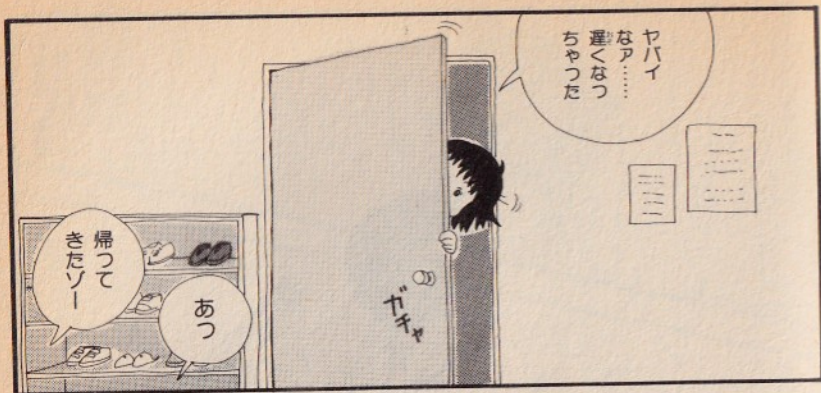
道を求めていた彼に引っぱられ、出家したのは入信して
わずか十カ月でした

出家を採るなら
別れなさい
今日からお互いに
一人の修行者だ

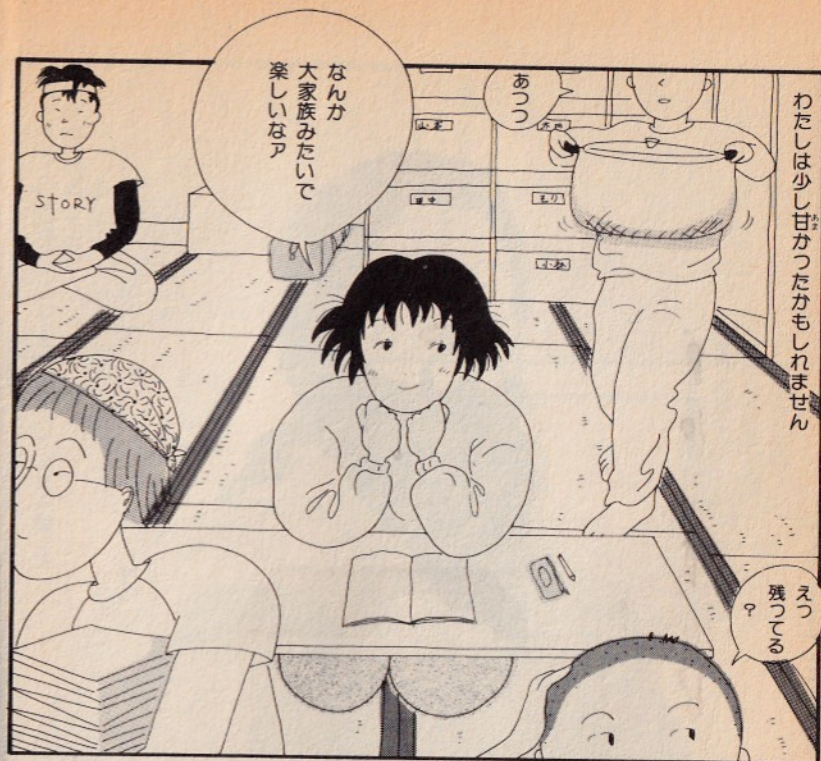


はい

はい



※個室にもつて外界との接触をできるだけ断ち、自己の心の内側でアプローチしていく修行方法



わたしは少し甘かったかもりません



※出家修行者の買い食いは禁止されている

※外的情報を少なくした環境を設定することで、心は自然に自己の内面に向かうようになった。

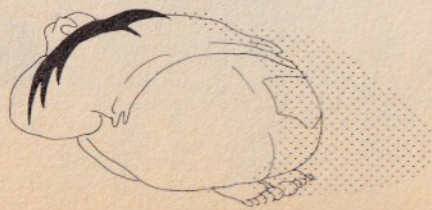
しずの部屋



十日後のしずの部屋
潜在意識が目を覚ます

会いたいなア

彼に会わせて……



会いたい
会いたい
会いたい

わたしって……

こんなに彼が
好きだったんだ

APPLE TREE

殺生のカルマを持つ人は、暗闇に対する激しい恐怖心を持つている。その恐怖に耐え続けることができず、カルマの清算がなされ、殺生のカルマの消滅と同時に恐怖心も消えてしまう。

このカルマは
逃れられない

このカルマの法則から
逃れられる人は
いないんだ

わたしの恐ろしい堕胎のカルマ
サングレします
サングレします



この殺生のカルマによつて
わたしは今
こんなに暗闇に恐怖する

なんて重い
なんて重い

尊師
いつまで耐えれば
このカルマは
清算できるのですか

眞理を知らずに
なしてさ
行為の故々が
わたしのアストラルを
ゴトサルをけがし、見せて感念を



この闇はいつまで続くのでしょう……

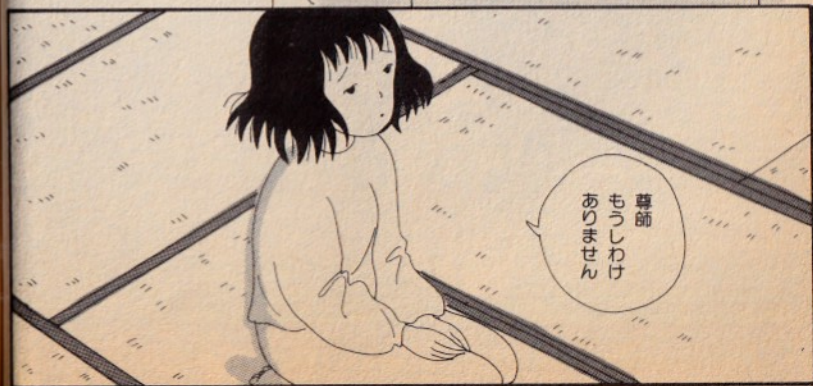
尊師
もつわたしには
耐えられません



結局耐えられず一回目の個室修行は失敗に終わりました

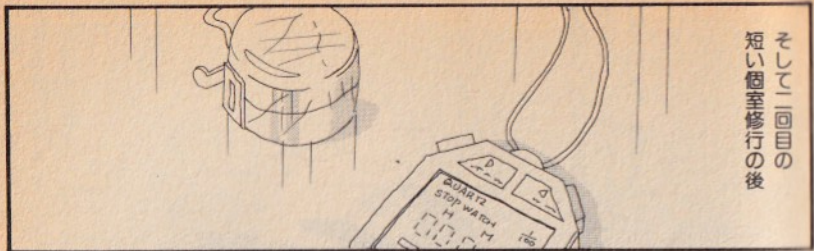


それはバルドーの体験だ
本来なら死後味わう恐怖を
ここで体験して
カルマが少し落ちただよ

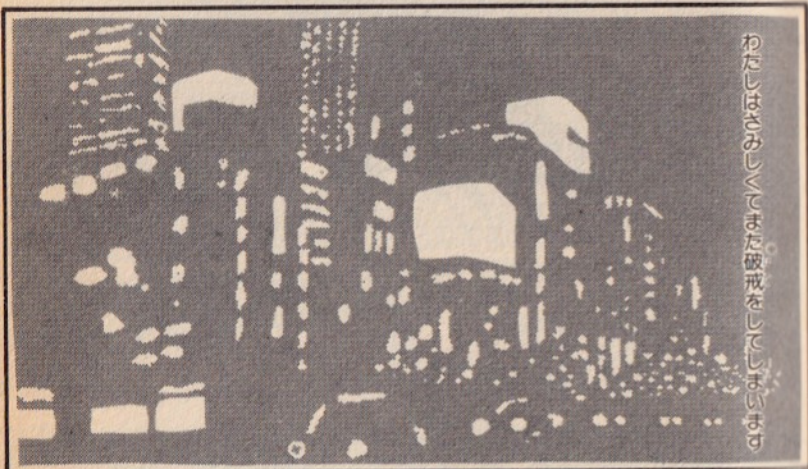


導師
もつしわけ
ありません

そして二回目の
短い個室修行の後



わたしはさみしくてまだ破戒をしてしまいます



幸田家修行者は、勝手に遊びだ出歩くとをば禁止されている



そこに
座りなさいー

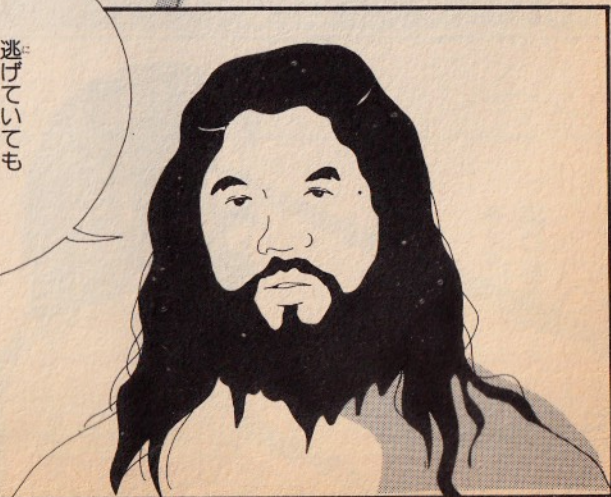
導師が与えてくださったエネルギーによって
わたしは罪悪感でいっぱいになりました

導師もうしわけありません
本当にもうしわけありません
わたしは帰依が足りません

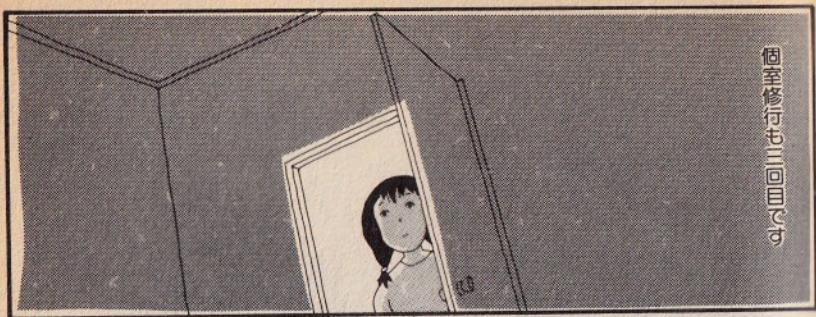


逃げていても
しようがない
殺生のカルマを
落として煩惱と
対決しなさい
がんばれ！

ハイッ



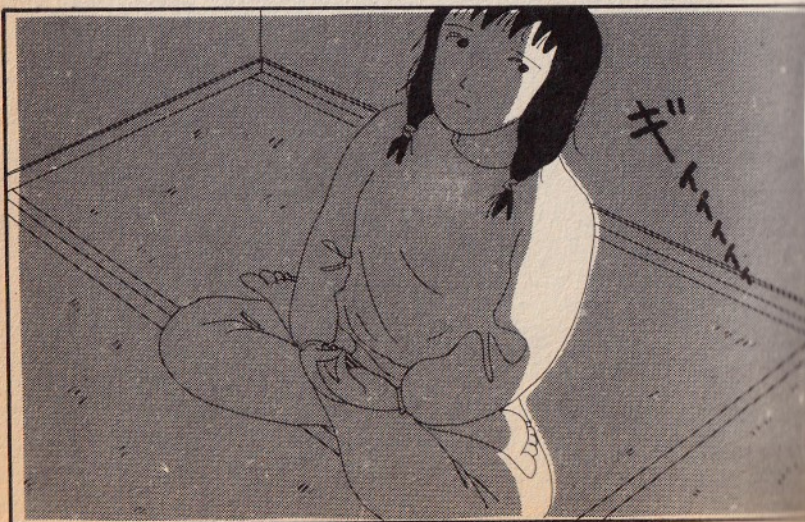
個室修治部三回四回



もしも
逃げ
わけは
いかに
ない



ギトトトト





恐怖は何田目から来たのだらう
闇が迫ってこみ
密度の濃い暗闇が
刃物のやうに襲ってこむ

ここは無間地獄なのか

体中がカタカタ震え出す
底知れぬ恐怖に落ちていく
これがわたしのハルノー
これがわたしの世界なんだ

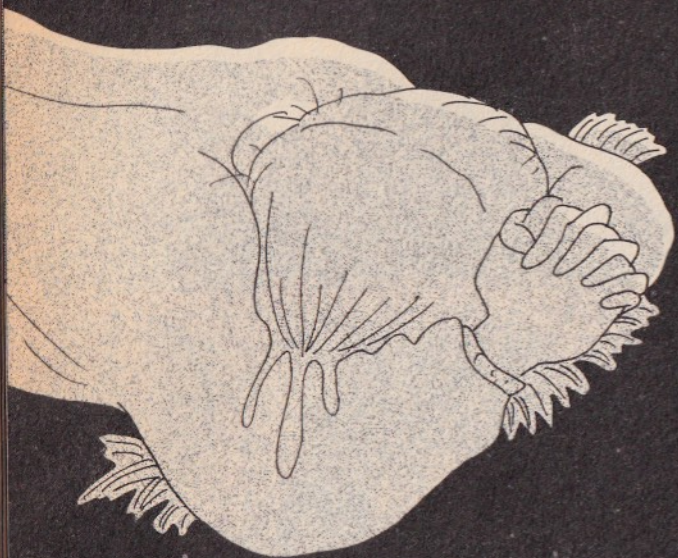
これはわたしがつくった闇
どんなに逃けても
ごまかしても
まぎれもなく
これがわたしの世界

それに気づいてしまった今は
耐えるしか
これを抜け出す道はないんだ



もう二度と同じ過ちを繰り返さないために
もっと苦しんで……
苦しんで……
カルマを落とすしかない

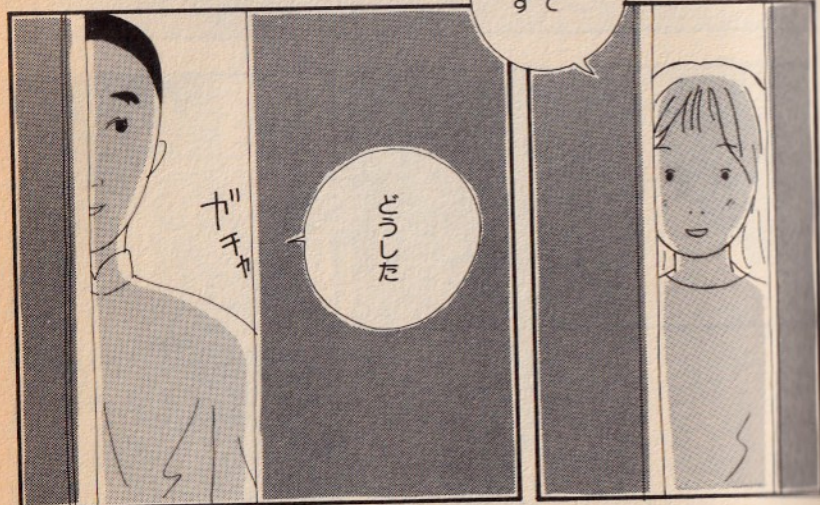
尊師光をください
尊師の光の世界に
私を導いて……





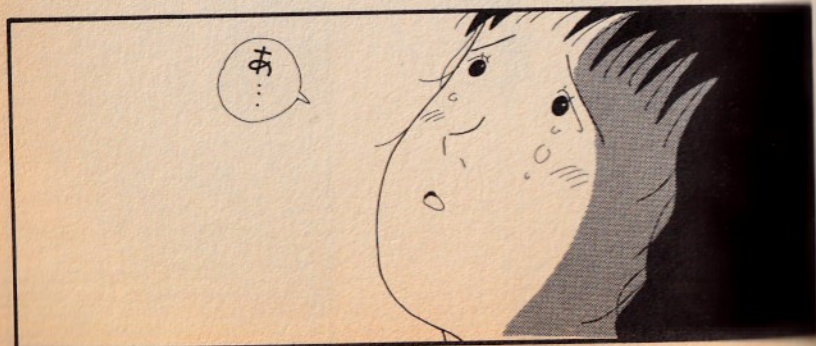
導師に
電話を
かけさせて
ください

師に
聞いて
きます



ガチャ

どうした



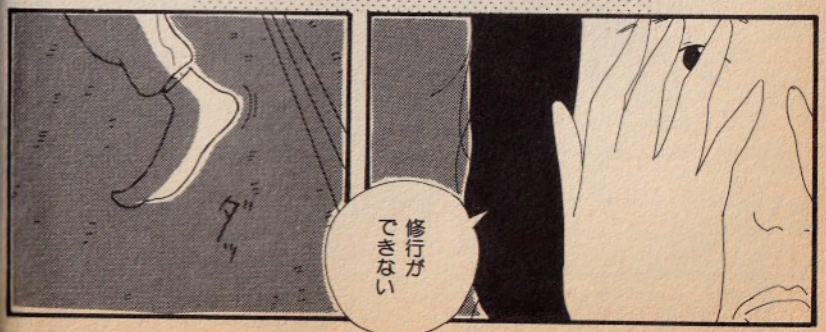
お...



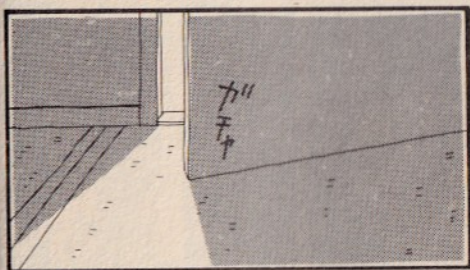
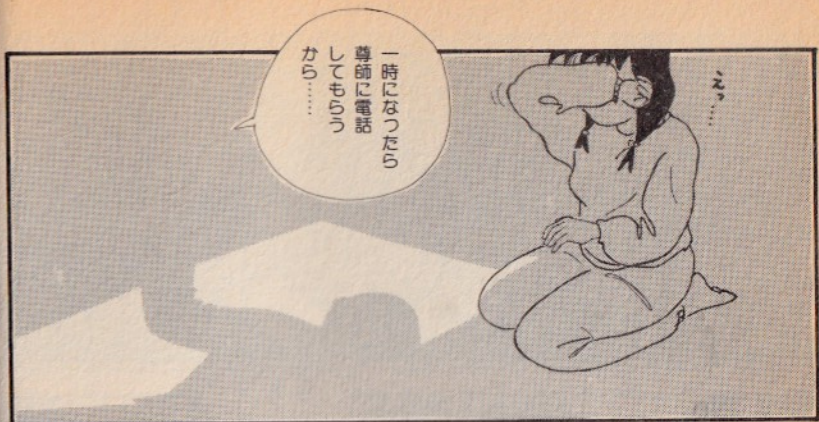
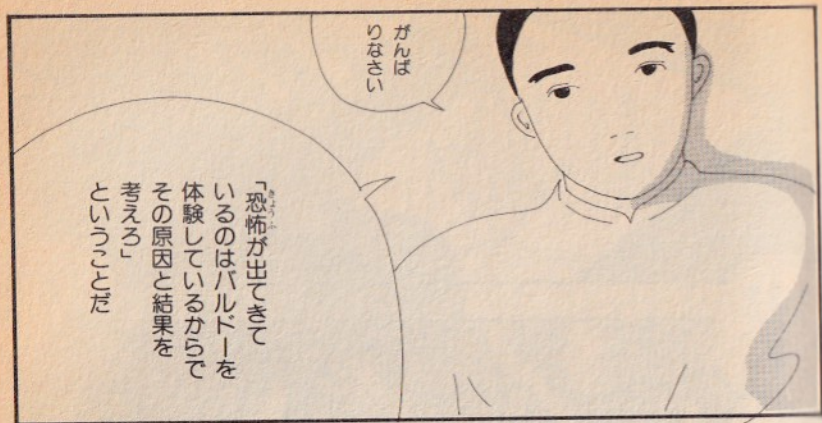
必死でグルを観想すると
いくらでも呼吸が
止めらねる
意識が飛んでしまっ
た...



座法を組む
少しでもじワツクスすると
すぐに
恐怖に
負けて
しまっただけなら
眠らない
食へない
ひたすら座り続け
緊張状態にして
闇を遠ざける



修行が
できない



心臓が破裂しそう……

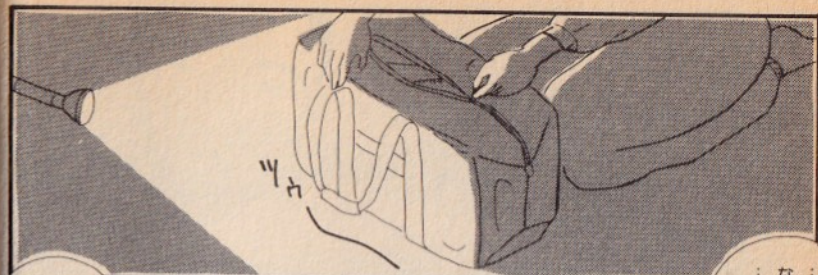


狂ったほうが
いい……

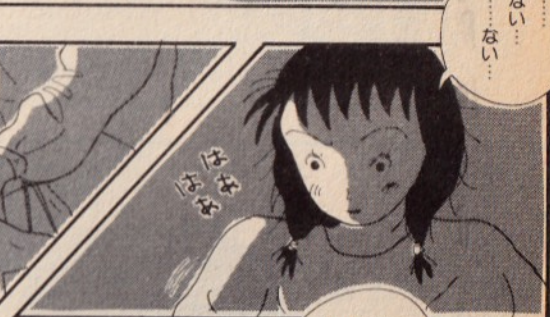


どこにも
尊師の代わりに
なれる人なんていない……

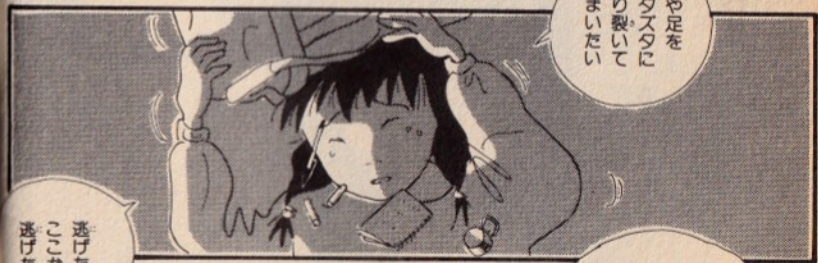
でもここへ行くのや
尊師のそばを離れて



もし
カッターを
もっていたら



……
ない
ない……



手や足を
スタスタに
切り裂いて
しまいたい

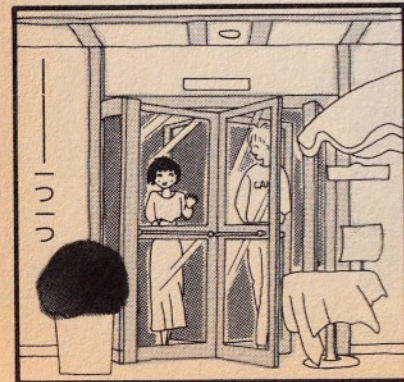
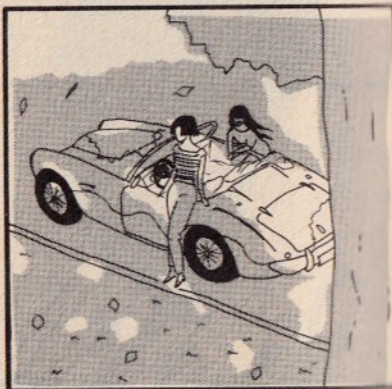
逃げたい
ここから
逃げたい



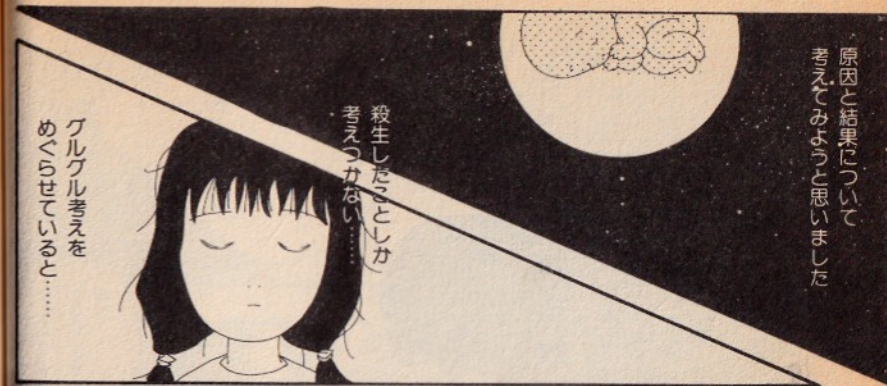
尊師
この精神的恐怖より
肉体的に痛めつけて
カルマを落とすほうが
ずっと楽です
尊師……
尊師……



楽しいと思っていたこの



異性につきあっていたかたの



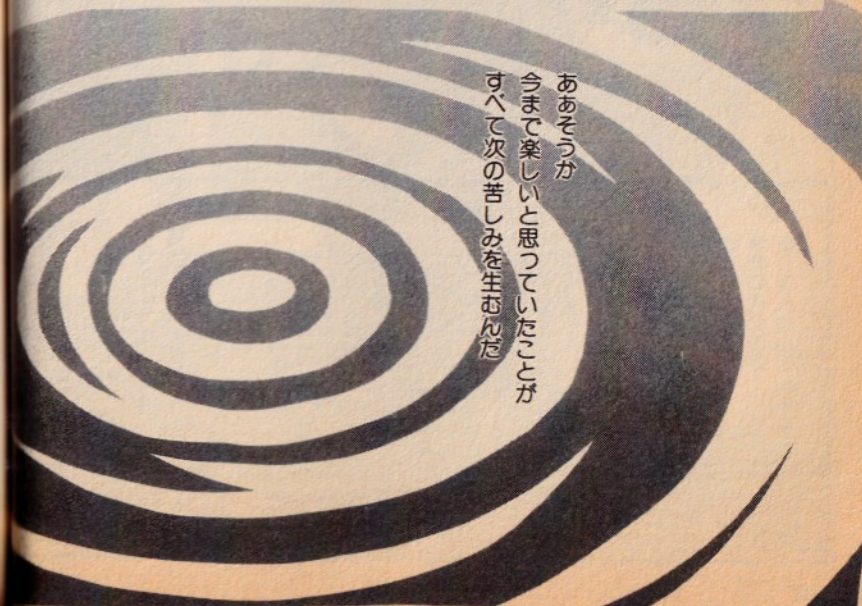
原因と結果について
考えてみようと思いましたが

殺生したことしか
考えつかない……

グルグル考えを
めくらせていると……



あ……

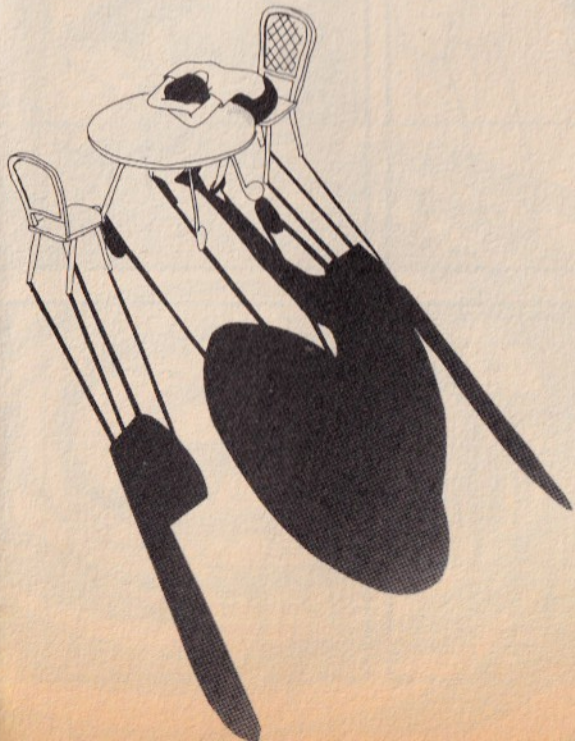


ああそうが
今まで楽しいと思っていたことが
すべて次の苦しみを生むんだ

それらは一見楽に見えていても



すべては次の苦の因にしかかかっていないんだ



その瞬間に心が鎮まりました
おそくおそく目を開けてみま
う
いしまゆり
密度の濃い闇

ああ
本当に
ハルトーの中
にいるんだ



でもその暗闇を
目を見開いて見ることができな
いから
恐怖心は消えています

尊師ありがとうございます
まだ先は長いけど
がんばります

その後、わたしはさびしい
悲しみのバルドーを
通り抜け

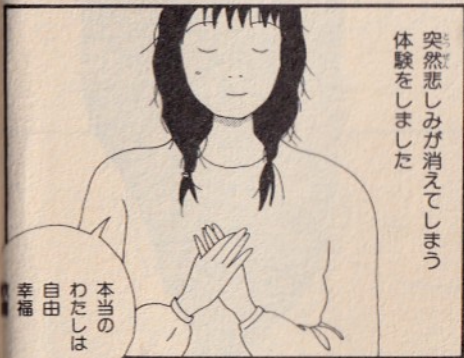


意識の相転位が起こり

そうだ!!
このさみしさは
わたしのもの
じゃない...

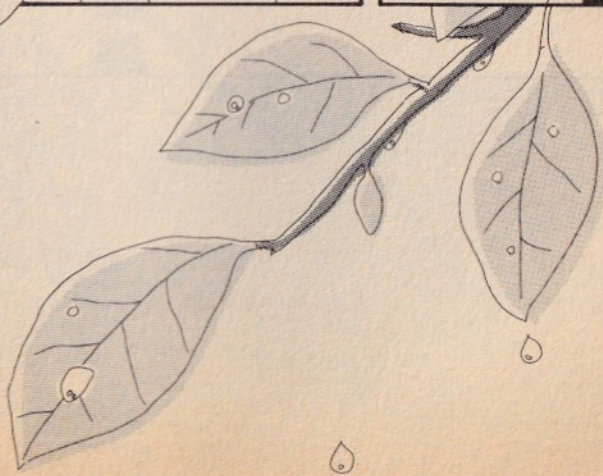
ハキッ

突然悲しみが消えてしまう
体験をしました



本当の
わたしは
自由
幸福

今まで楽しみにとらわれてっけ
心をくさらせてしまった……自分……



帰依が欲しい



今一番欲しいものは
グル(導師)とシヴァ大神
100%の帰依
もう自分はいらない
グルの分身になりたい

そう思ったら
わたしはグルの世界に入りました

すべての人がいとおしい
それまで嫌いだった人も
わたしを傷つけた人も
すべての人が
マハーヤーナへ至ることを心から願ひ
喜べる
グルの世界はなんて素晴らしいんだろう

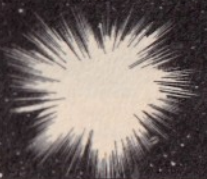


ブルーの
光が
見える



透明で
優しい…

白銀や
白い光と
混ざりあい
とても
美しい…



頭頂からは
白銀の光が降り注いできました

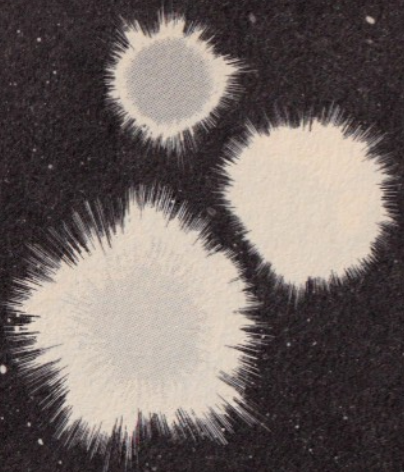


そのときとても柔らかい
光が生じてきました

グルに帰依できたとき
初めてわたしたちは
グルの分身になれるんだ…

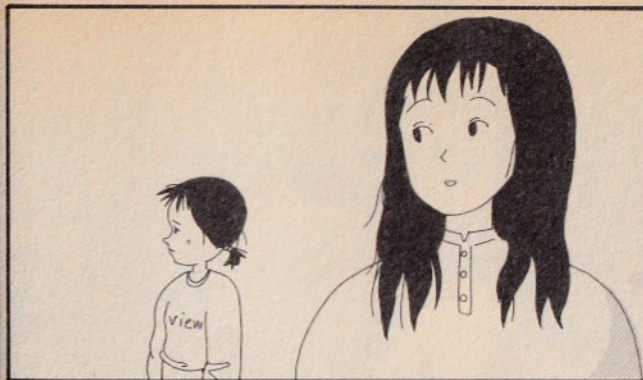
わたしのすべてが
グルとなることができたら

ようやく訪れたラーシヤ・ヨーガの成就。
このとき、わたしたちを迷妄の世界に巻き込んだ
三クナという三つのエネルギーを監視することが
できました。

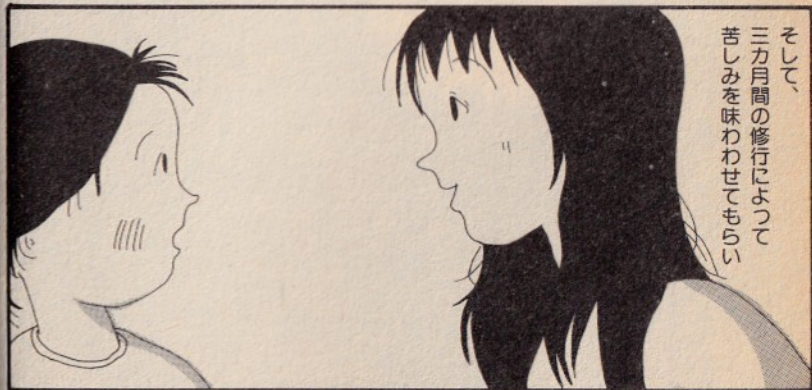


尊師からいただいたホーリー・ネームは
マチク・リフドンク
これは新しいチュウの眞想をのみ出した
チヘツト密教ニツク派の
女性修行者に由来の密前であら
尊師ありがたのいのちをこま
この密に聴きなごみついに
まつたもつて強い帰依ができますように

成就直後わたしには遠くのヒソヒソ話が聞こえたり願望成就がひんぱんに起こったりしました



そして、三カ月間の修行によって苦しみを味わわせてもらい



以前よりはるかに人の痛みがわかるようにもなりました



しかしわたしは残っている悪いカルマによって全力で支部活動ができませんでした

わたしのカルマを落とすために輪廻は次々と新しいマハー・ムドラーを落とし続けてくれた。それは弟子に苦しみを味わわせることによりカルマを落とすことによりカルマを落とすこととするグルの愛でした

マチフみたいなのは第一段階のクンタリニー・ヨーガで止まるだろう

まだまだカルマが落ちていない

マハー・ムドラーとは？

マハーは「大いなる」、ムドラーは「空」という意味つまりマハー・ムドラーは「大空」という意味であるこれはすべての現象が心の本質の現われにすぎないものであるということを知ることが弟子に知らしめるための特別な秘法
ここでグルは弟子に対して他心通、死生智等のデータをもとに弟子の心の本質を現象化していく

マチフを見てると無理だ!!

第一段階のラーシャ・ヨーガで大師とする制度は廃止する

ラーシャ・ヨーガ成就
から三カ月後、
わたしは本格的な
クンダリーナー・ヨーガに
向けての極厳修行に
入りました



完全に
地獄のカルマの
ウィジョンばかり
出てくる

どうしてわたしは
こんなにカルマが
悪いの？

しかしカルマというものは
ひたすら耐えていねば必ず
落ちます



グルにマハー・ムドラーをかけていたたく
ことよってわたしの中の苦しみが落ちて
楽が現象化し始めました



導師……
ありがとうございます
マコト様





とっぴやう
遊び好きのわたしは
ブイジョンの中で
誘惑に負けて
しまっつた……

そのとき導師がヒューロカキを叩いて
イニシエーションを与えてくださいました



今のが導師に
はたかたはつて
しまっつた……



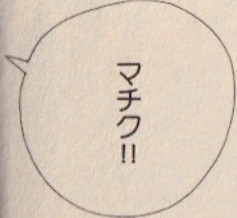
なだだ
これは



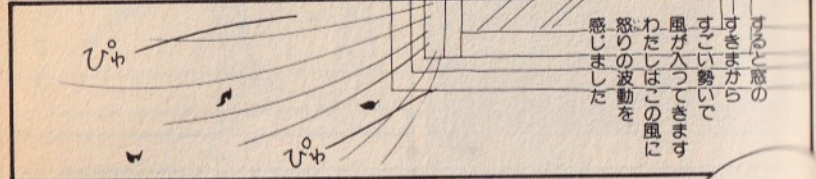
変な男が
てきたゾ

そんな状態じゃ
成就は
無理だつー

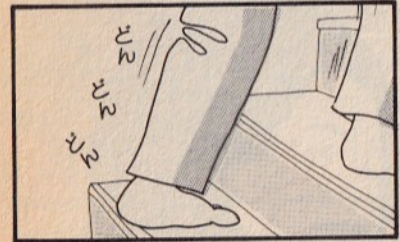
やっつばり
導師には
全部わかつて
しまっつた



大丈夫
かしら



すると怒の
すきまから
すごい勢いで
風が入ってきます
わたしはこの風に
怒りの波動を
感じました



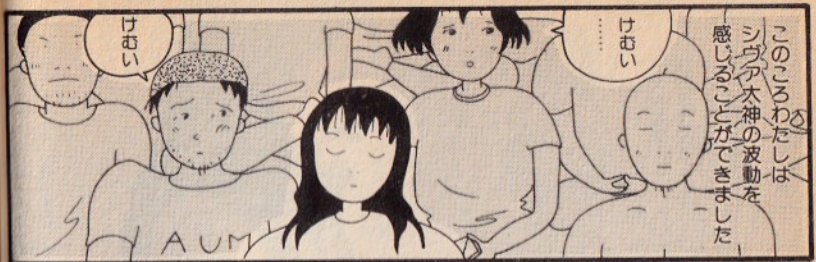
シヴァ大神が
怒っているんじや
ないかしら

やっぱりわたし
間違ってたのね

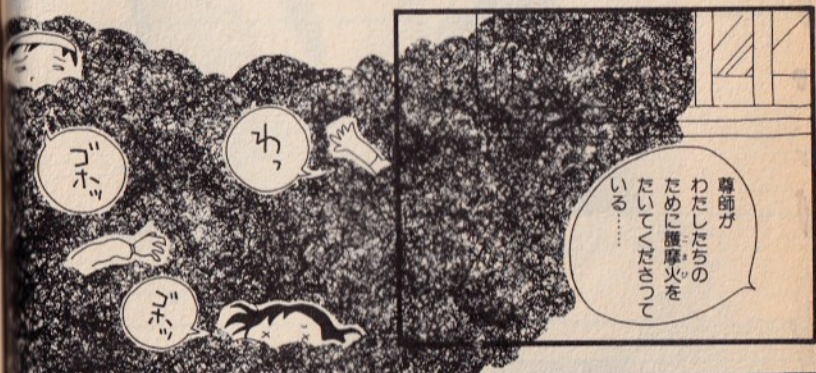


シヴァ大神が
怒っているじゃ
ないか!!

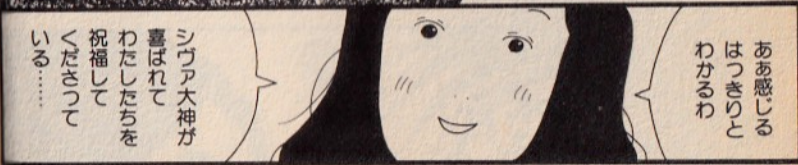
何を
しているー



このころわたしは
シヴァ大神の波動を
感じる事ができました



導師が
わたしたちの
ために護摩火を
たいてくださって
いる……



ああ感じる
はつきりと
わかるわ

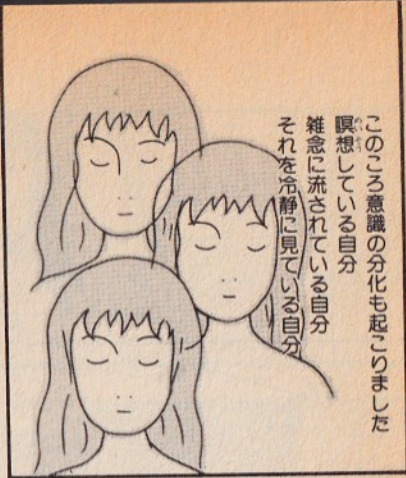
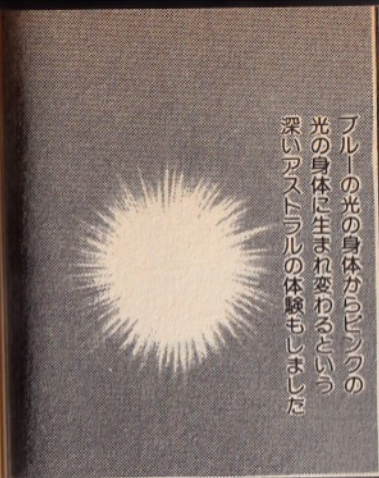
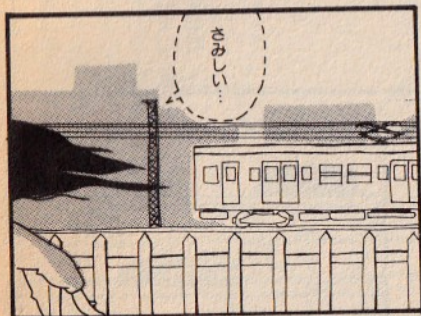


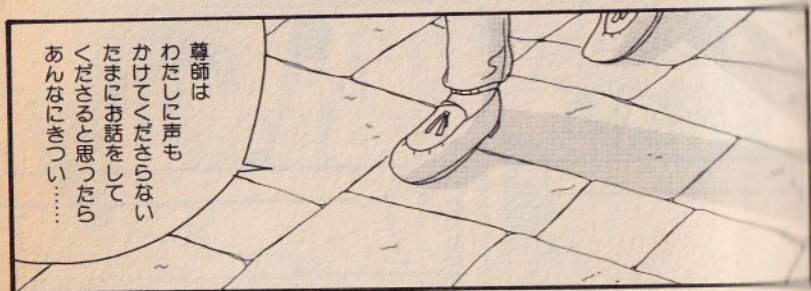
けむくて
修行が
できないヨ
閉めます

あ

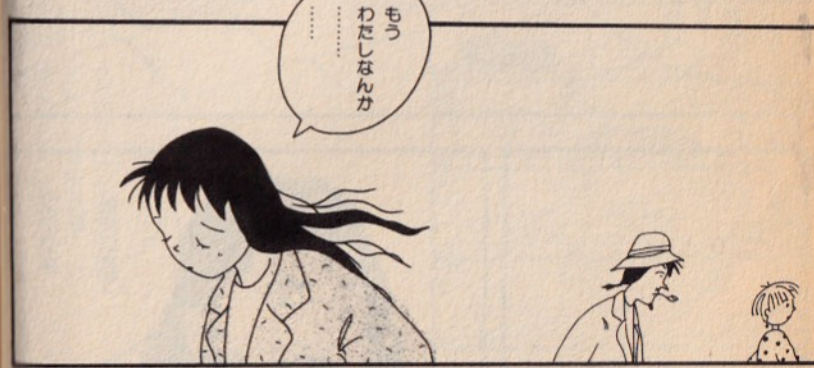
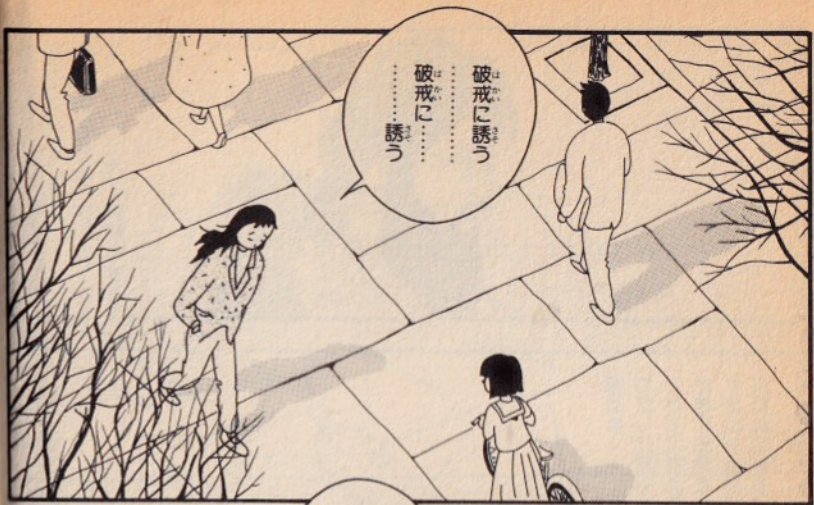
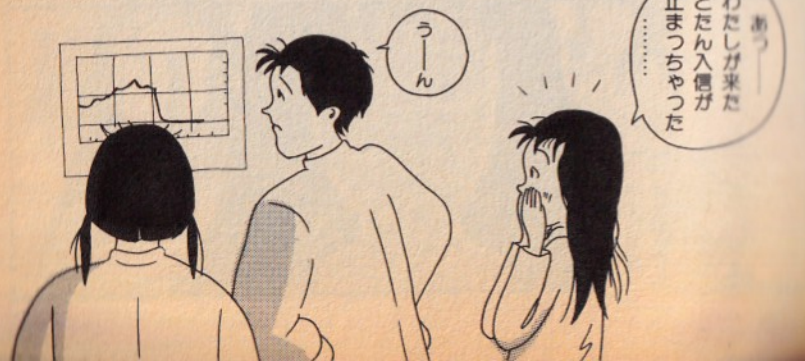
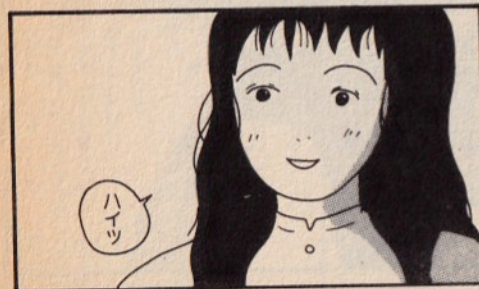
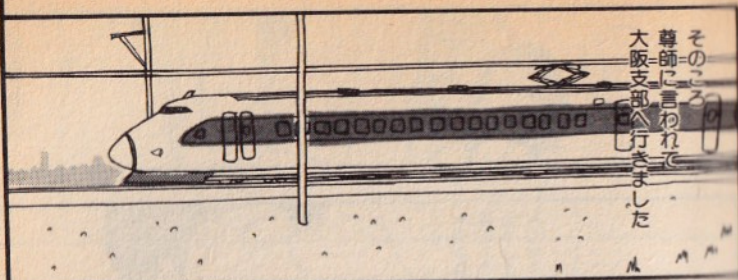


すこーく
気持ちいいなア



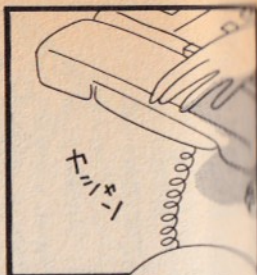


大阪支部長は当時マハー・ムドラー成就直前
といわれていたマイトレーヤ正悟師





だから
電話だった
の？



カチン

尊師からです
青田さんのこと
について母が
なりました



「ヤソーダラー
正大師と
同じことを
聞いていらっしや
る!!」

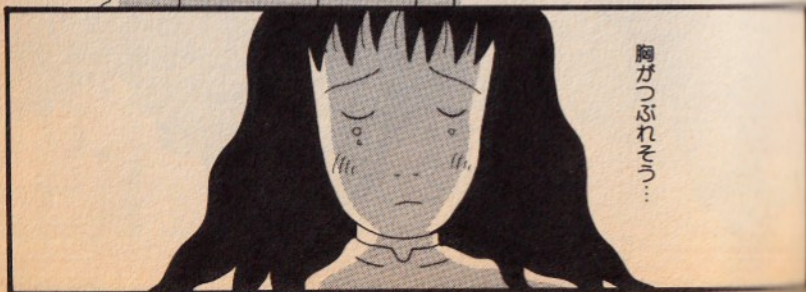
「どうして
わたしに直接
聞いてくれない
のー」



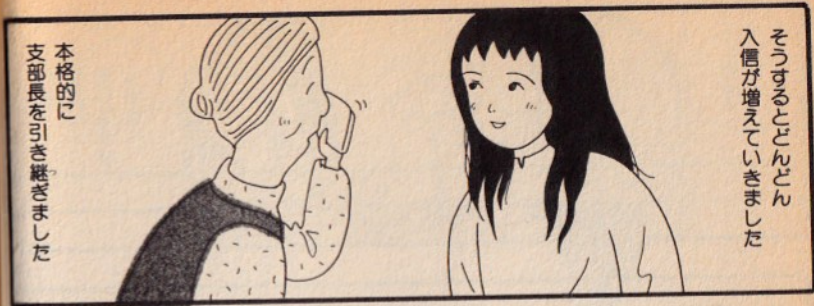
「わざわざ
わたしに電話に
出られないようにして
他の人に聞かなくてー」

「尊師は
わたしを全く
信用して
くれないー」

尊師は青田様の
支部長と直接連絡を
取り合っていました
がわたしには
全く声をかけてく
ださなかつた

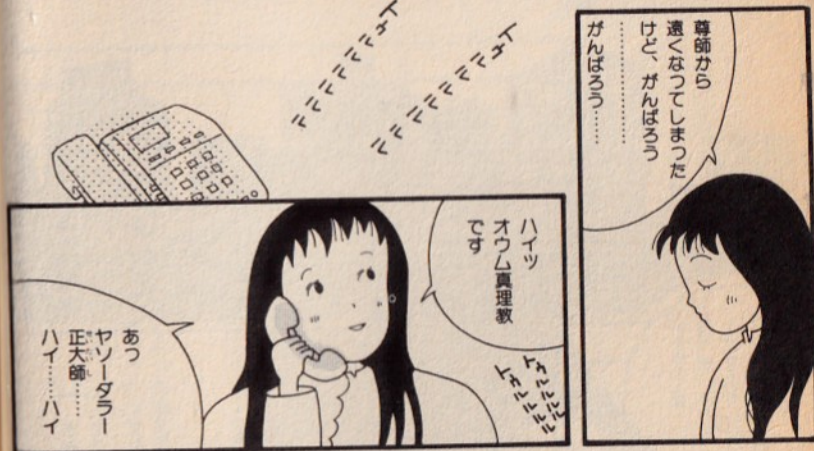


胸がつぶれそう...



そつするとどんどん
入信が増えていきま
した

本格的に
支部長を引き継ぎま
した



尊師から
遠くはなつてしまつた
けど、がんばろう
がんばろう.....



~~~~~  
~~~~~

「ハイッ
オウム眞理教
です」

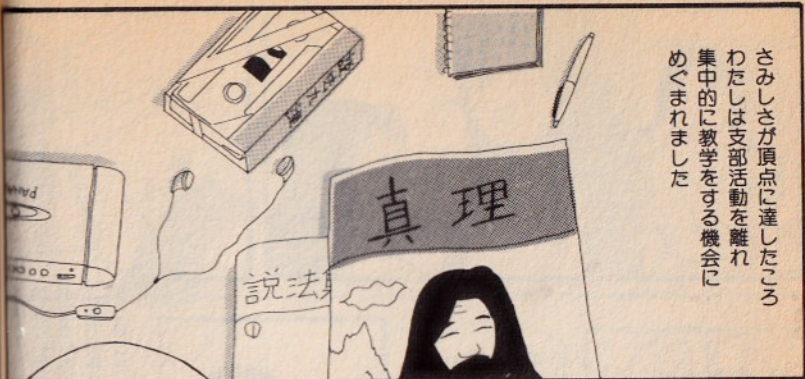
「あつ
ヤソーダラー
正大師.....
ハイ.....ハイ」



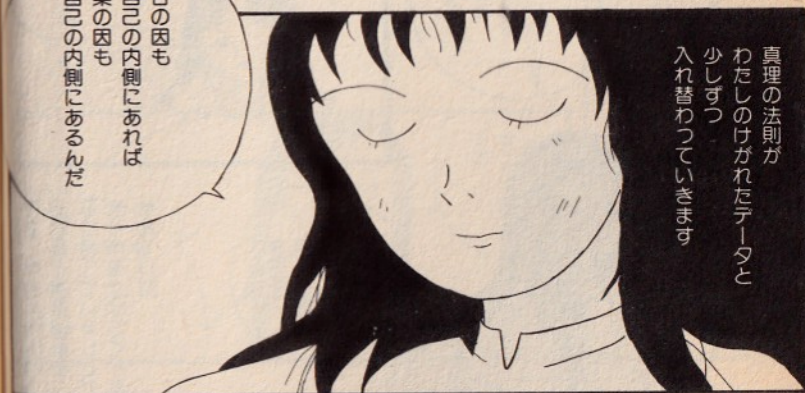
「ええ.....
あつそれは
同じ人です
.....ハイ
.....ハイ」

「ハイッ
オウムです
あ、ハイッ
ハイッ.....」

さみしさが頂点に達したころ
わたしは支部活動を離れ
集中的に教習をする機会に
めぐまれました



真理の法則が
わたしのけがれたデータと
少しずつ
入れ替わっていきます



苦の因も
自己の内側であれば
楽の因も
自己の内側にあるんだ

さみしいっていう感情は
自分が何かを求めているから
出てくるんだ
認めてもらいたいのに
満たされず
苦しかつただけ
自分をなくしてすべてを
供養してしまえばいい
自分の求めているものを
すべて尊師に供養してしまおう



は、は、

わたしは器が小さいから
いろいろなものに
振り回されて苦しむ
でも尊師でさえ
「自分を何度壊したか
わからない」
とおっしゃってるじゃないか
自分に執着するからさみしい
自分を何度でも壊して
つくり変えていきたい……

わたしが修行することの二つの意味は
わたしと縁のある人を
真理に結びつけることなんだ……
尊師の本当の意味での分身になりたい
ひたすらケルと信徒さんとのパイプ役になろう



ずいぶん
苦しんだなあー
三日前くらいはさうとう
暗かっただろう
わたしはいつでもマチクワを
見ていたんだヨ

がんばれ

いつでも苦しみが消えたとき
グルの偉大さが
わかります

どんなに嫌われようが
憎まれようが
本当に相手の幸せを考えて
マハー・ムドラーをかけてくださる
グルの愛の深さはかりしれません



そう思ったら本当に心がチンシしました

はいっ
マチクワです



おー
マチクワ
どっだ
元気にやってるか

尊師…

ずいっと小さいころから引きずってきた心のさみしさが
消えてなくなりましたので

ワンタリー・ヨーガを成就して
もう三年もたちます



今わたしは尊師によつてもたらされた
心の成熟と神通力によつて



あら
こんにちは

日々の救済活動に励んでいます



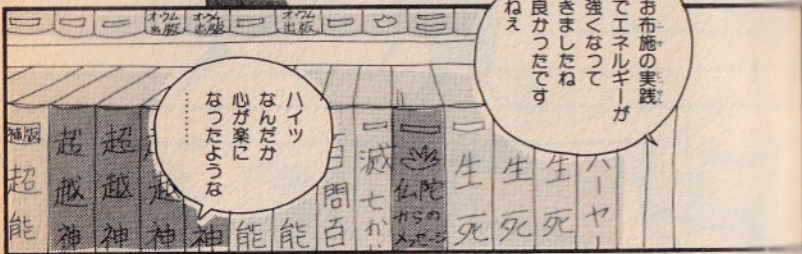
だいぶ
心が軽くなった
んじゃない
ですか？

あーイヤー
わかりますか



お布施の実践
でエネルギーが
強くなって
きましたね
良かったです
ねえ

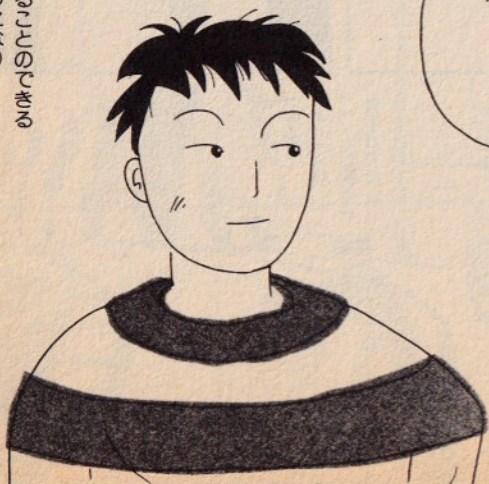
ハイッ
なんだか
心が楽に
なつたよな
……

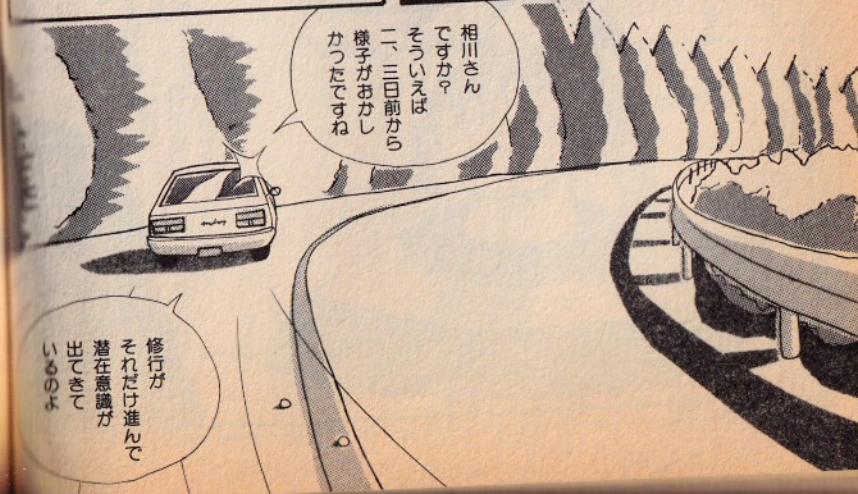
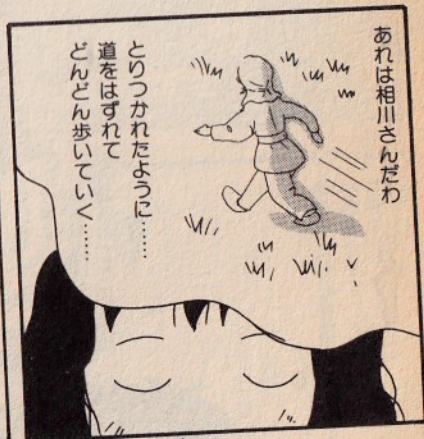
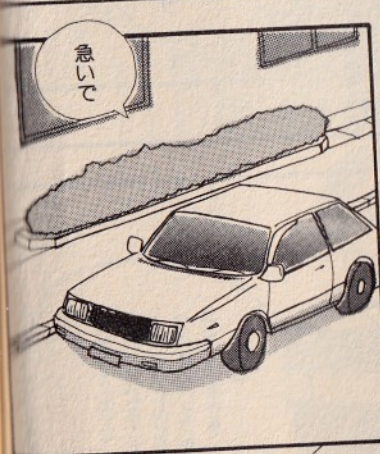
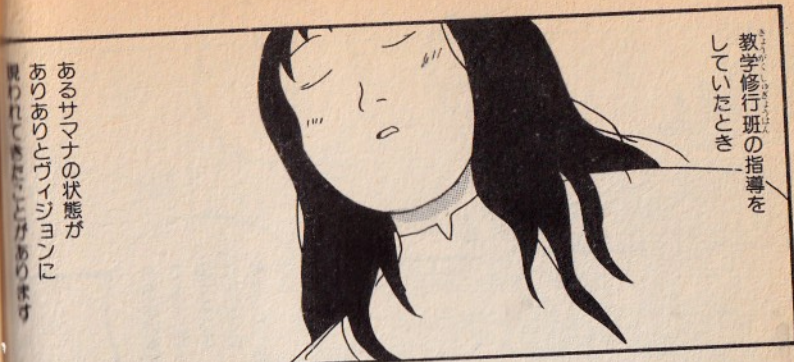
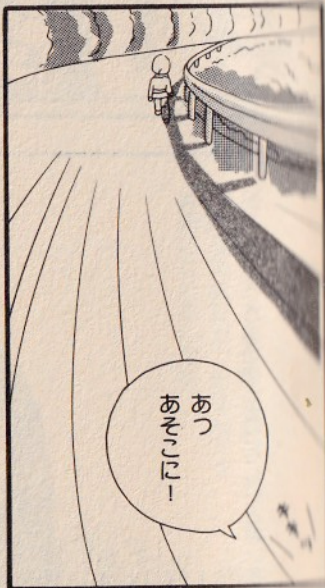
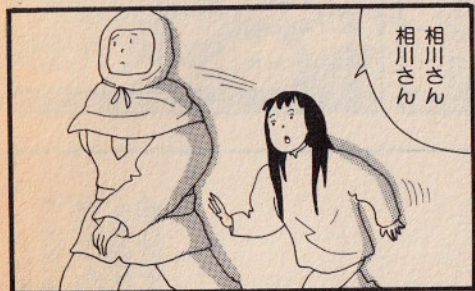
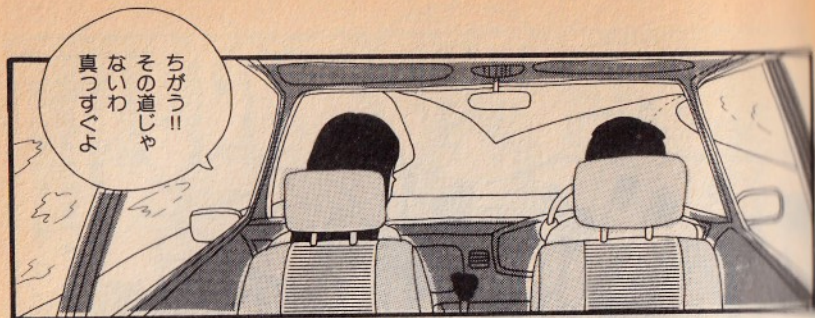


尊師がカルマを
受けてくださったついでに
ですヨ とんとん
クルとのパイプを太くして
心を安定させま
しょうね

ハイ
思いきつて
今度
真理師もやつて
みようと思つて
……

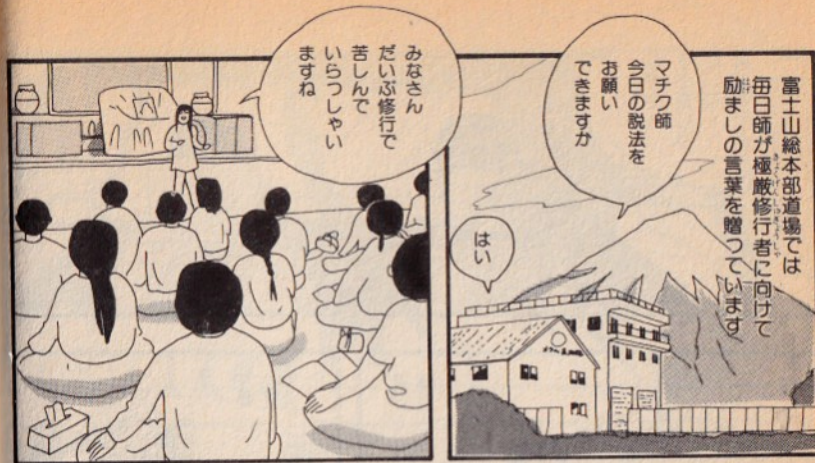
中でも人の心を知ることで
他心通が使えるようになり
救済活動に大変役立つています







乗り越えることができないと
同じ苦しんでいる人に
同情しかできません



富士山総本部道場では
毎日師が極厳修行者に向けて
励ましの言葉を贈っています

マチノ師
今日の説法を
お願い
できますか

はい

みなさん
だいぶ修行で
苦しんで
いらつしやい
ますね



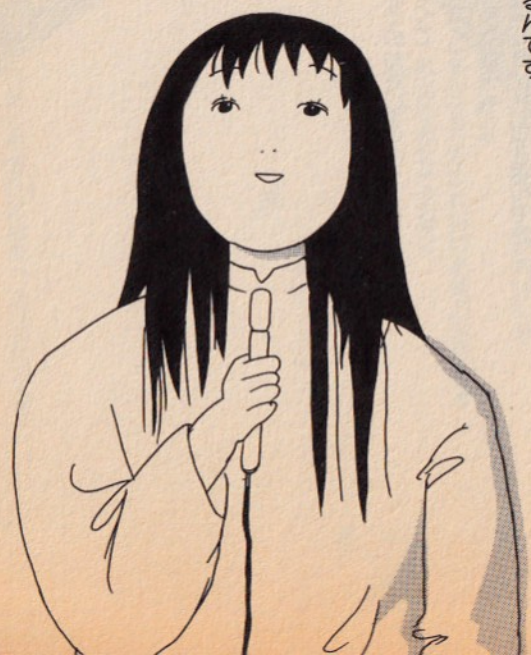
でもわたしだけが
自己の苦しみの因が
自己にあることを理解し

それを乗り越えようと
修行していける

この功德は素晴らしいと思いませんか

負けても
立ち上がってください
破れない壁はありません
がんばりましょう

乗り越えたなら
大なる救済ができるんです
菩薩になれるんです



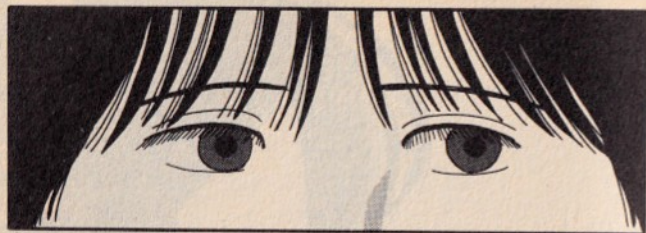


あなたは幸せですか
心の奥で
さみしさを隠していませんか
ここには
あなたが生まれ変わる道があります
本当のあなた自身に
早く巡り合えますように

わたしの修行は始まったばかりです
真理の一本道を
あなたもわたしと一緒に歩いていきましょう
マチワ・ラブドナマ



あこのころのわたし……
さみしくて
愛されたくて
でもそんな自分を
どこかにしまい込んで遊んでた
仕事も
恋人も
夜の原宿も好きだったけど
わたしが本当に求めているものは



あれから三年しか経っていないのか……！



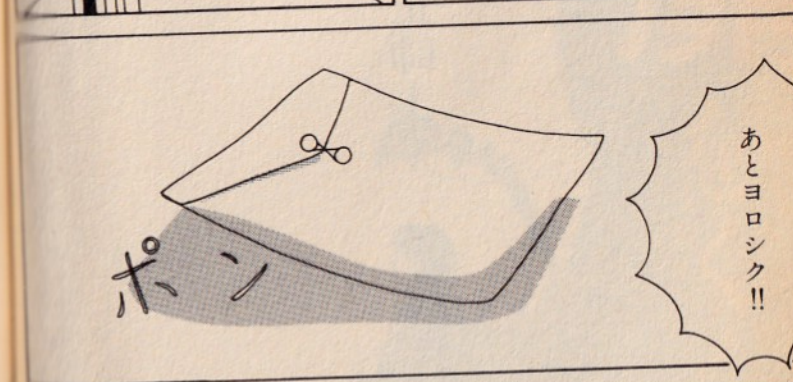
— タントラデュパ正師 —

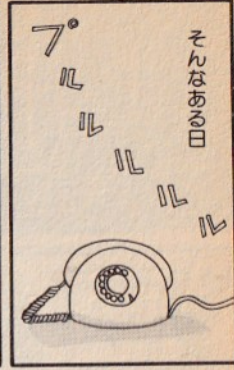
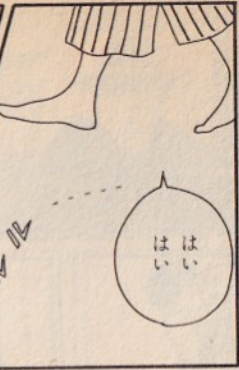
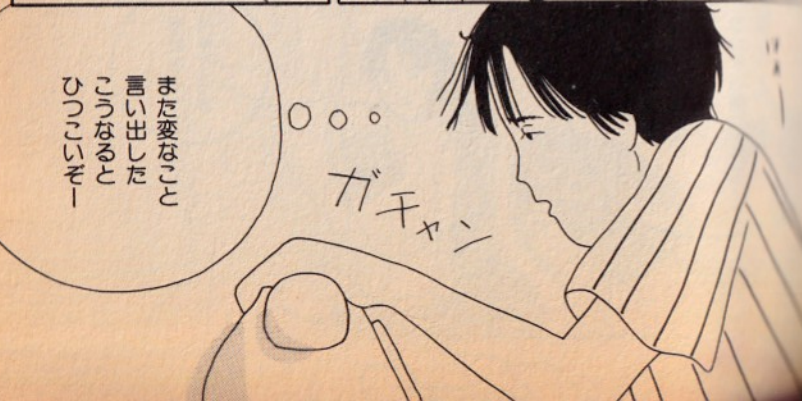
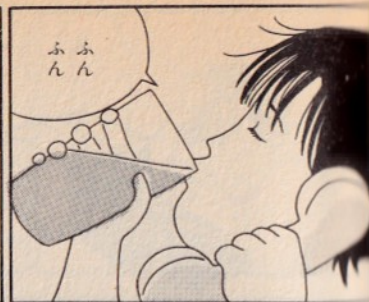


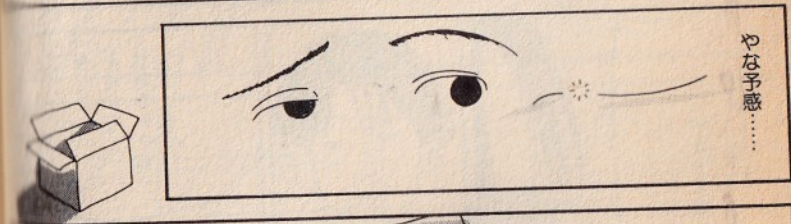
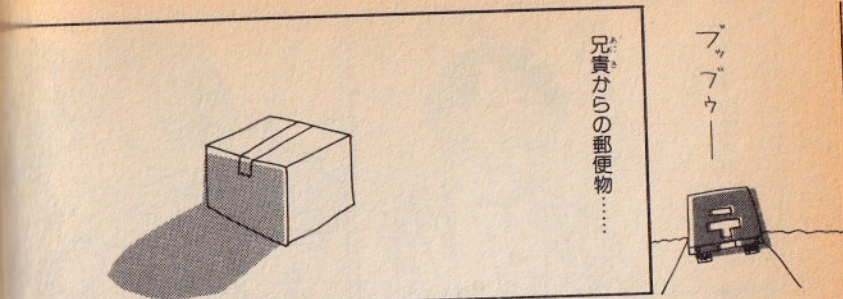
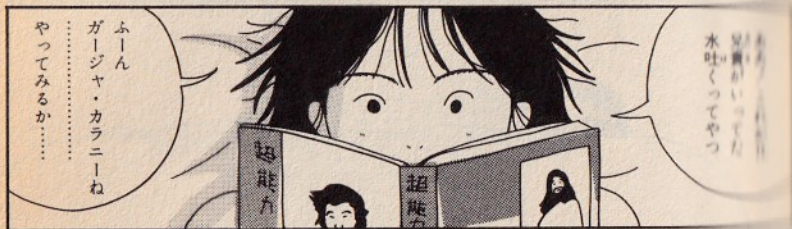
死の扉

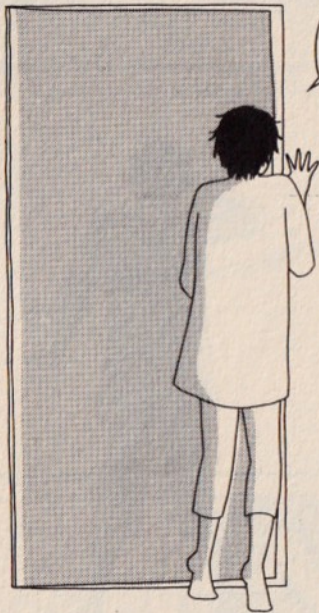
をくぐって



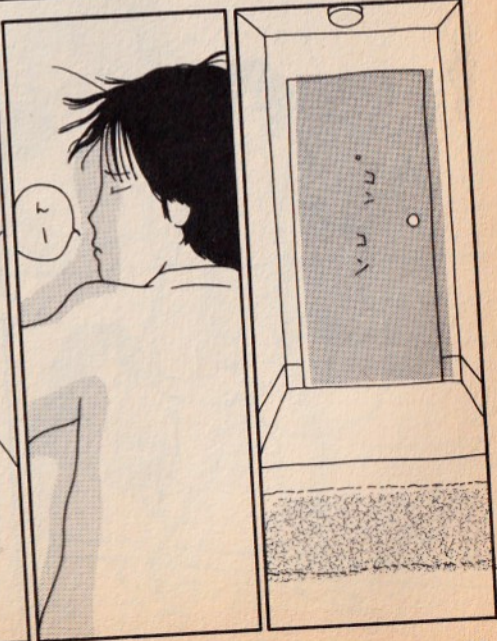
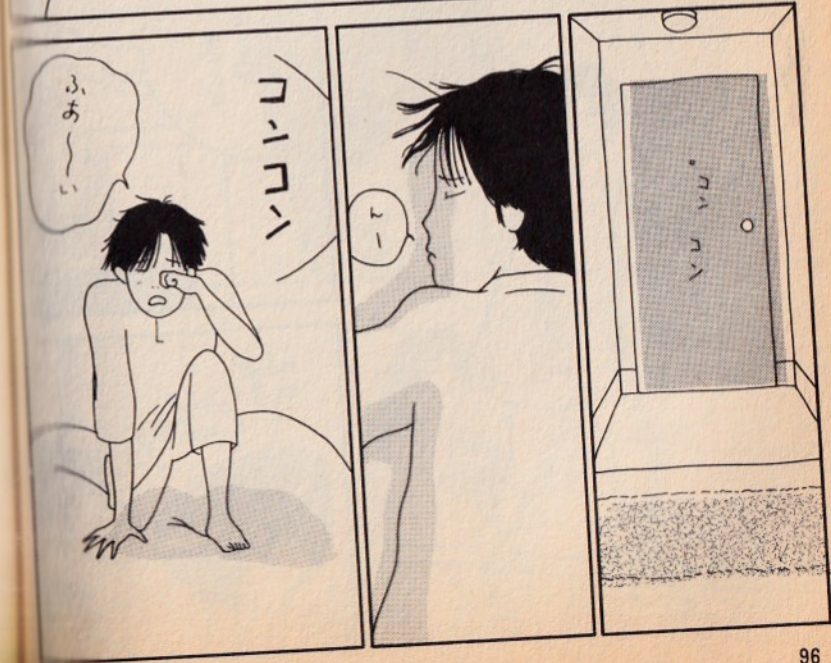
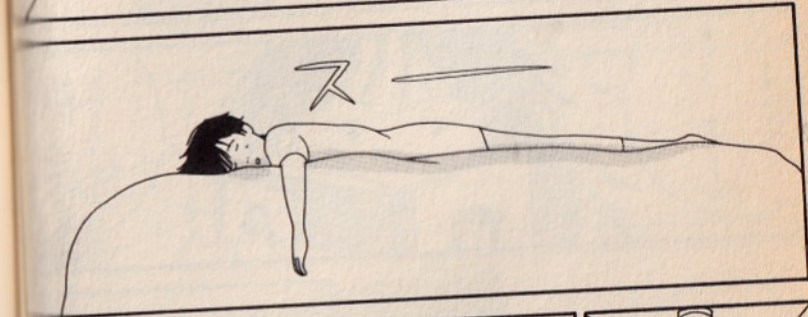


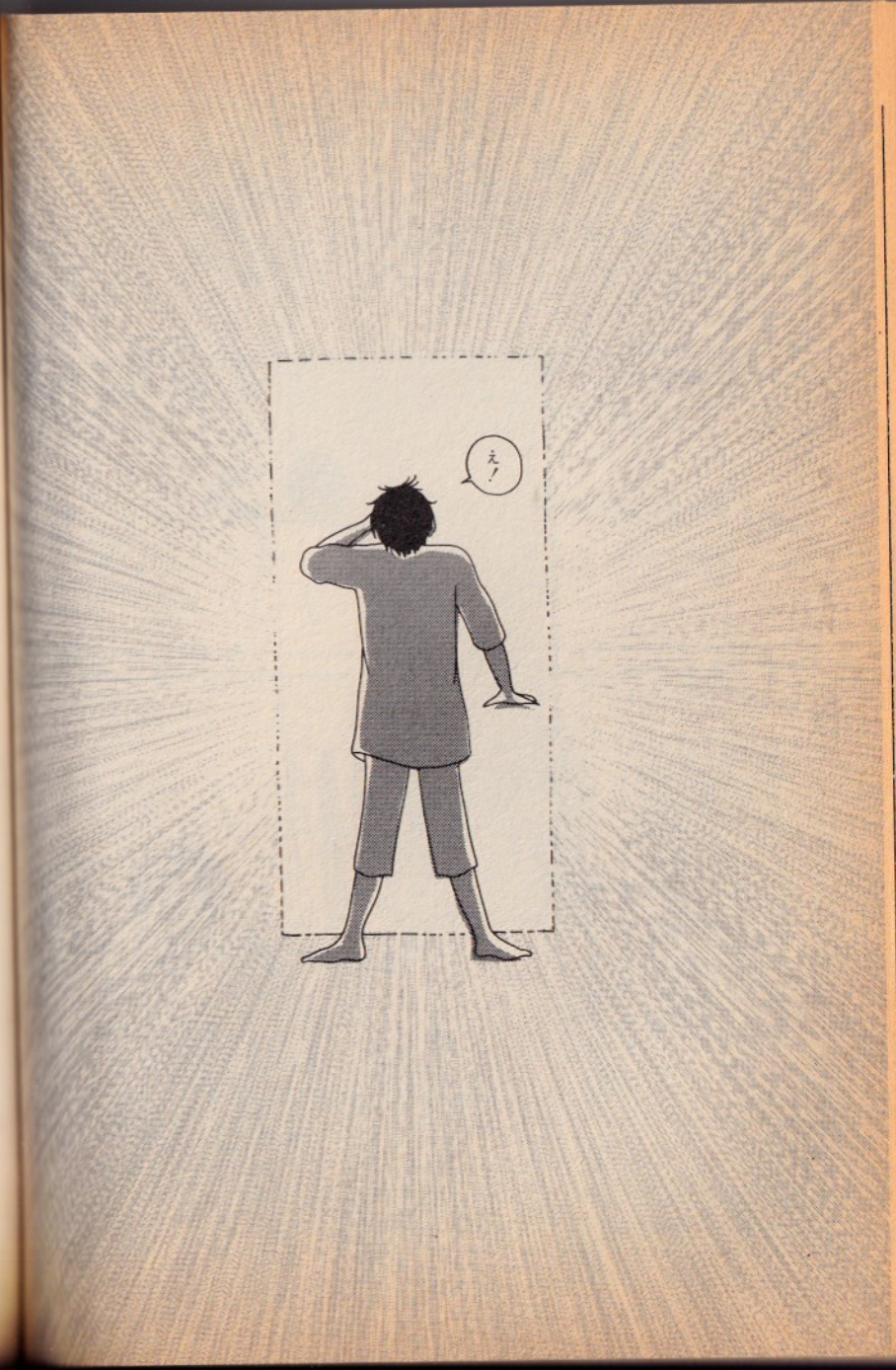
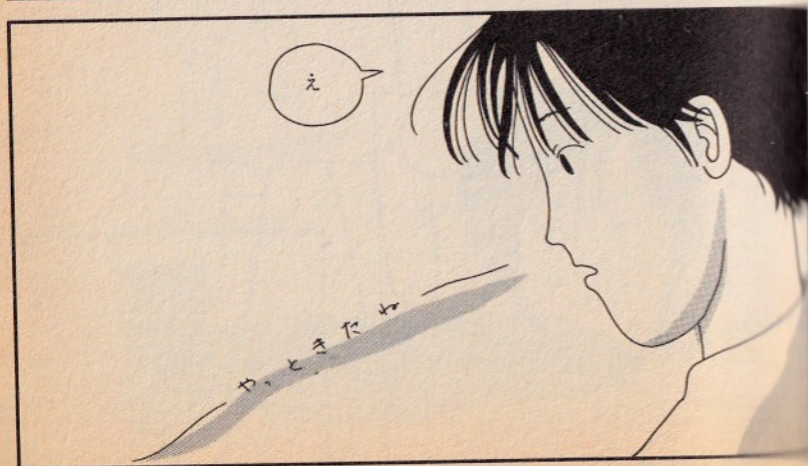
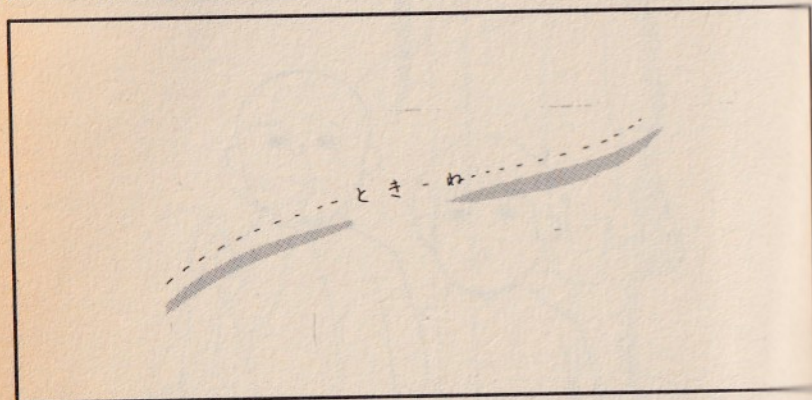


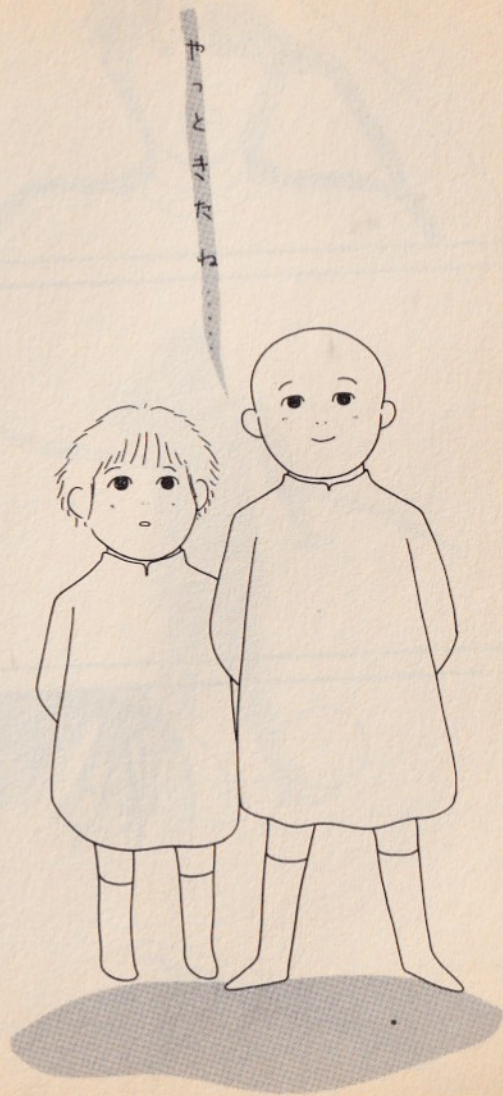
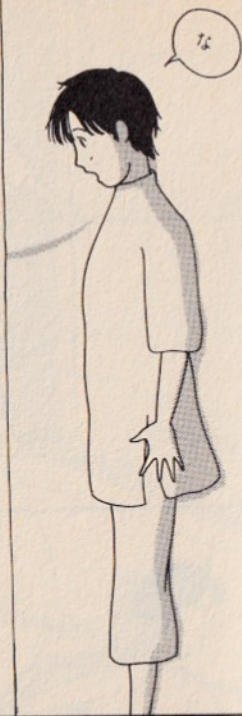
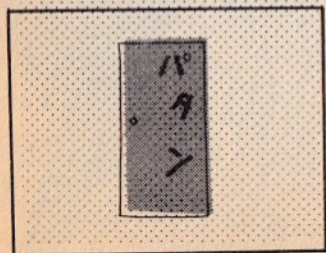
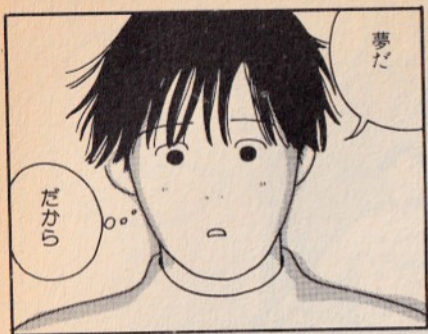


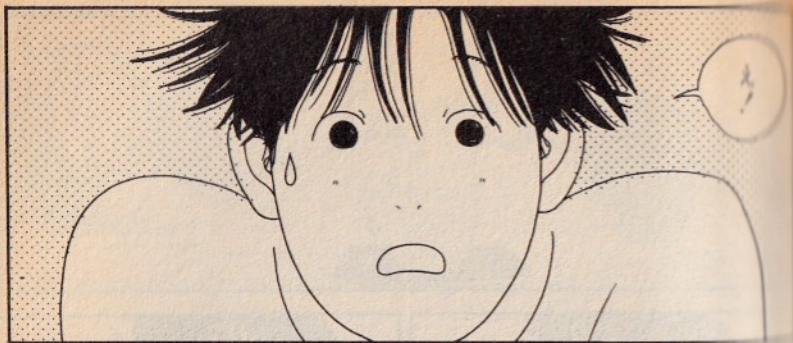


はい
どなた？

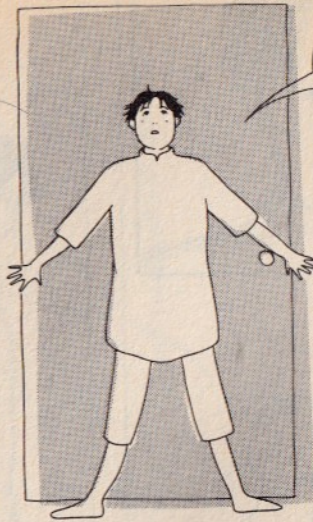








わたしが
寝ている
し！



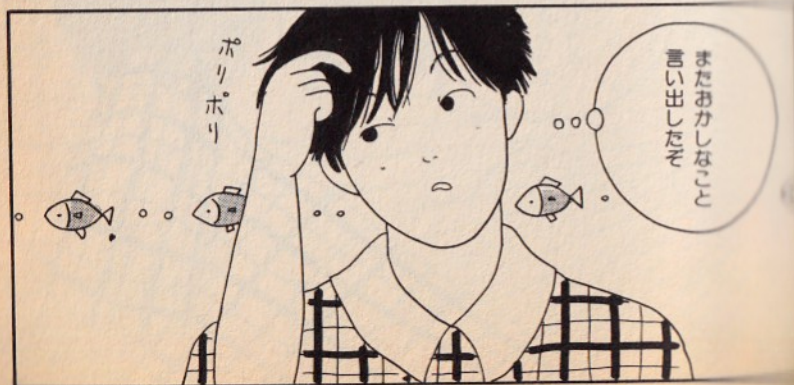
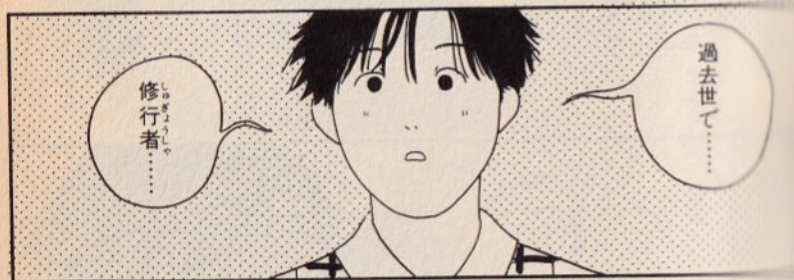
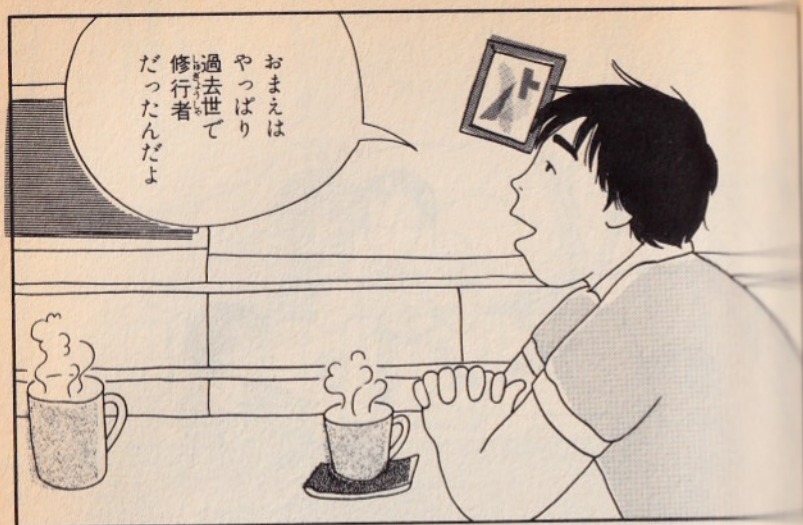
これは
夢に
違いない



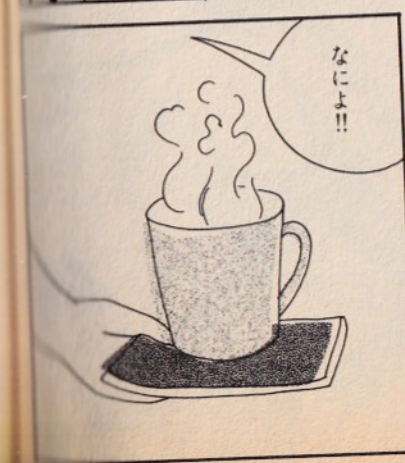
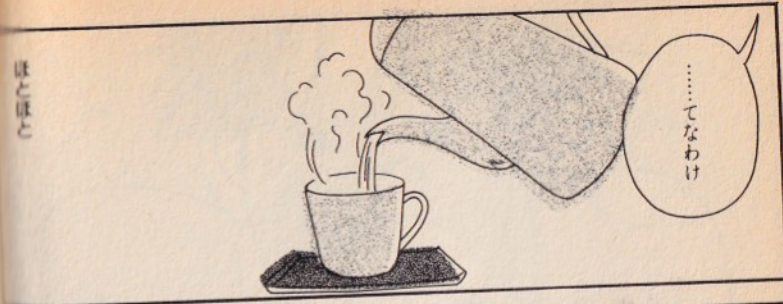
早く寝よ！

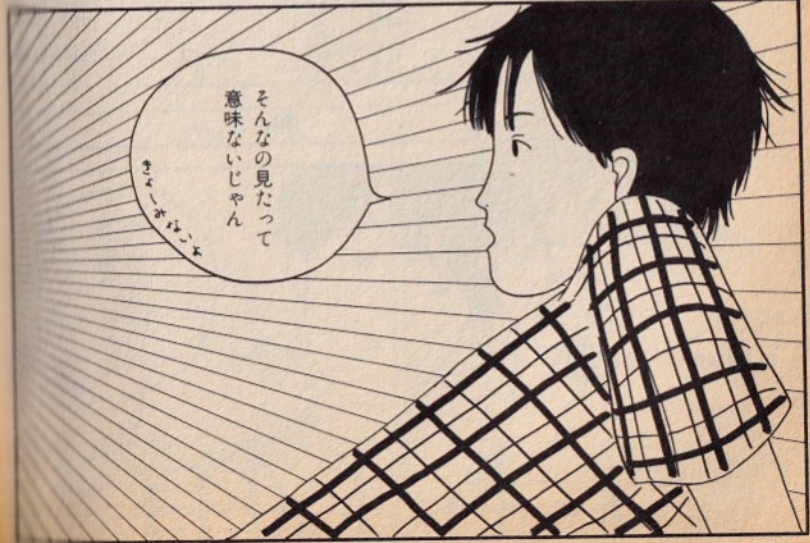
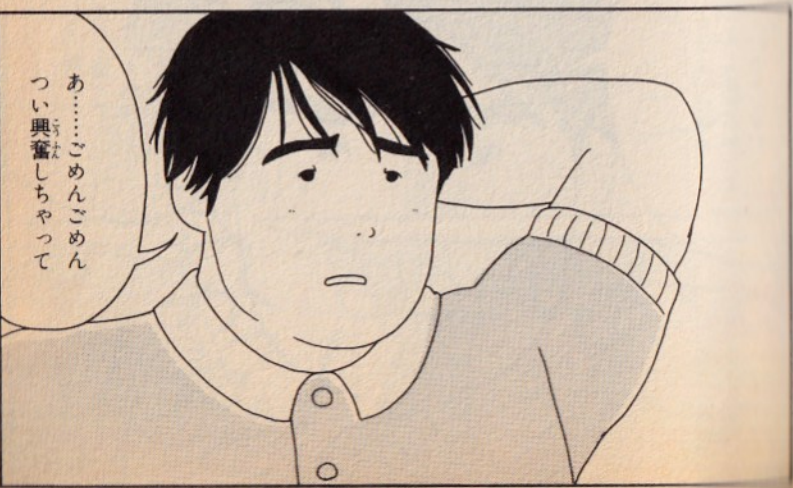


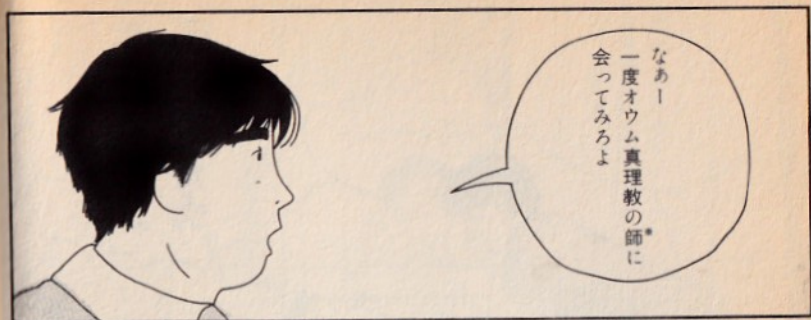
夢なんだ
夢なんだ
夢なんだ
だから



ほとほと







*ワンダリー・ヨーガの成就者

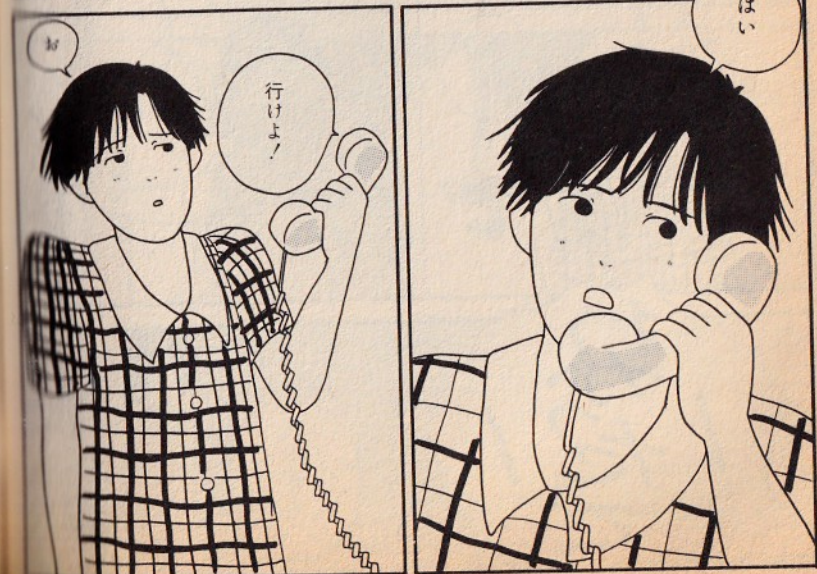
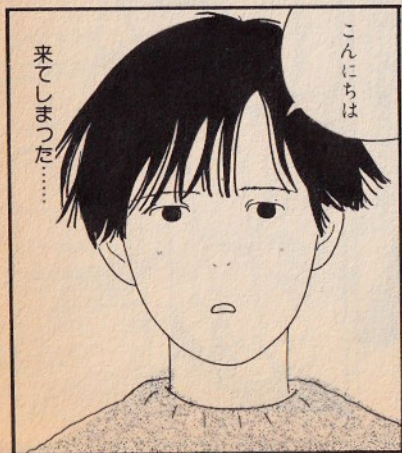
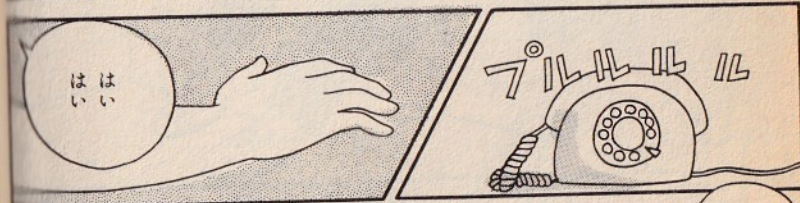


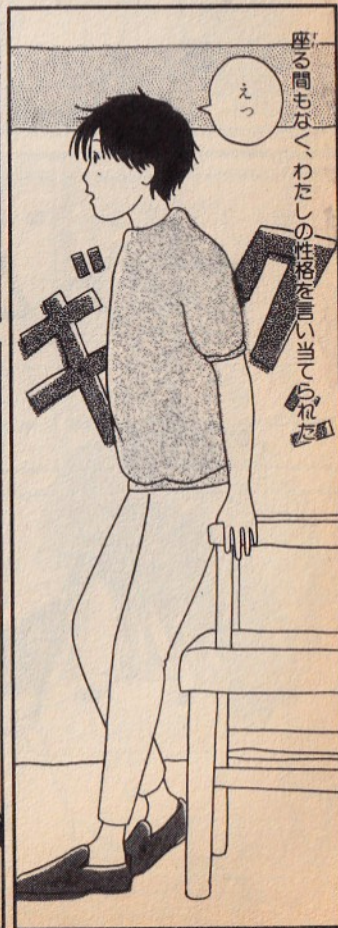
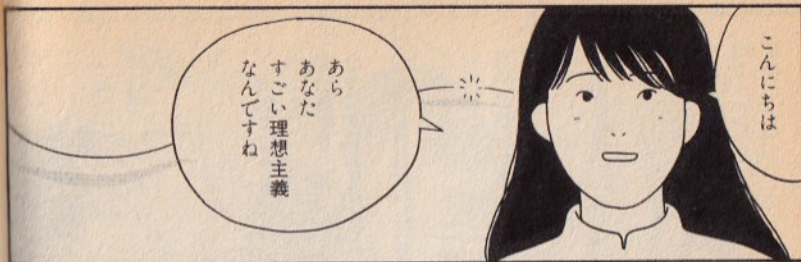
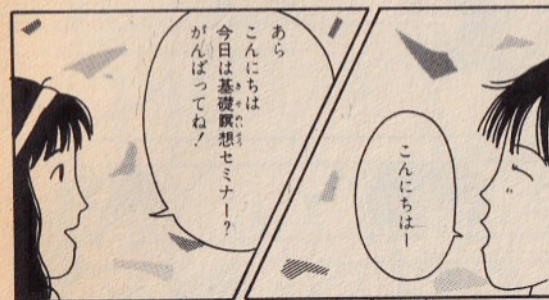
人生苦からの解放

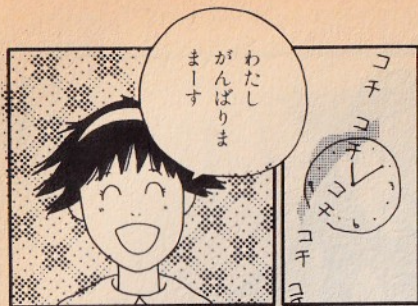
オウム真理教

TEL. 03-3327-8565

わたしはオウム真理教に……







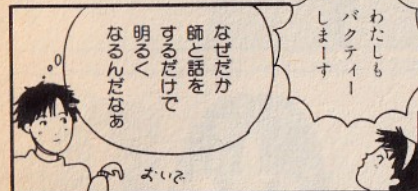
わたし
がんばりま
す

コチ
コチ
コチ
コチ



あらあら

ソナー師
聞いて
くださーい

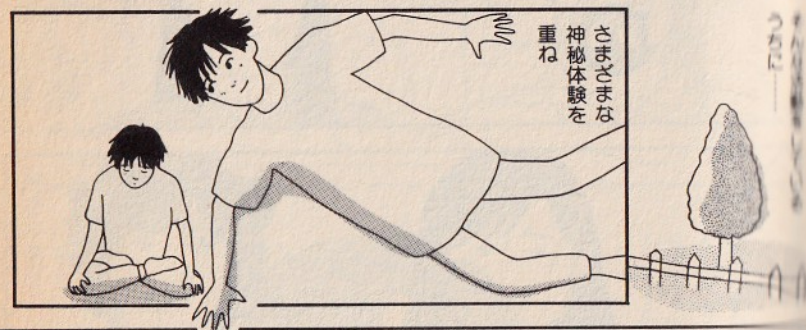


なぜだか
師と話を
するだけで
明るく
なるんだなあ

わたしも
バクティ
ーしませ



いたしもうだめ



さまざま
な
神祕体験を
重ね



ついで

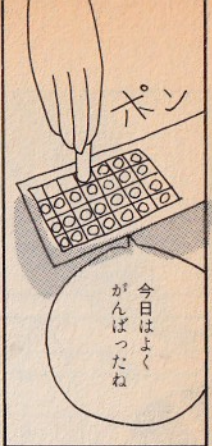


こんにちは

あ！来た
来た



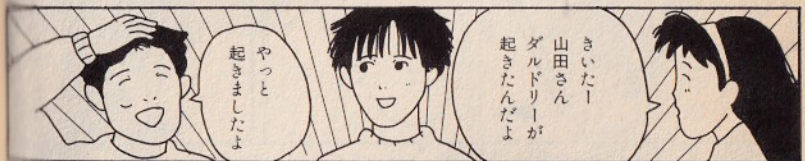
へへへまーね
時間あるから
バクティーも
やっています



ポン

今日はよく
がんばったね

※真理に対する奉仕行



きいたー
山田さん
ダルドリーが
起きたんだよ

やっと
起きましたよ



また、
身体離脱
したの

それだ

バクティーに行くといろんな人と話が
できて楽しい

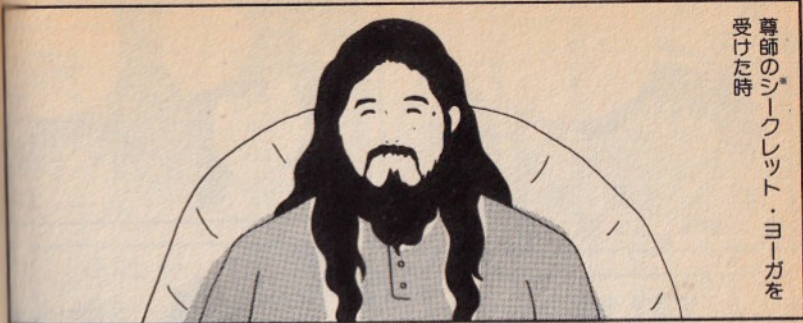


おやっ
ゆきちゃん
失恋しちゃったな

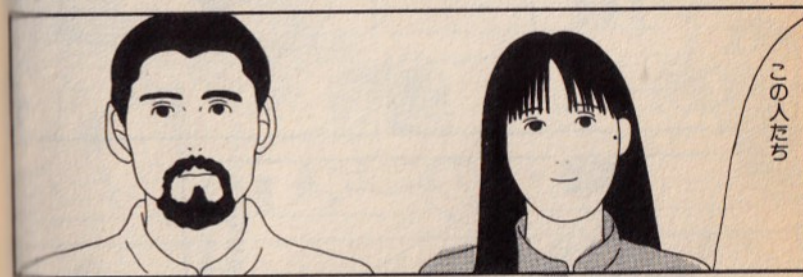


ん

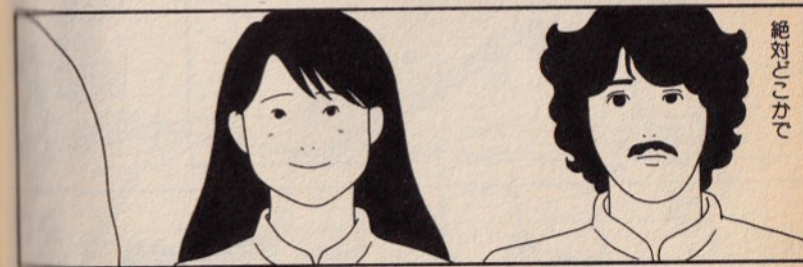
導師のシーワレット・ヨーガを
受けた時



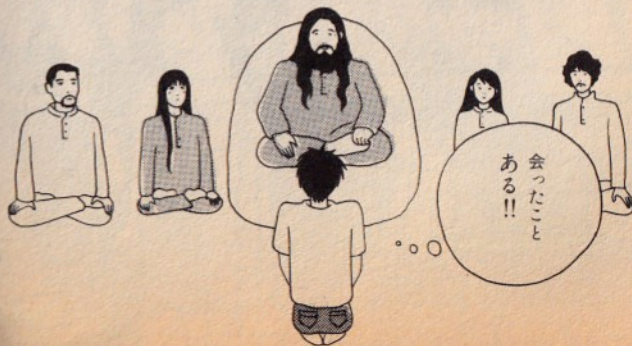
この人たち



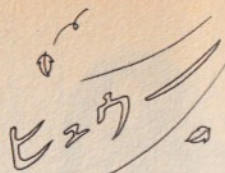
絶対どこかで



会ったこと
ある!!



なんと入信して六カ月後には



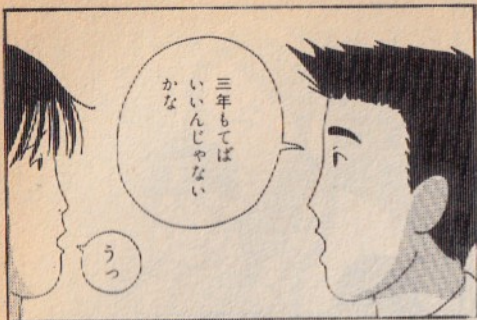
出家してしまった

……のである



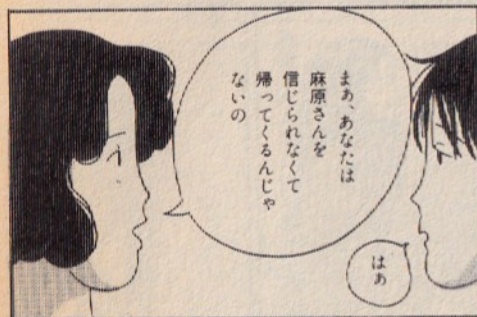
三年もてば
いいんじゃない
かな

うっ



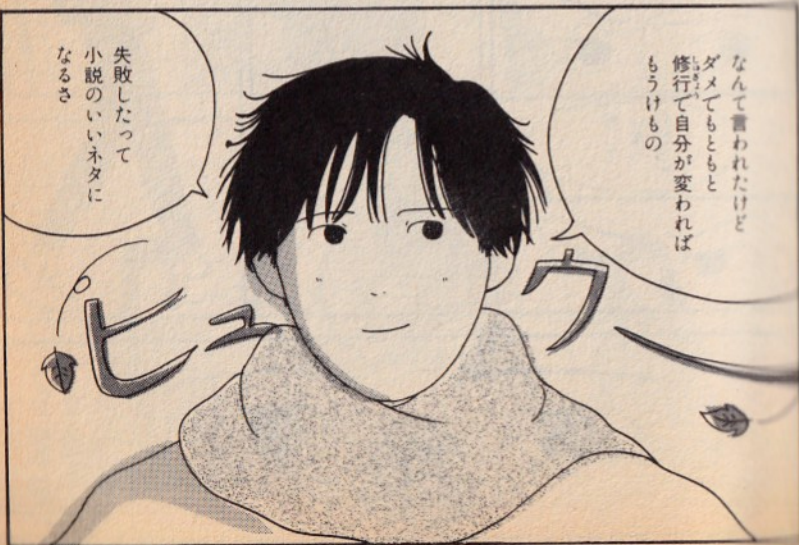
まあ、あなたは
麻原さんを
信じられなくて
帰ってくるんじや
ないの

はあ



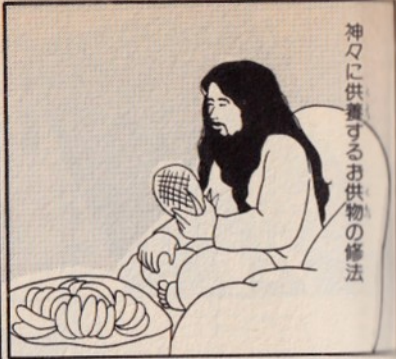
なんて言われたけど
ダメでもともと
修行で自分が変われば
もうけもの

失敗したって
小説のいいネタに
なるさ

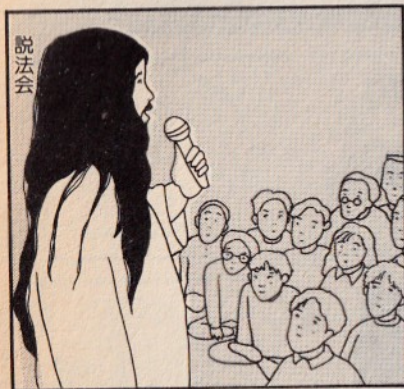




弟子のための瞑想テープの吹き込み



神々に供養するお供物の修法



説法会



エンパワメント

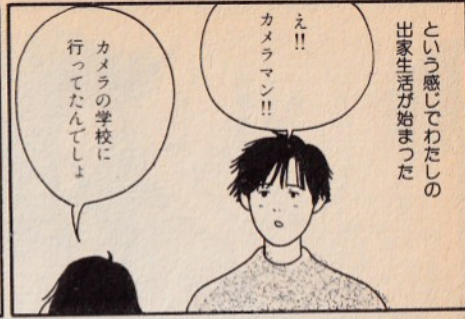


シークレットヨガ



がんばってね

編集のワークも
やってもらうから



え!!
カメラマン!!

という感じでわたしの
出家生活が始まった

カメラの学校に
行ってたんでしょ

現世で
30年も
生きて
きた
わたしは



ついつい
ついつい
導師の
アラを



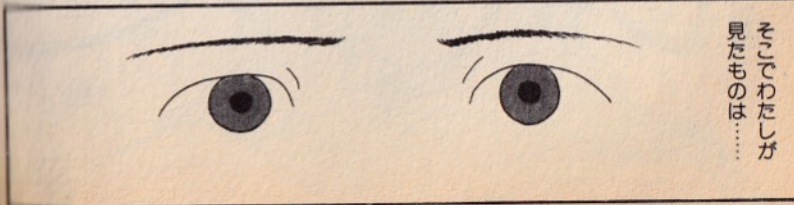
探して
しまっ
のだった



導師のおそはたつて練習会がまぎつた



カメラマンという仕事柄



そこでわたしが
見たものは……



身・口・意のすべてを
捧げているんだよ

わたしはね
シヴァ大神の救済計画に



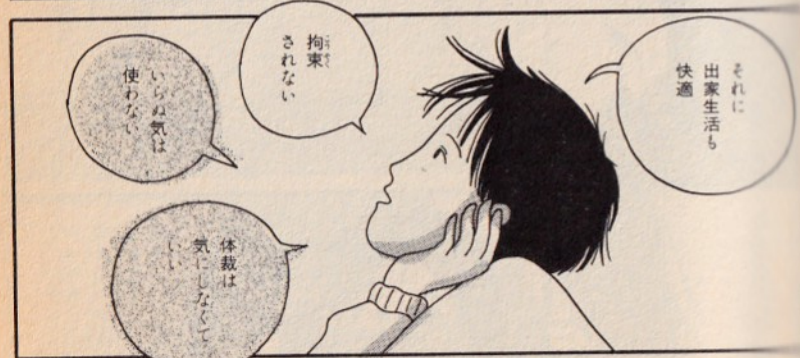
自分の
時間が
ないじゃない



こんな人
今まで
見たことない

あらがない

すごい!!



それに
出家生活も
快適

拘束
されない

いらぬ気は
使わない

体裁は
気にしなくて
いい

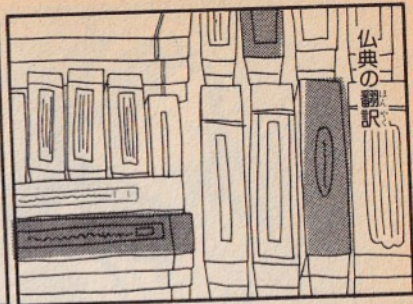


そして10日間の
集中修行で
ラージャ・ヨーガを
成就させて
いただき

タストラデユバって
ホーリー・ネーム
までいただいた……



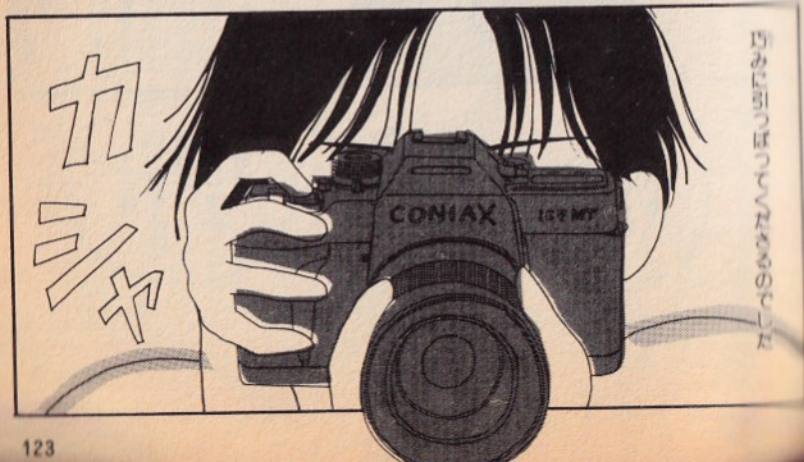
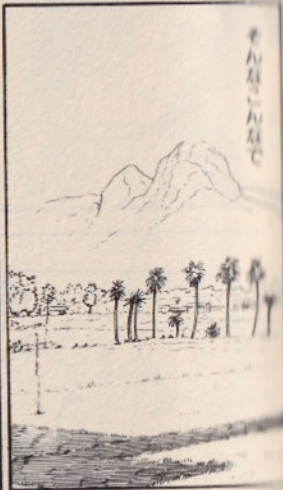
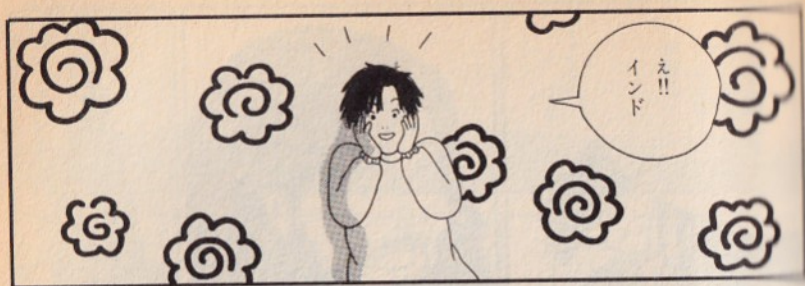
予言書の解明



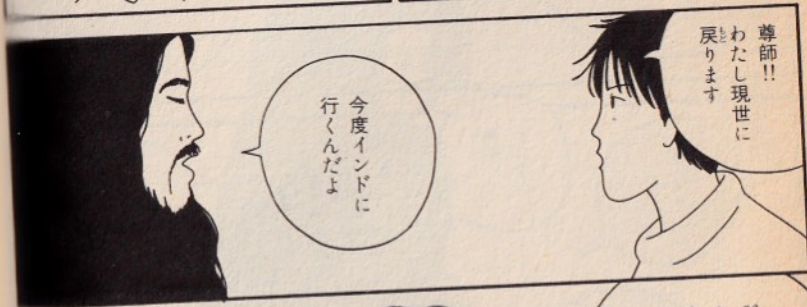
仏典の翻訳

弟子達へのエンパワーメントのための修行



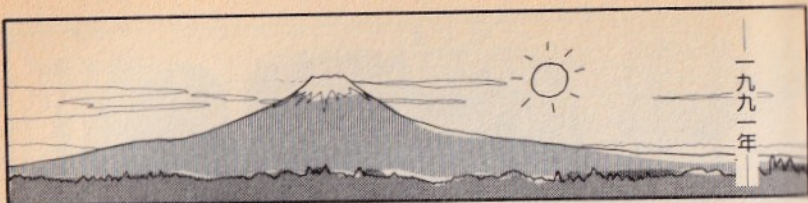


しかし現世的な
仕事の欲求が
捨てきれず……

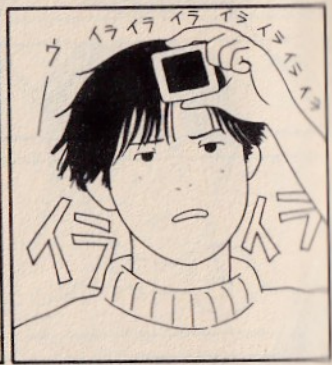
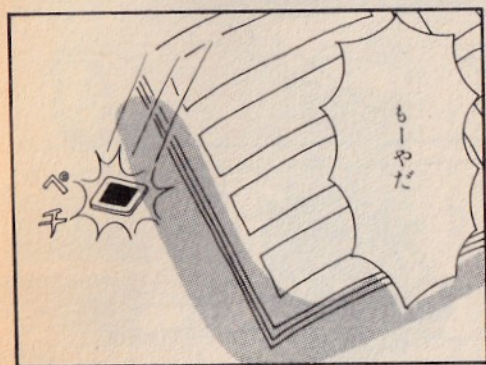


今度インドに
行くんだよ





一九九二年



こんなことするために
生きてるんじゃない
わたしの仕事は
物を書くことなんだ

リバーサル写真の
整理なんて面倒な仕事
わたしできない

出家生活二年目を過ぎたころ
編集部から写真デザイン部に移された



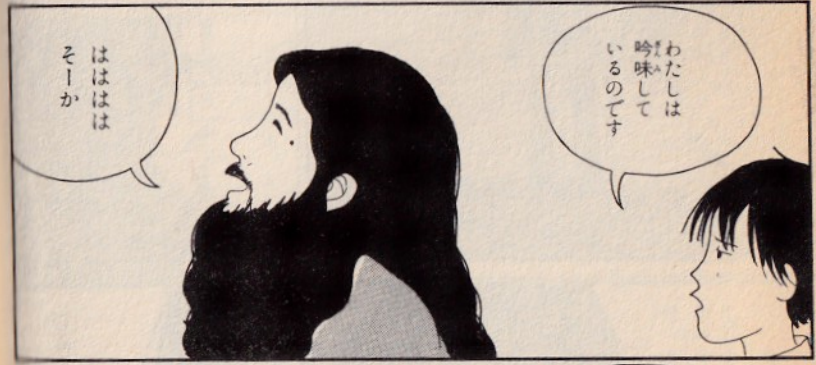
導師と一緒した三度目のイライラ



導師!!
わたしは
揺れるという
言葉は嫌いです



こんなに何度も
聖地に来ていて
揺れる人間も
珍しいよなあ
デユバ



はははは
そーか

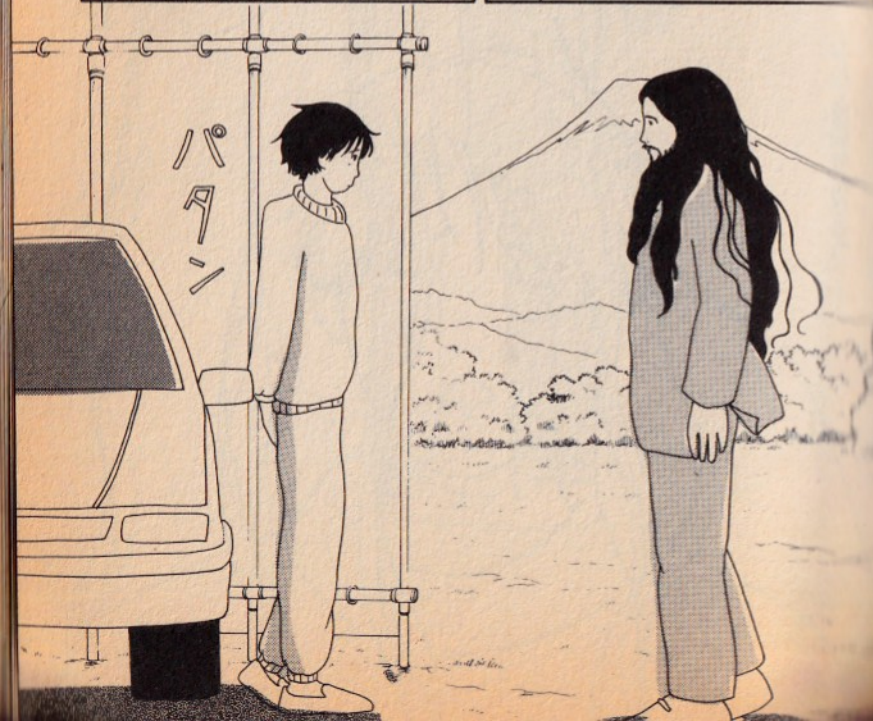
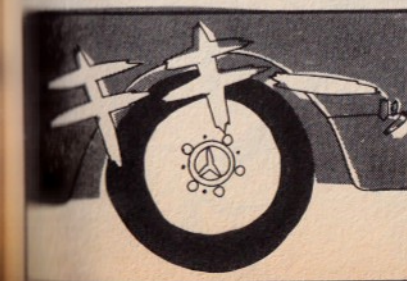
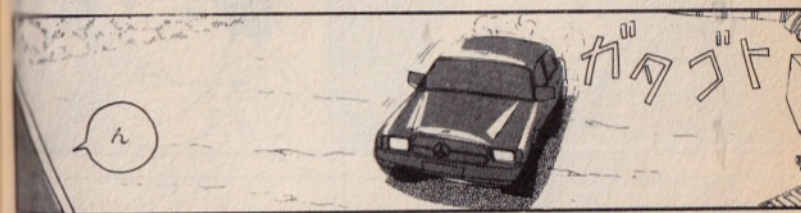
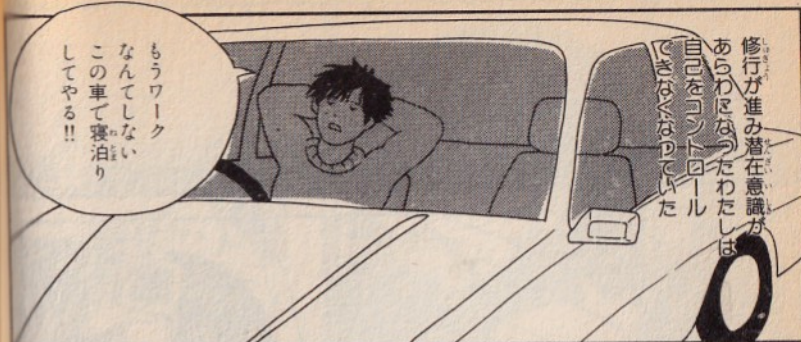
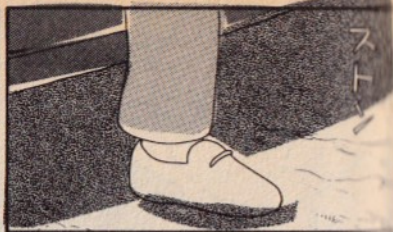
わたしは
吟味して
いるのです

わたしは
やつぱり
物書きに
なりたい

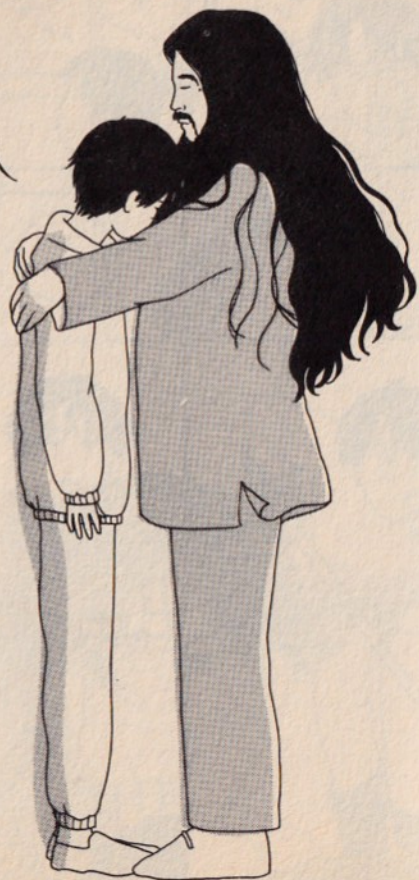


……これは
いったものの
導師の
おっしゃる
とおり

出家修行者の心が修行と現世の間で揺れること



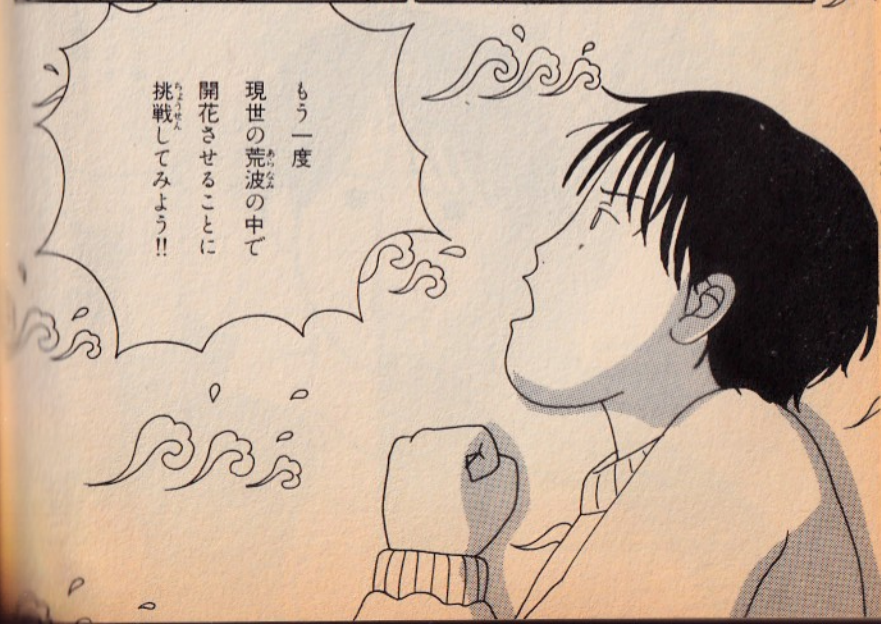
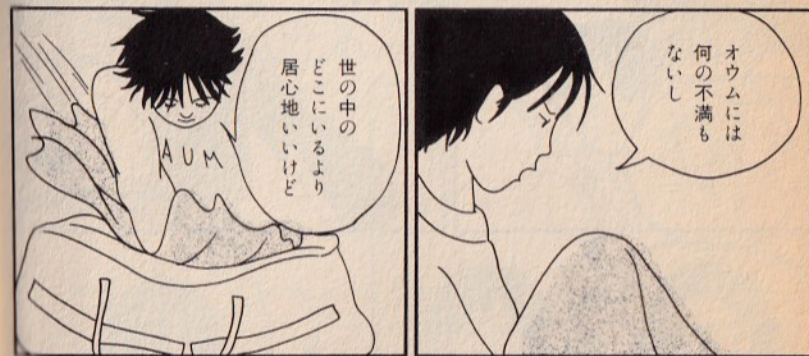
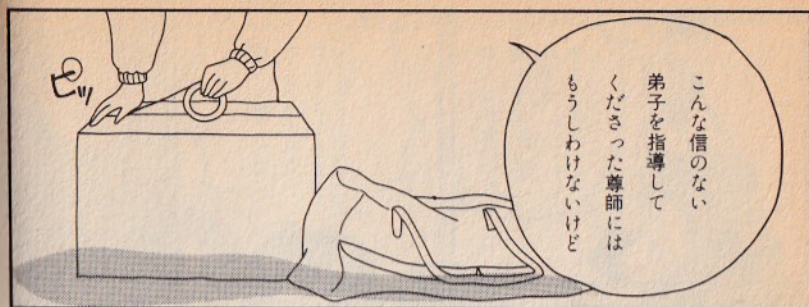
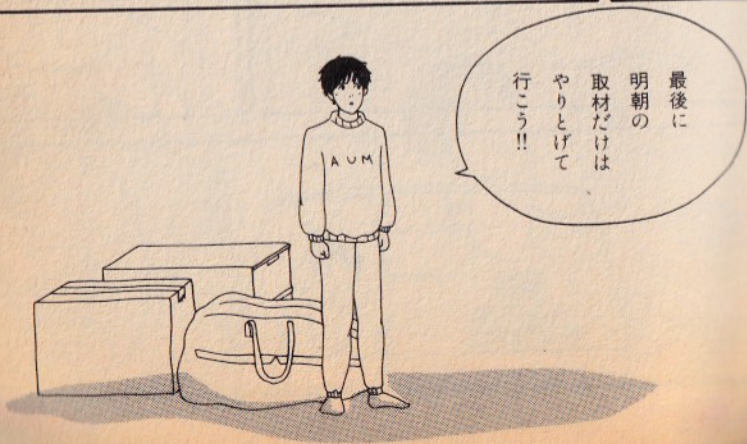
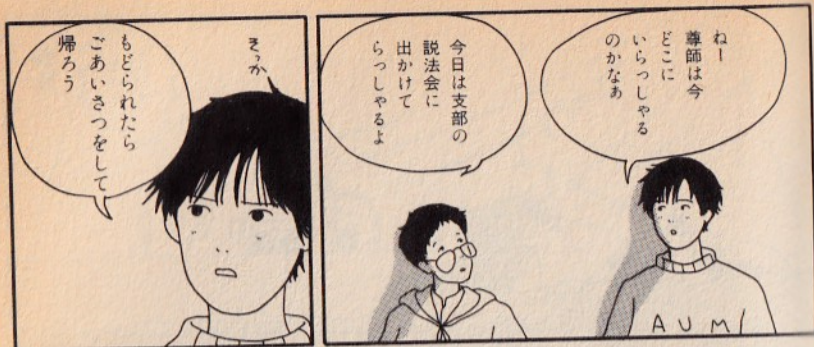
もうしわけありません

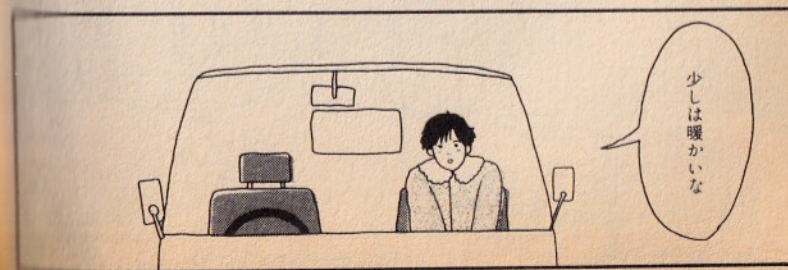
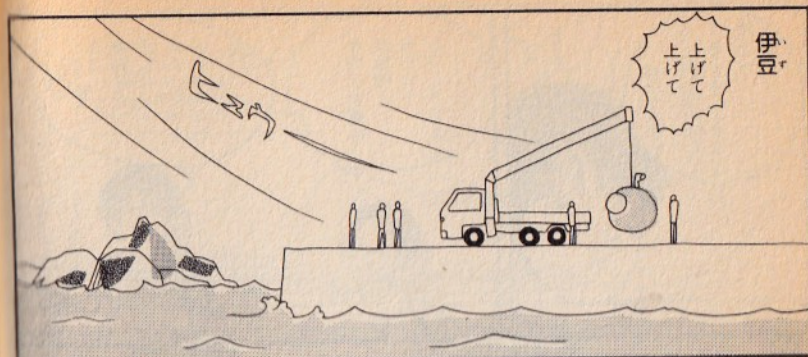
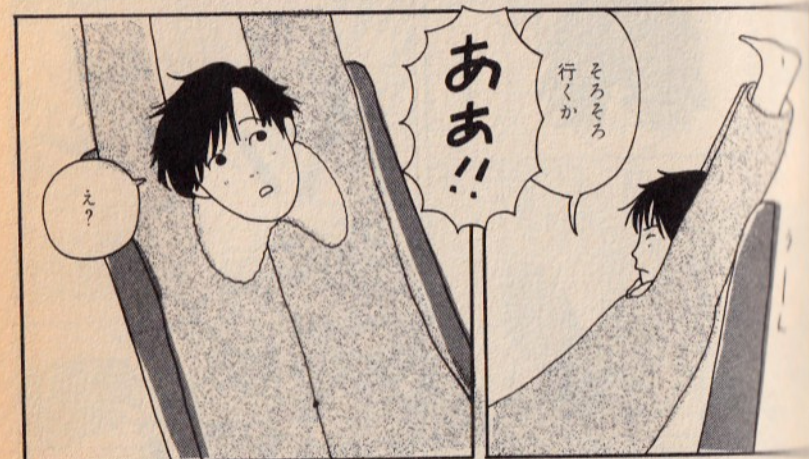


なんて透明なんだっ……

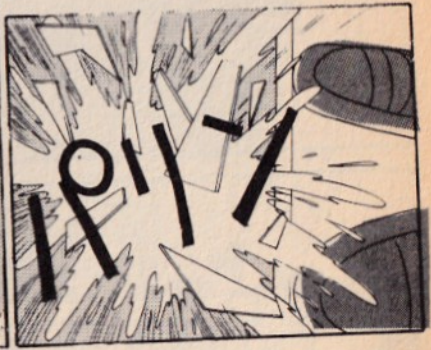
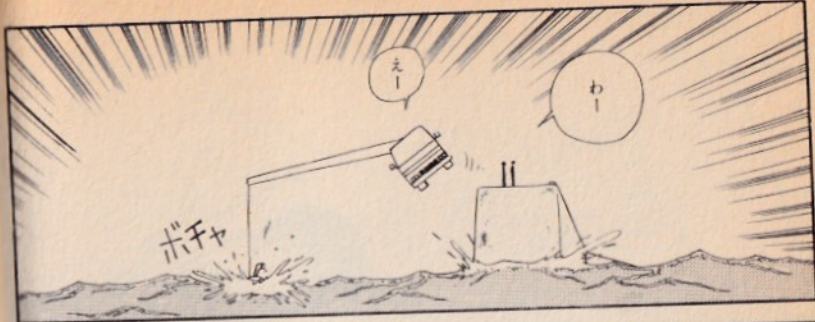
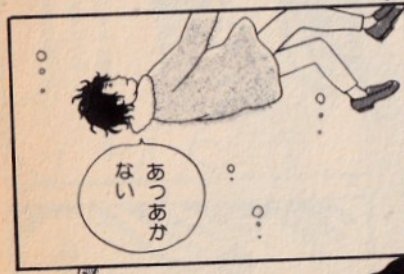
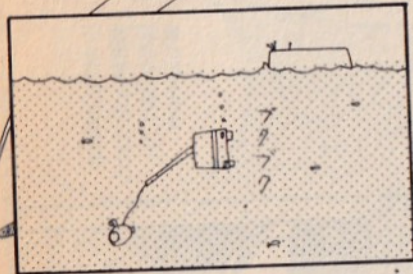
尊師……

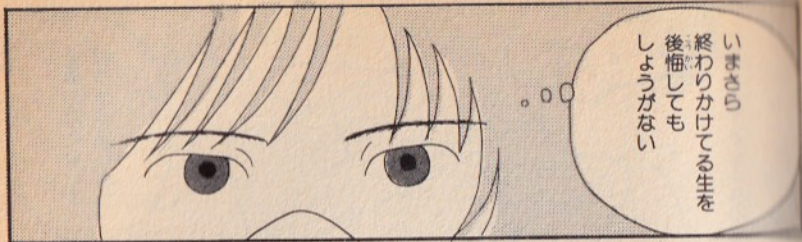




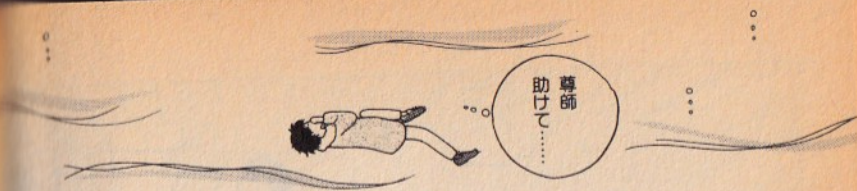
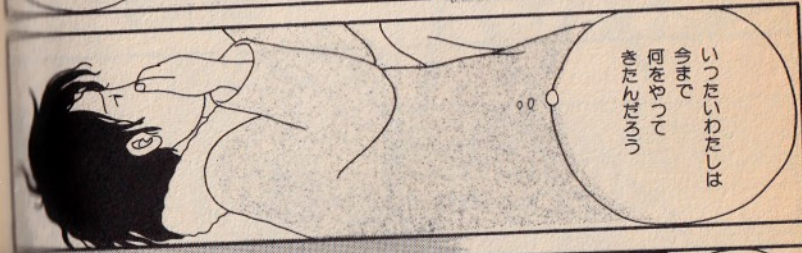
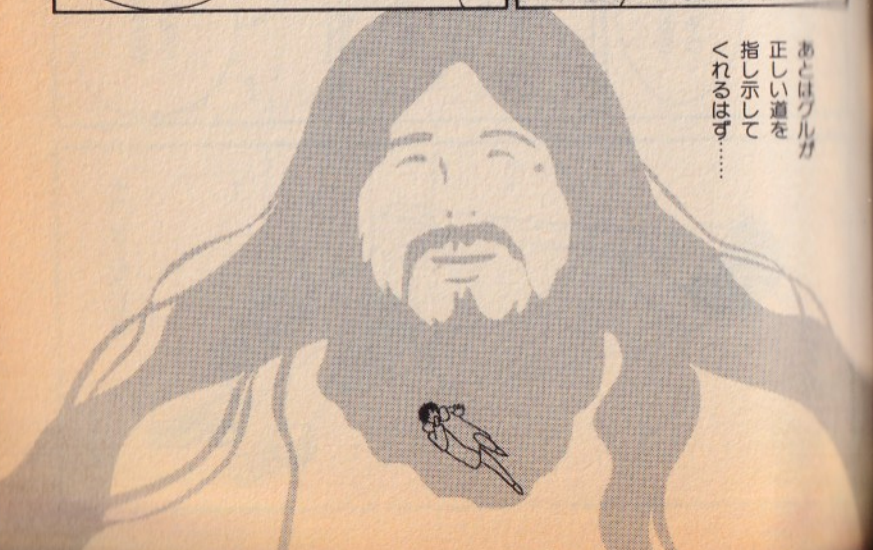


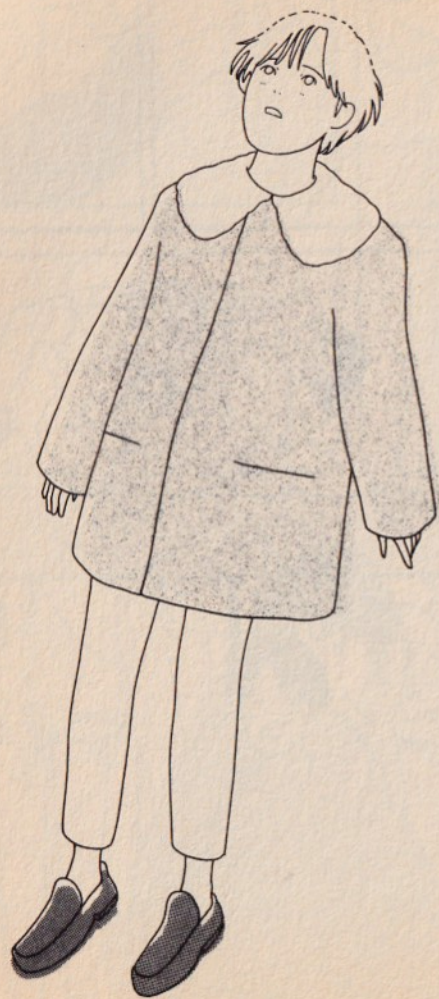
夢なら
覚めて



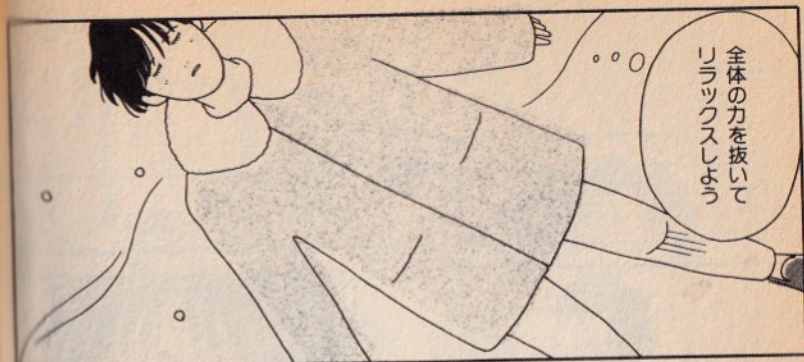


あとはグルガ
正しい道を
指し示して
くれるはず……





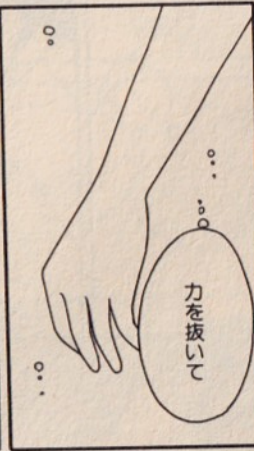
とつても明るい光の中へ入りました



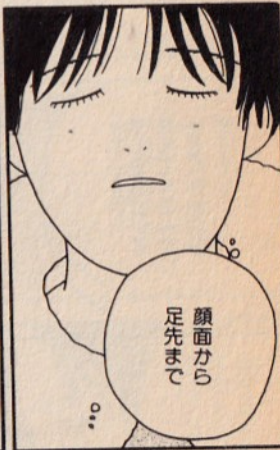
全体の力を抜いて
リラックスしよう



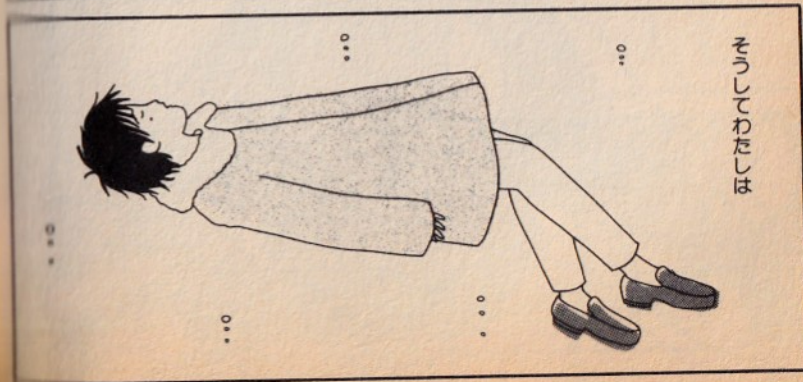
この肉体から
意識を外そう



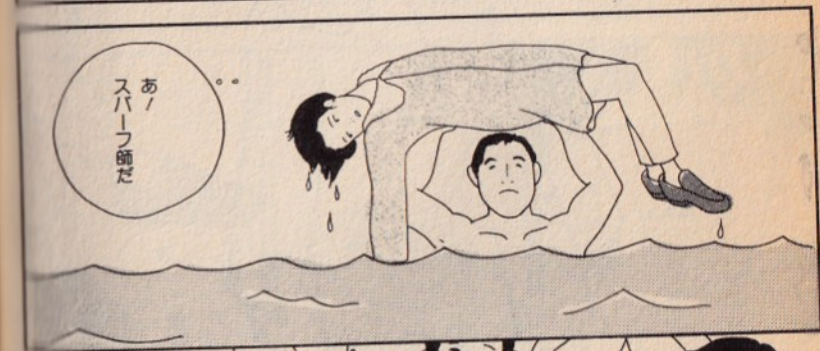
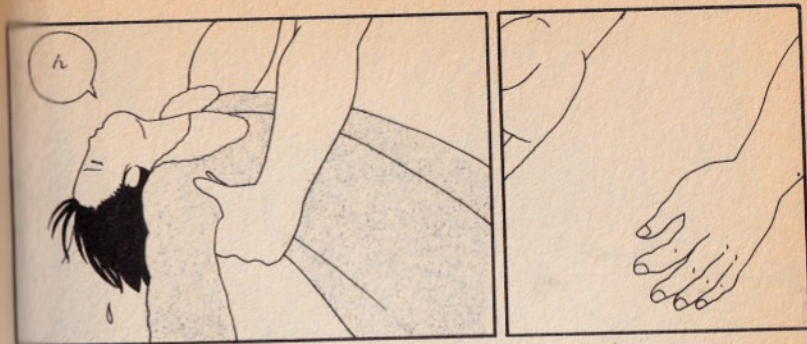
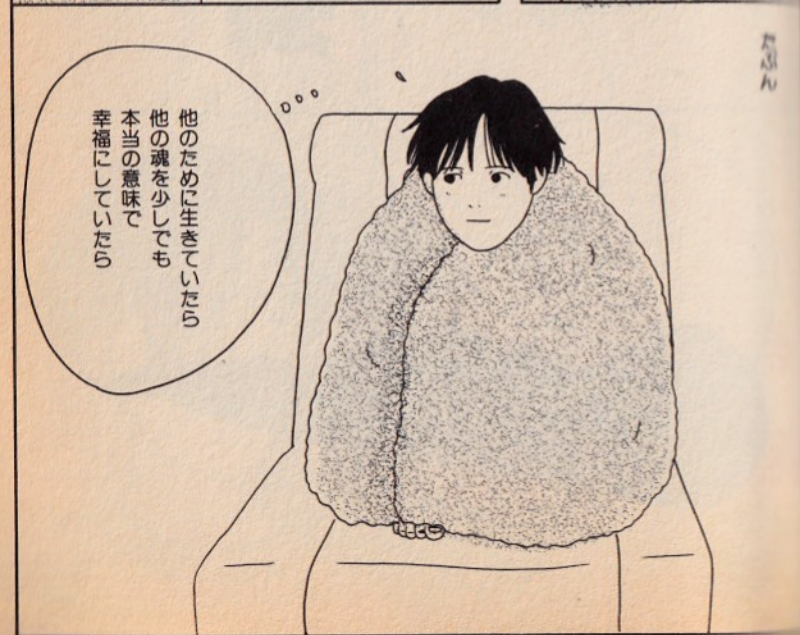
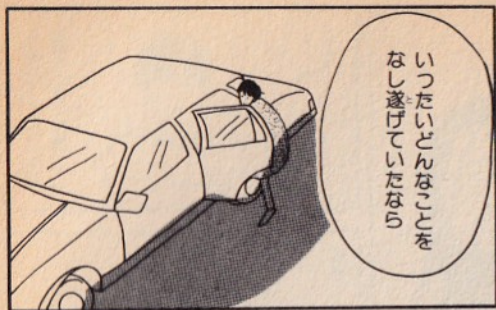
力を抜いて

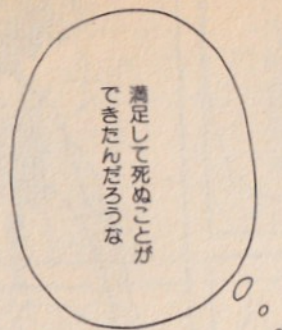
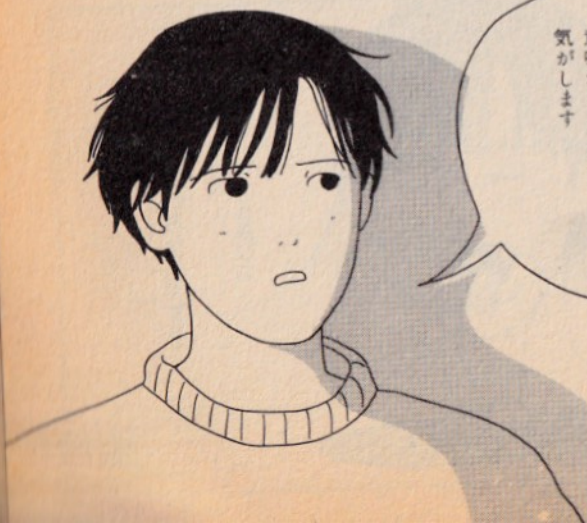
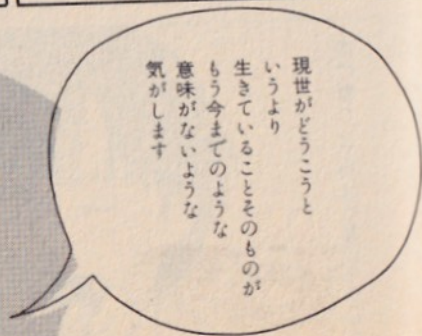
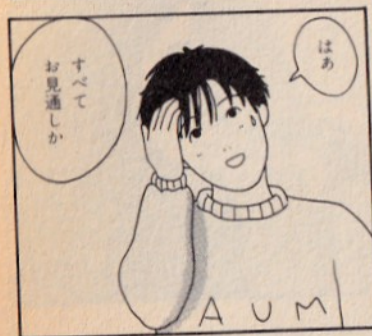
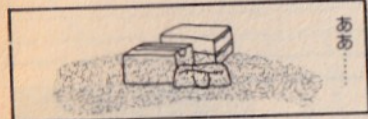


顔面から
足先まで



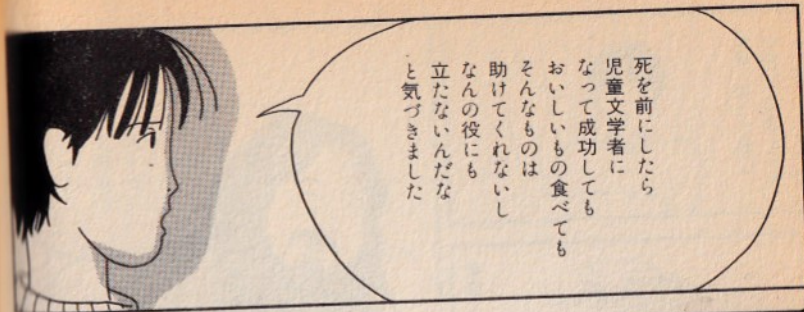
そうしてわたしは



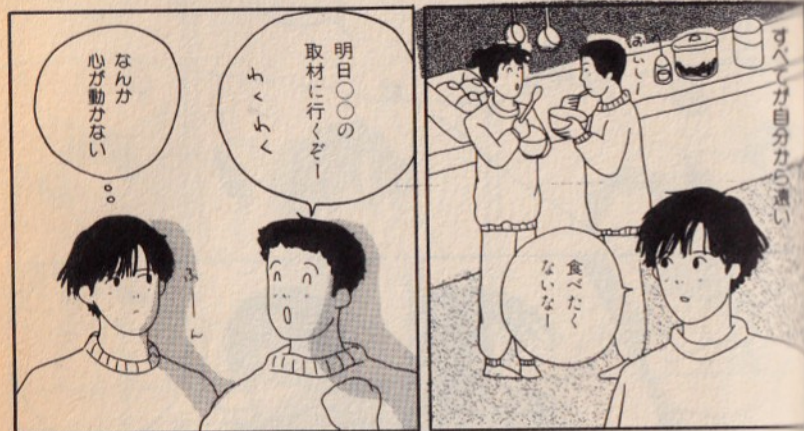




事実この後
わたしは
心においても
霊性においても
大きな変化を
とげるのだった



死を前にしたら
児童文学者に
なつて成功しても
おいしいもの食べても
そんなものは
助けてくれないし
なんの役にも
立たないんだな
と気づきました

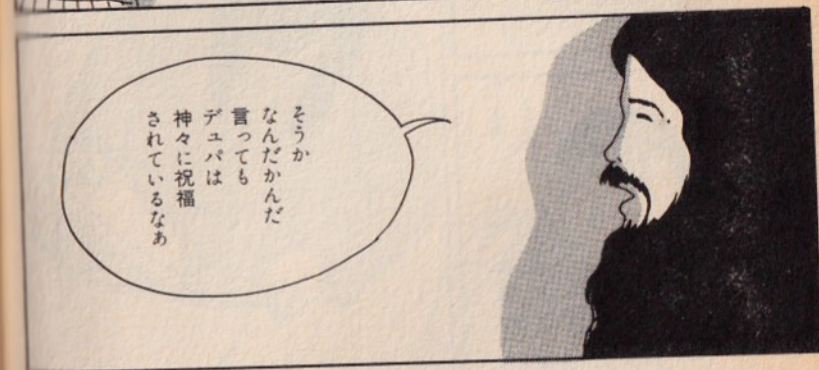


すべてが自分から遠い

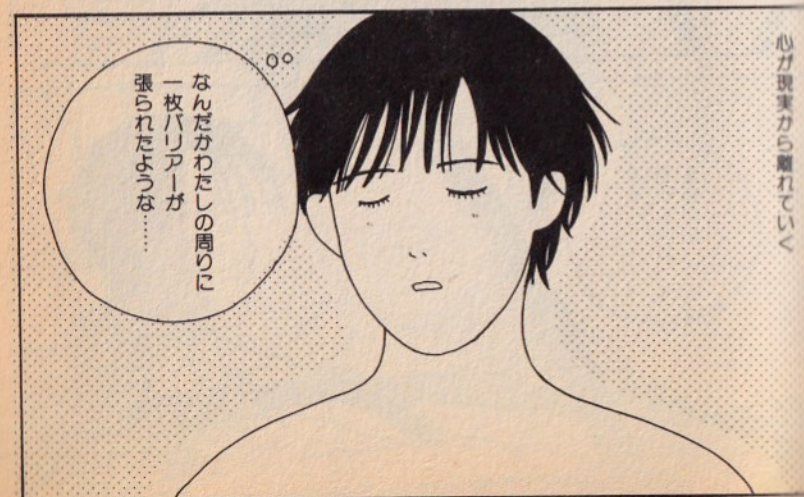
明日〇〇の
取材に行くぞー
ふんふん

なんか
心が動かない

食べたく
ないなー



そうか
なんだかんだ
言っても
デユバは
神々に祝福
されているなあ



心が現実から離れていく

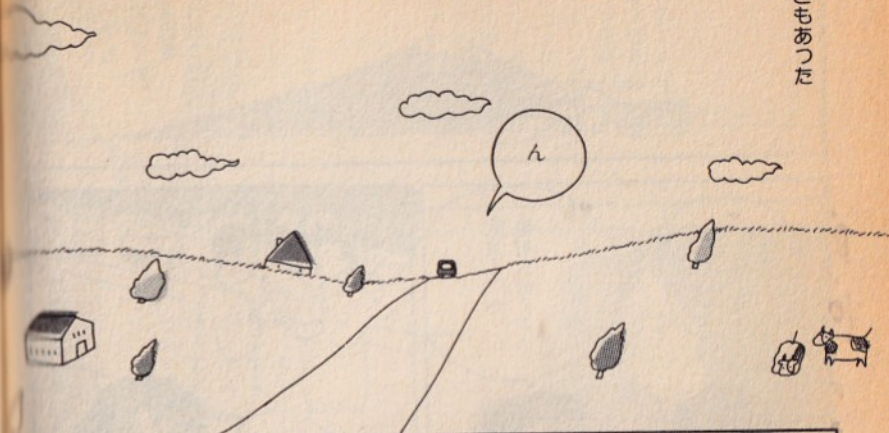
〇〇
なんだかわたしの周りに
一枚バリアーが
張られたような……

このような形で死と対峙する人が
できたのは

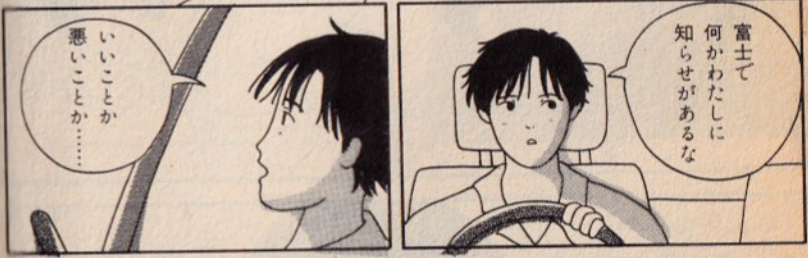
修行者としてやはり喜ぶべきことなのだろう



こんなこともあった

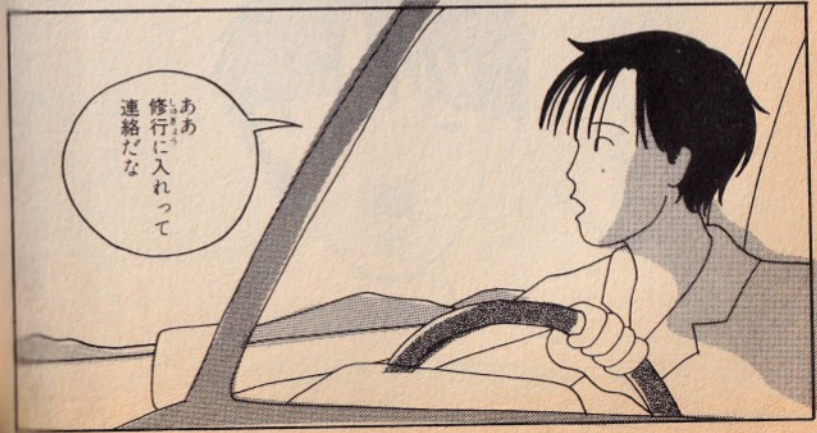


ん

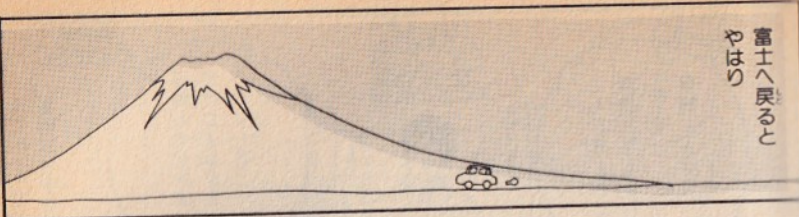


富士で
何かわたしに
知らせがあるな

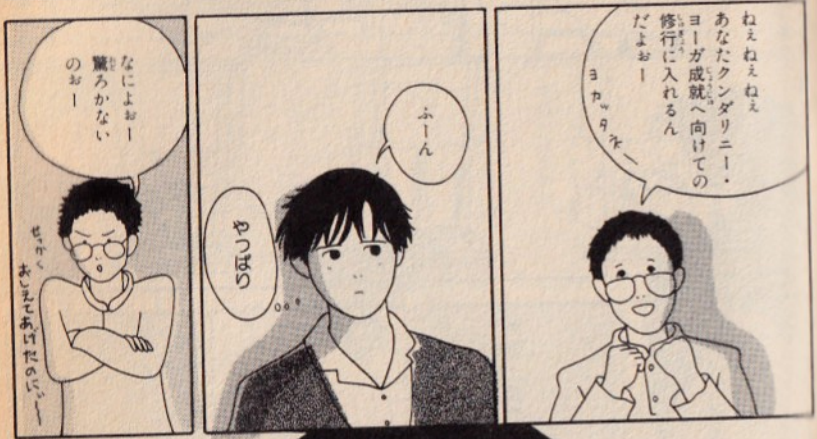
いいことか
悪いことか……



ああ
修行に入れて
連絡だな



富士へ戻ると
やはり



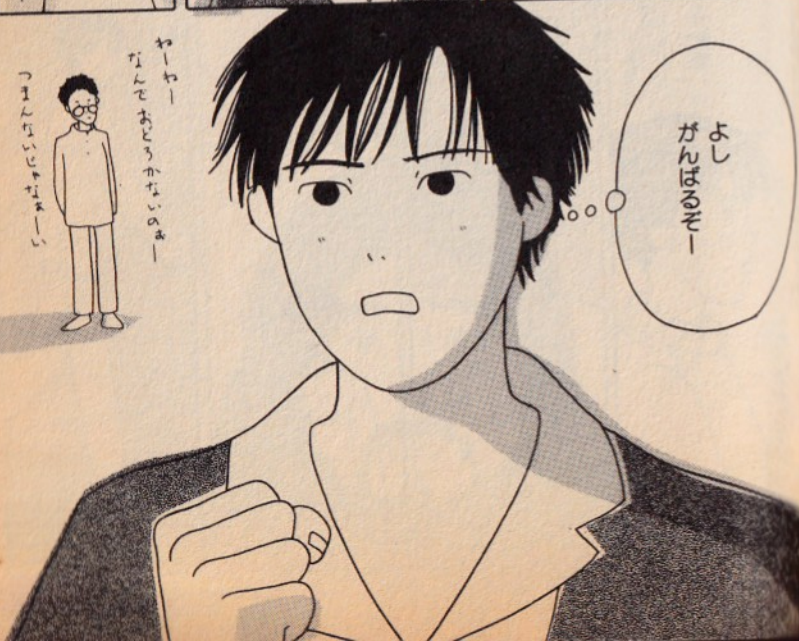
ねえねえねえ
あなたクダリニー・
ヨーが成就へ向けての
修行に入れるん
だよおー

ふーん

さじ

なによおー
驚ろかない
のおー

おじいさん
おじいさん



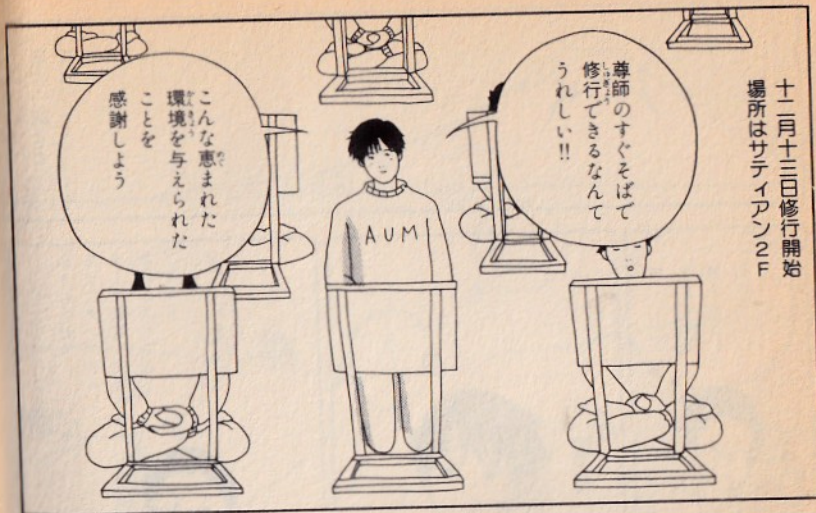
よし
がんばるぞー

わーわー
だんておとうかないのまー



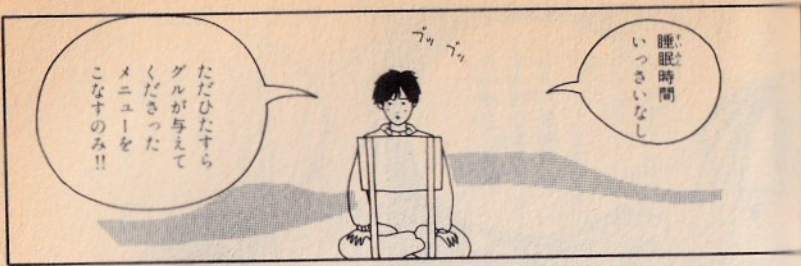
おじいさん
おじいさん

十二月十三日修行開始
場所はサティアン2F



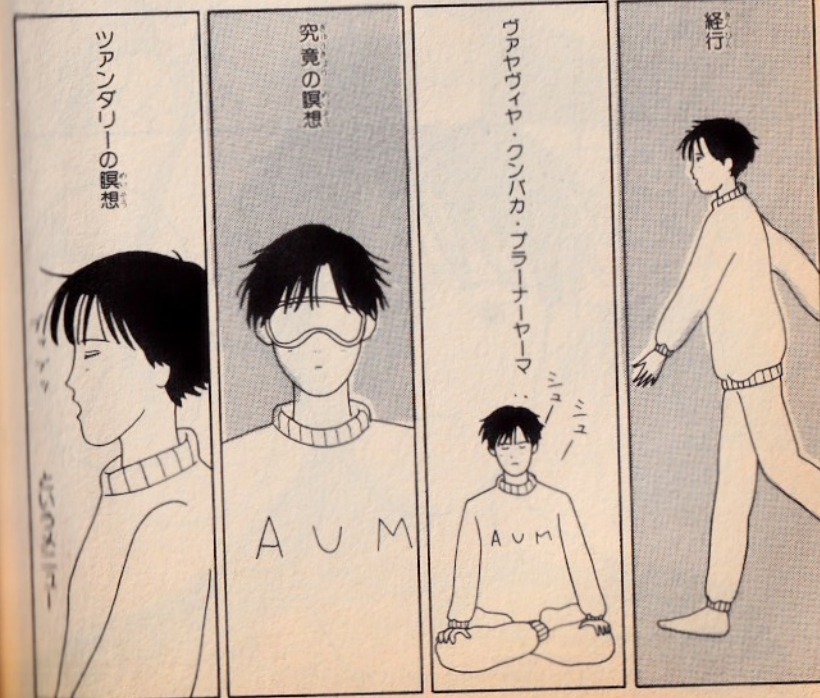
導師のすぐそばで修行できるなんてうれしい!!

こんな恵まれた環境を与えられたことを感謝しよう



睡眠時間
いっさいなし

ただひたすら
グルが与えて
くださった
メニューを
こなすのみ!!

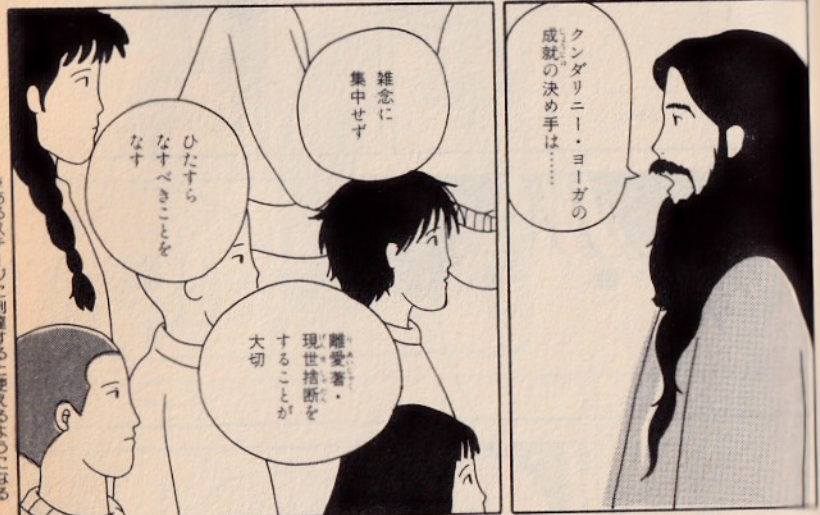


経行

ウアヤワイヤ・コンバカ・プラーナーヤマ...

究^{クワ}竟^{キョウ}の瞑^{メイ}想^{ソウ}

ツァンタリーの瞑^{メイ}想^{ソウ}



クンダリーニー・ヨーガの
成就の決め手は……

雑念に
集中せず

ひたすら
なすべきことを
なす

離^リ愛^{アイ}著^{シヤク}・
現^{ゲン}世^セ捨^{セツ}断^{ダン}を
することが
大切

*あるステージに到達すると使えるようになる
異次元で活動する身体の一つ。



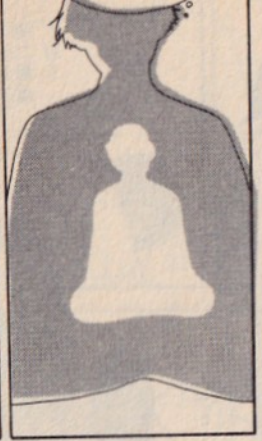
眠りを
シャットアウト
すれば

*^{クワ}究^{キョウ}の
変^{ヘン}化^カ身^{シン}の
体^{タイ}験^{ケン}が
起^キこ^コる
は^ハず^ズで^デあ^アる

身体が
フワフワ
浮き上がる
みたい



内側に
別の存在が
感じられる



自分が
なくなつて
しまったのでは
ないだろうか



スー

結局
成就って
死の体験を
すること
なんだろうな



あの伊豆の体験
を今回の修行で
もう一度時間を
かけてたどること

それが
解脱への道
なんじゃ
ないかな



明日から
食事と水を
抜いてみよう



もうわたしは
死ぬことは
怖くない



そうすれば
早く死の体験が
できるだろう



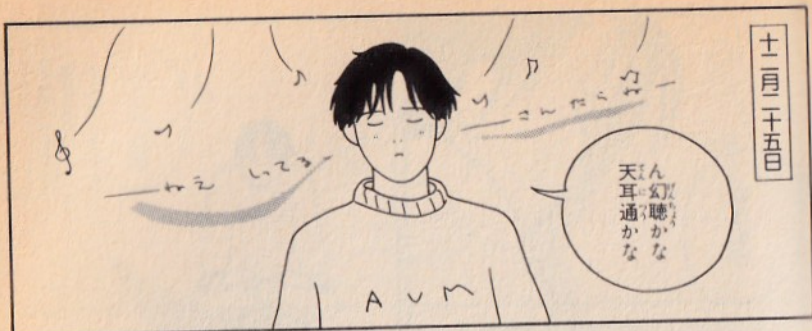
吸い込んだ空気が
ハチミツのようだ



自分が微細な
快感そのものに
なった感じだ



十月十五日



ん 幻聴かな
天耳通かな



天耳通には
音楽が併います

導師
幻聴と天耳通の
区別は
どうつけるんですか

神々の声が聞こえたり
神々と自由に話ができれば
完全な天耳通だね

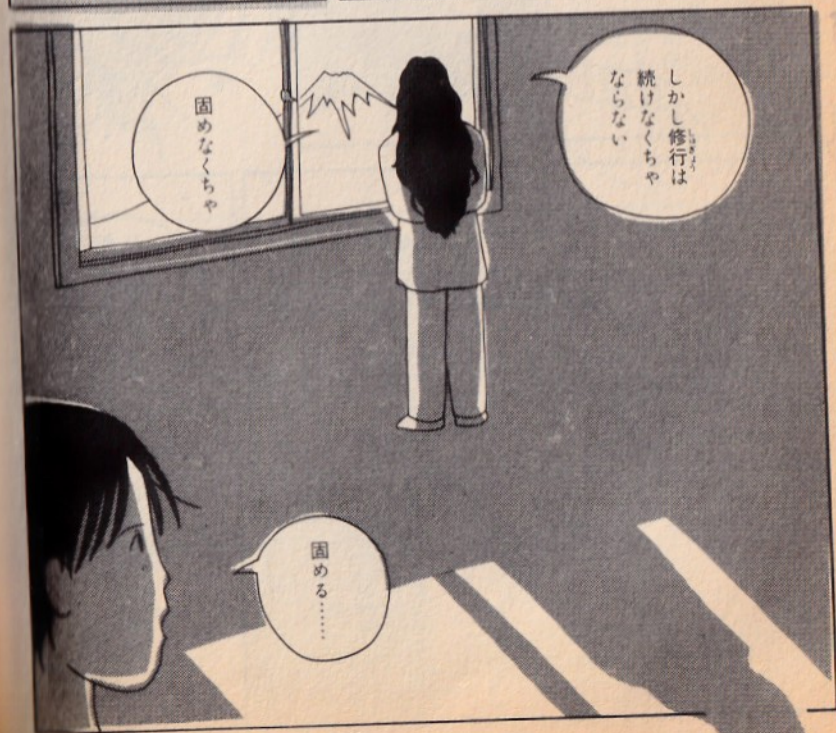


モーカー
まだまだ
修行の先は
長い!!



あと
一週間も
しないうちに
成就するぞ

それは
第二静慮
である



しかし修行は
続けなくちや
ならない

固めなくちや

固める……

十二月 二十六日

※保愚すること

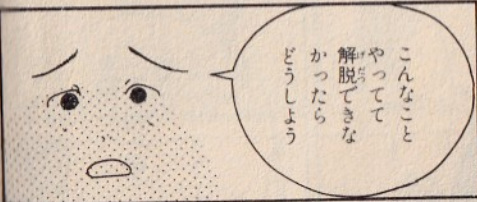
クンバカガ



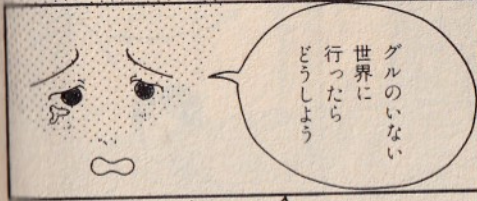
限界まで



できない



こんなこと
やってみて
解脱できな
かったら
どうしよう



グルのいない
世界に
行ったら
どうしよう



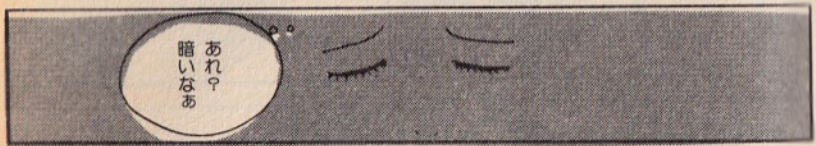
絶対に解脱して
尊師について
いなくなっちゃ

十二月 二十九日

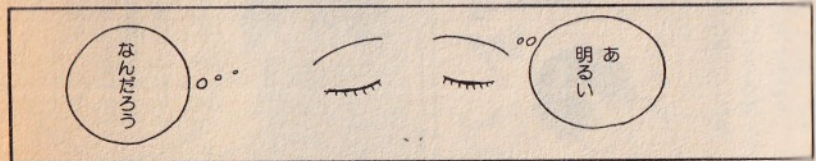
強い光が右側から射し込む



それからというものの
冥想空間が
ただ明るい



あれ？
暗いなあ



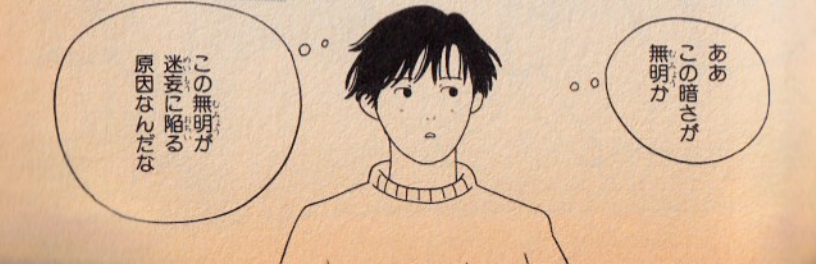
あ
明るい

なんだろっ



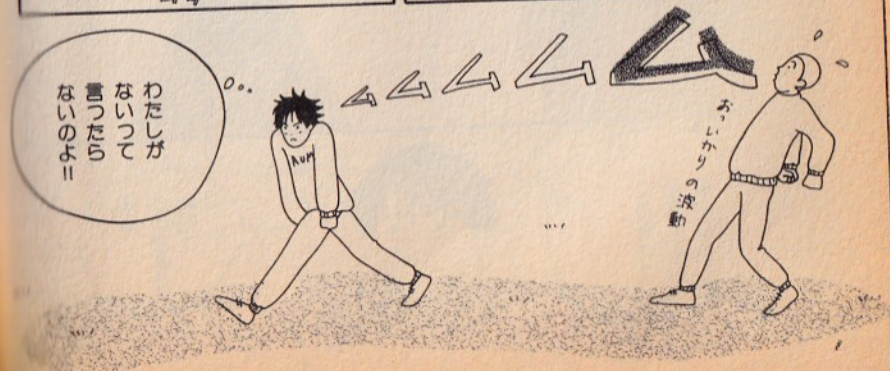
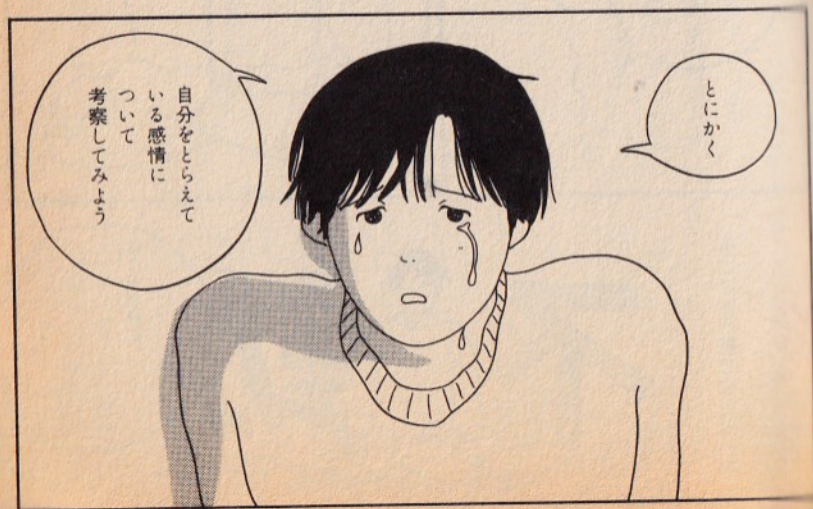
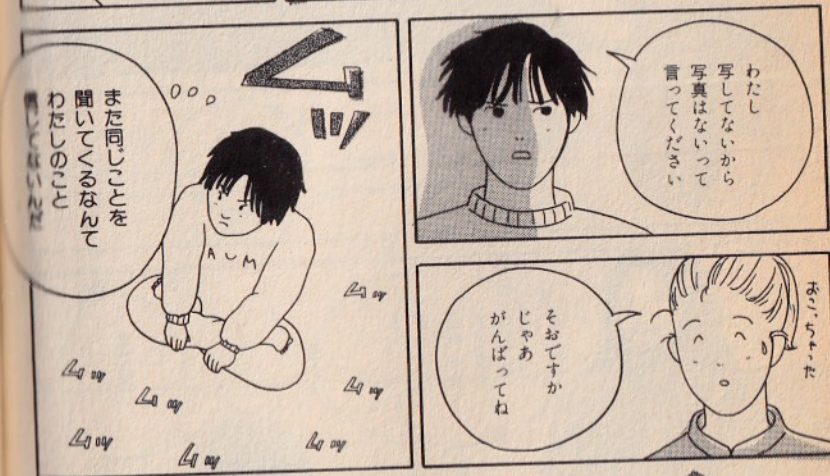
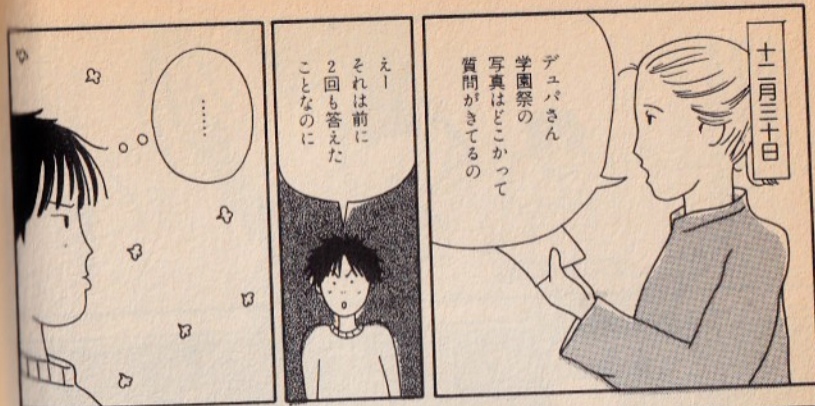
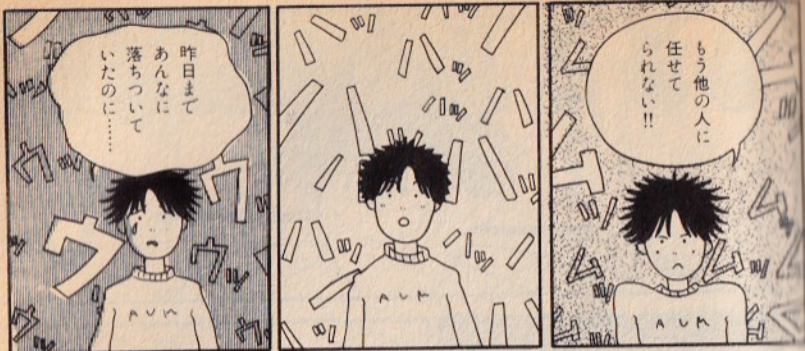
まだ暗い

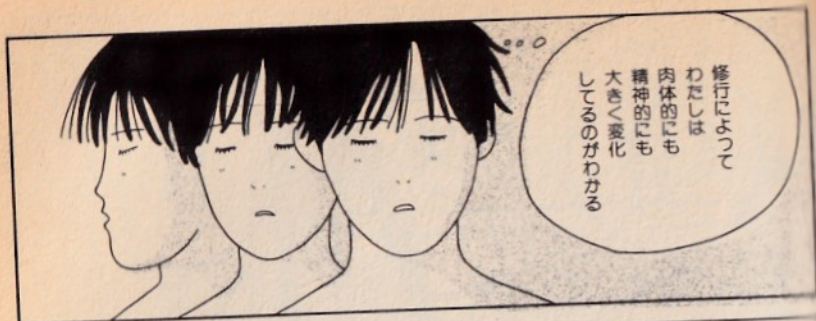
おっ
デユバに
無明が出て
きてるな



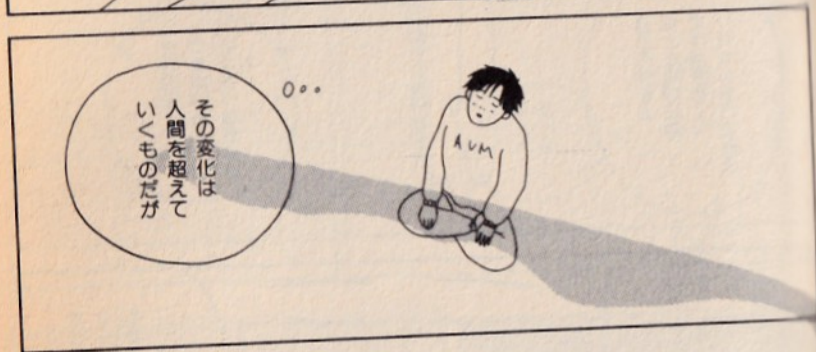
ああ
この暗さが
無明か

この無明が
迷妄に陥る
原因なんだな

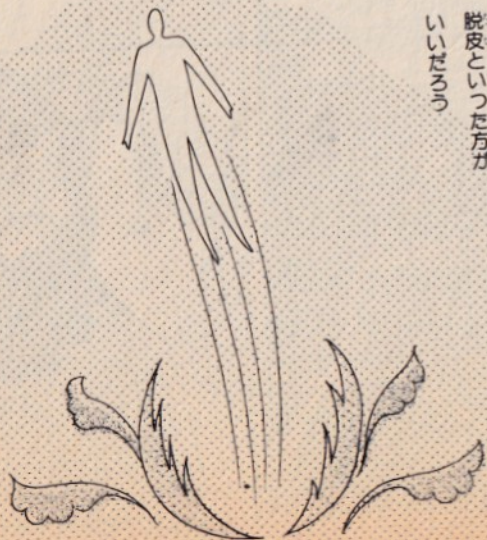




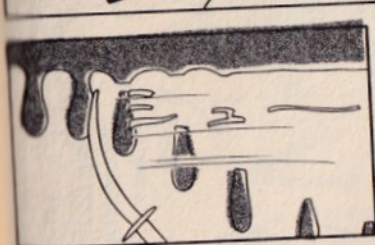
修行により
わたしは
肉体的にも
精神的にも
大きく変化
しているの
がわかる



その変化は
人間を超えて
いくものだが



変化というより
より高い存在への
脱皮といった方が
いいだろう



え!?
すごいエネルギーだ
なんだろう……

胸が締めつけられる



あつ……
心がビタリと
止まった……

そこには不動の自分がいた



これが
クンダリニー・ヨーガの
悟りの状態か



一月一日

身体が固定される

強い
意識
で



右側から光が押し寄せ

光への
没入だ……



外枠が突然破裂して内側の意識だけが上昇した

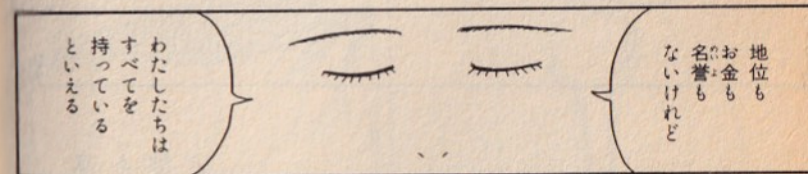


食へるために
働く必要がない

世間的な
つきあいも
いっさい必要ない

導師が修法された
最高の食へ物を
食へ

自己の霊性の
向上と心の成熟
だけを求めて
ひたすら修行できる



地位も
お金も
名誉も
ないけれど

わたしたちは
すべてを
持っている
といえる



一日三回 心が成静へる瞬間

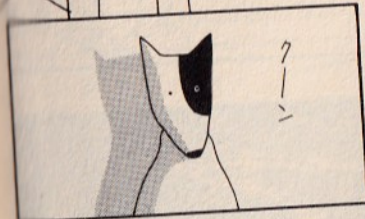
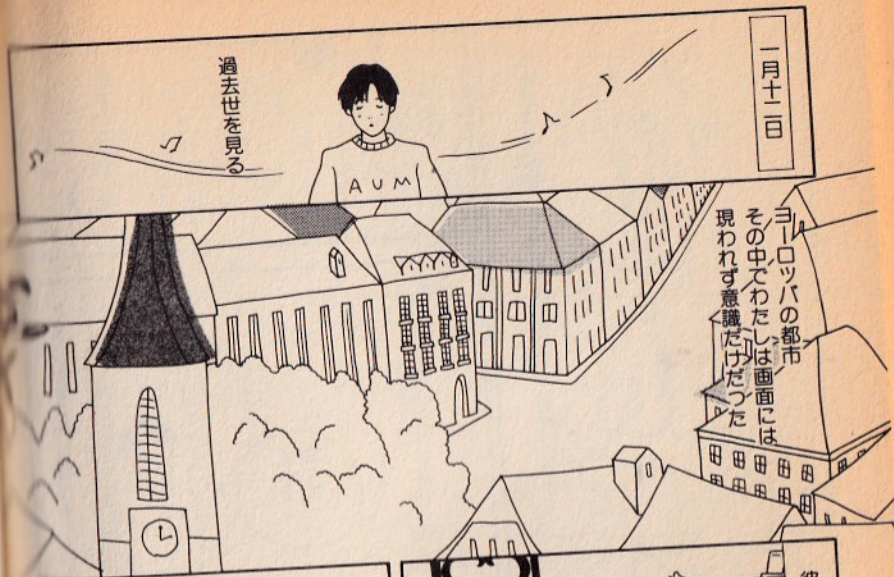
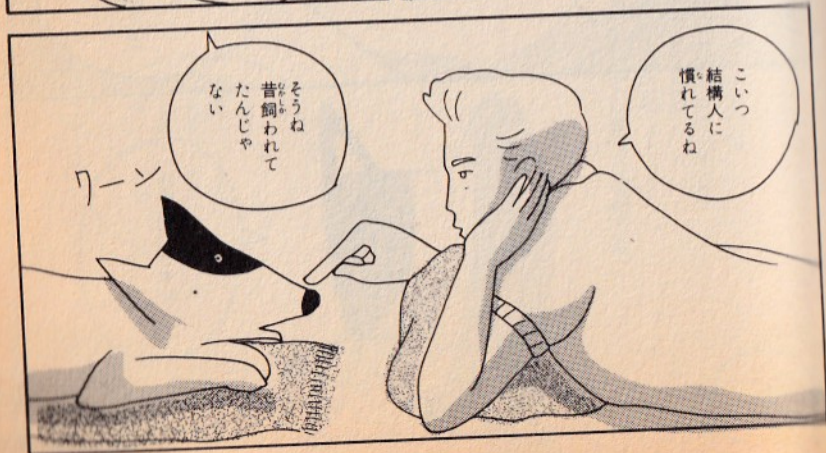
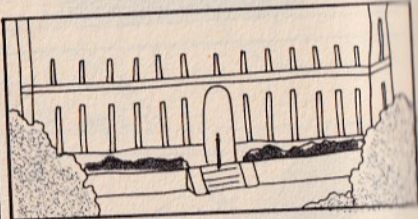
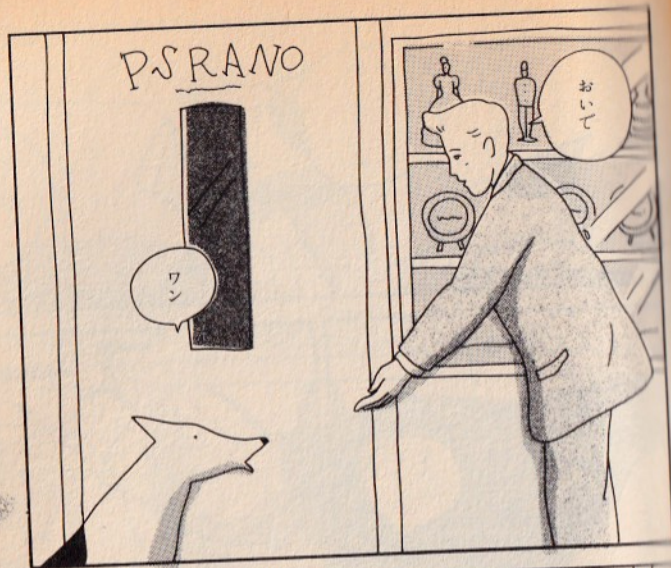


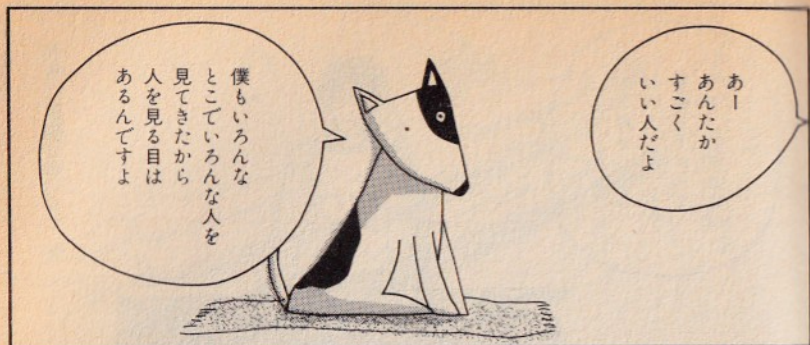
もう……
何もいらない

導師ありがとうございます

こんな素晴らしい
環境を
与えてくださって

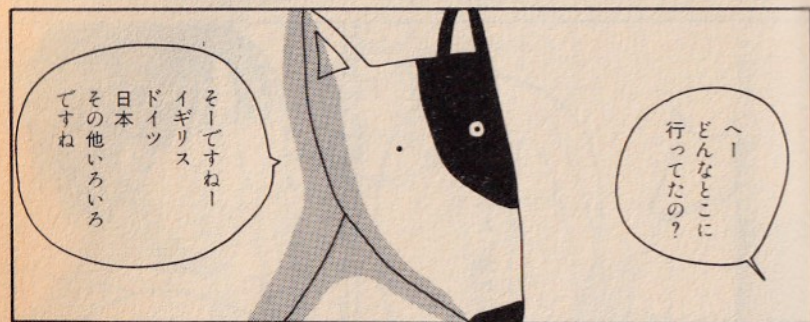






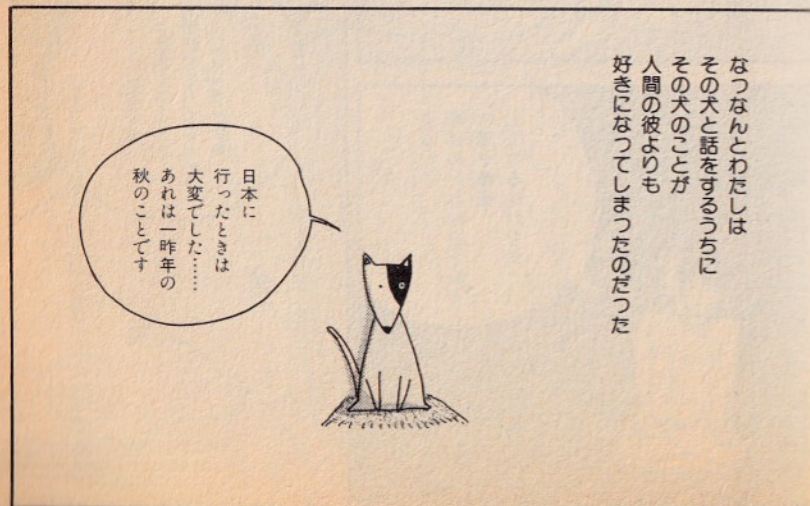
僕もいろんな
とこでいろんな人
を見てきたから
人を見る目は
あるんですよ

あー
あんたか
すごく
いいんだよ



そーですねー
イギリス
ドイツ
日本
その他いろいろ
ですね

へー
どんなとこに
行ってたの？



日本に
行ったときは
大変でした……
あれは一昨年の
秋のことです

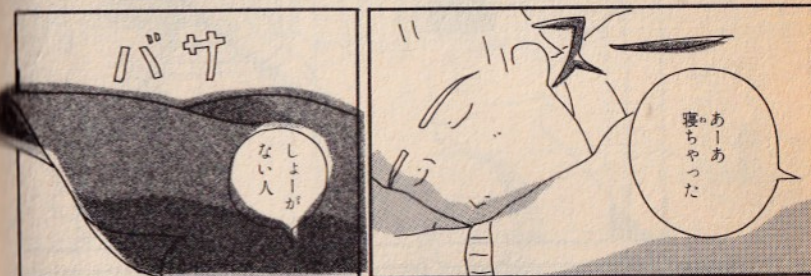
なつなんとわたしは
その犬と話をするうちに
その犬のことが
人間の彼よりも
好きになつてしまったのだつた



だいたいようが
だよ……

そんな所で
寝るとカゼ
ひくよ

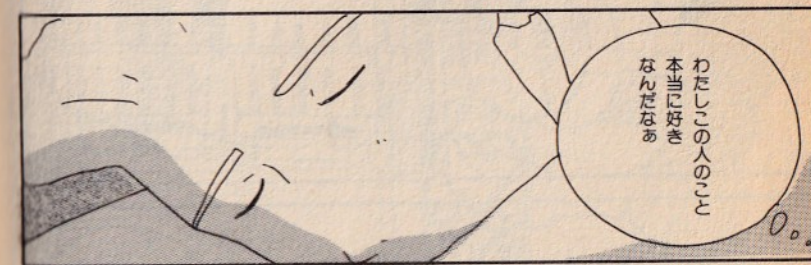
クーン



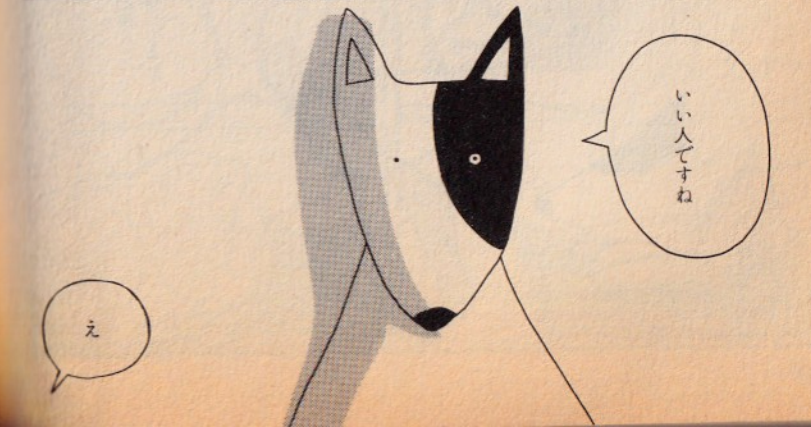
バサ

しょーが
ない人

あーあ
寝ちゃった

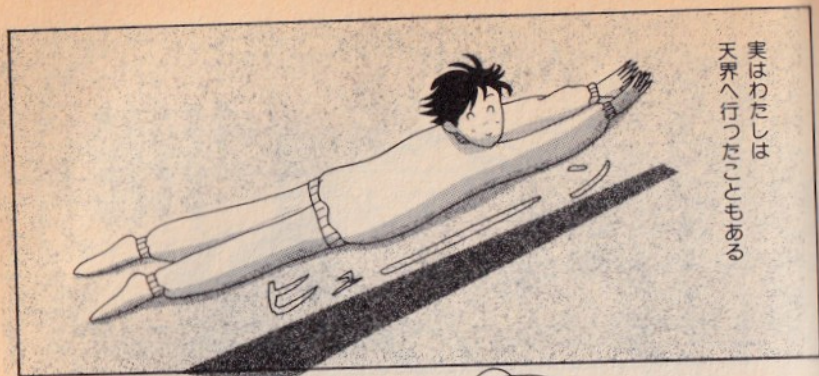


わたしこの人のこと
本当に好き
なんだなあ



いい人ですね

え



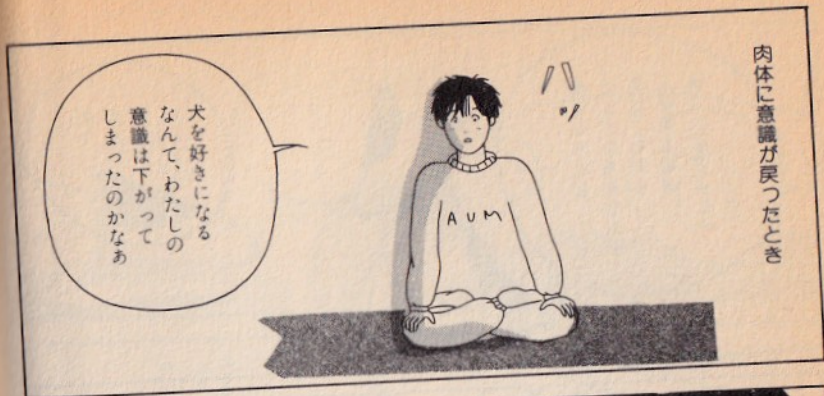
実はわたしは
天界へ行ったこともある



ものすごく美形の天使がいた

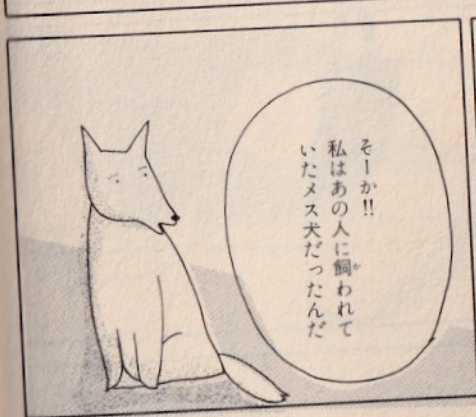
さて
今日は
何して
遊ば

わたしには彼の考えていることがわかるのだ



肉体に意識が戻ったとき

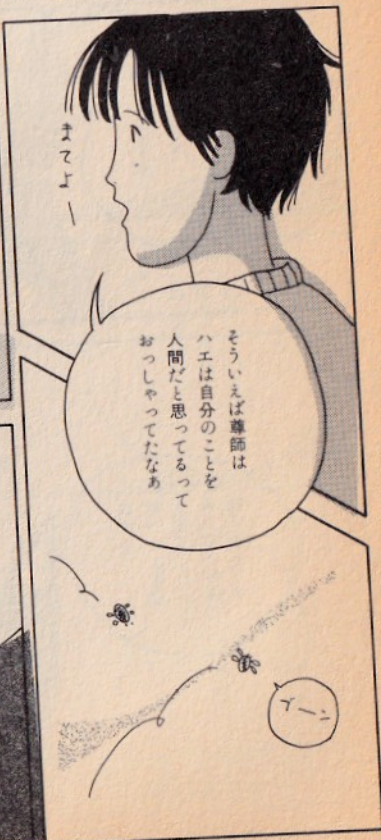
犬を好きになる
なんて、わたしの
意識は下がって
しまったのかなあ



そーか!!
私はあの人に飼われて
いたメス犬だったんだ

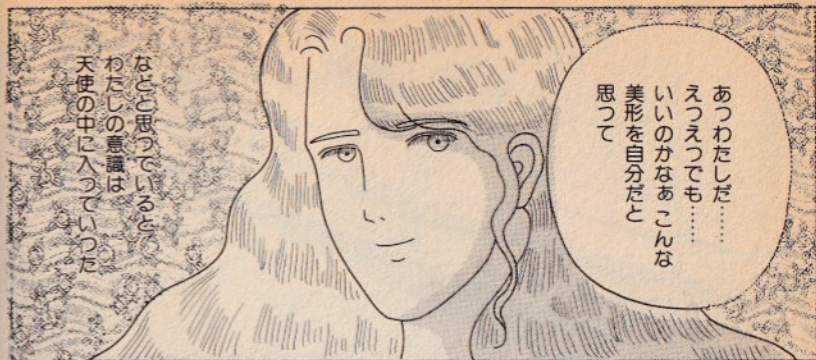
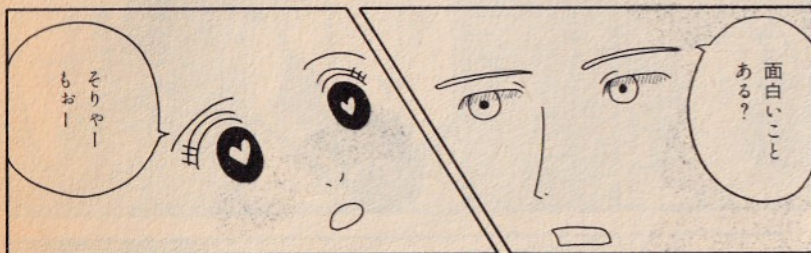
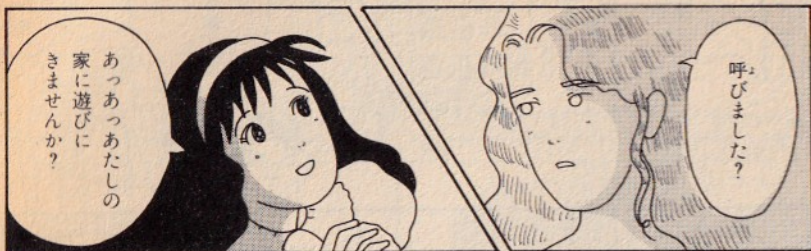
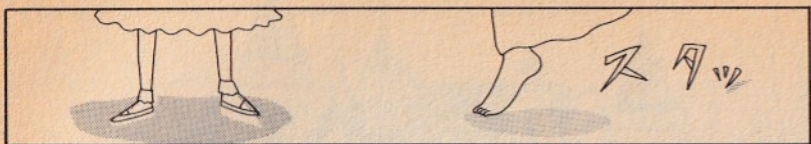


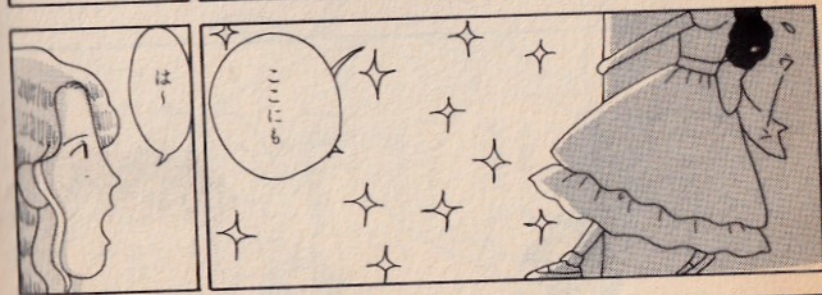
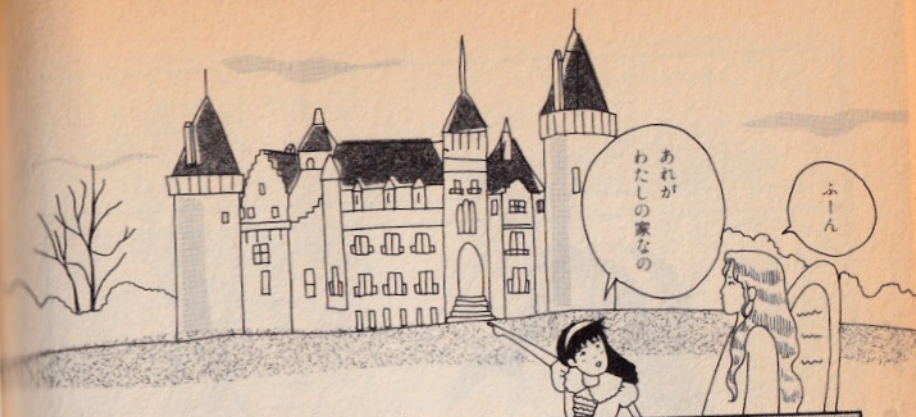
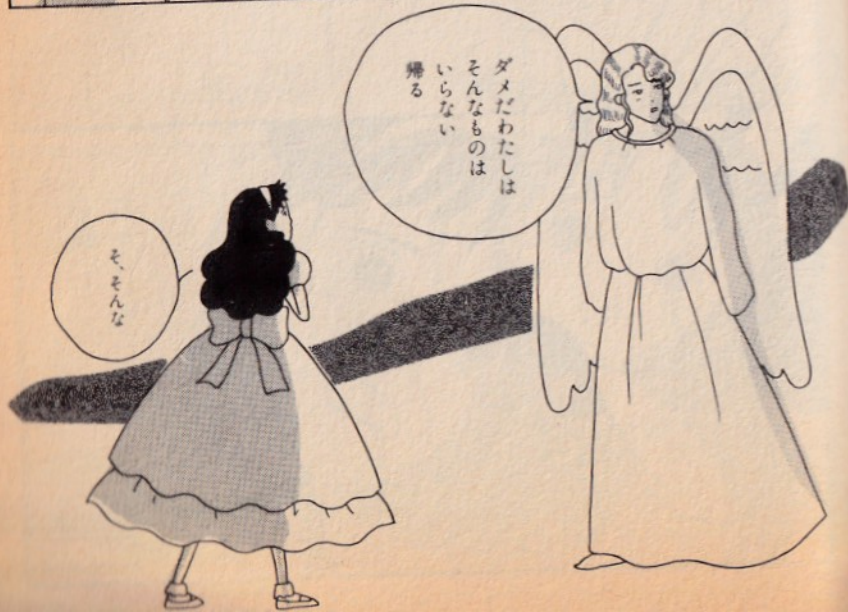
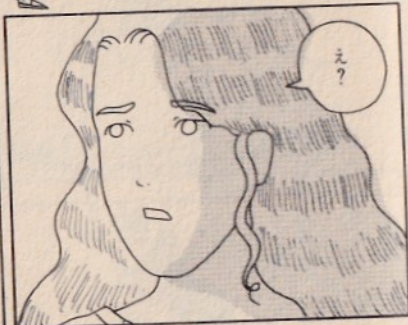
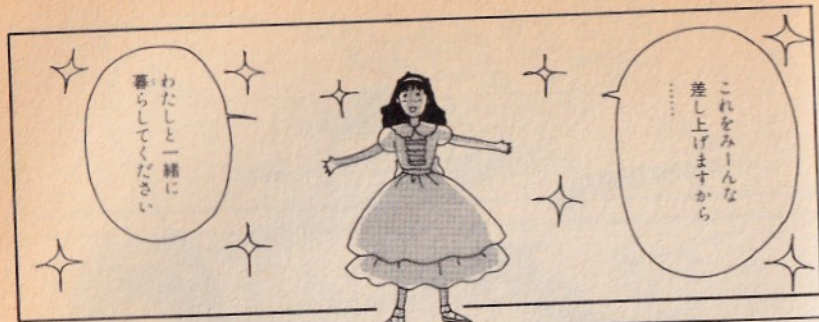
まさしく
導師のいわれるとおり
六道を輪廻
しているんだなあ

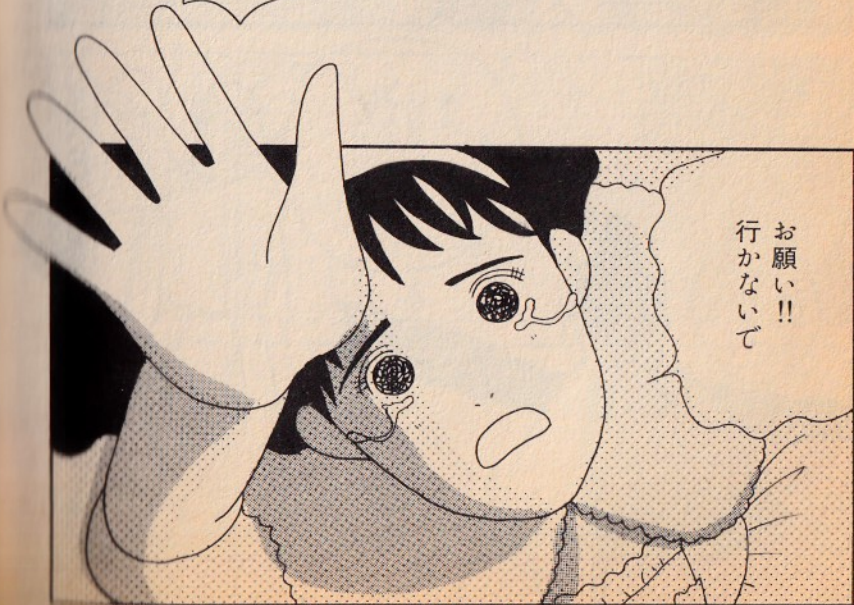
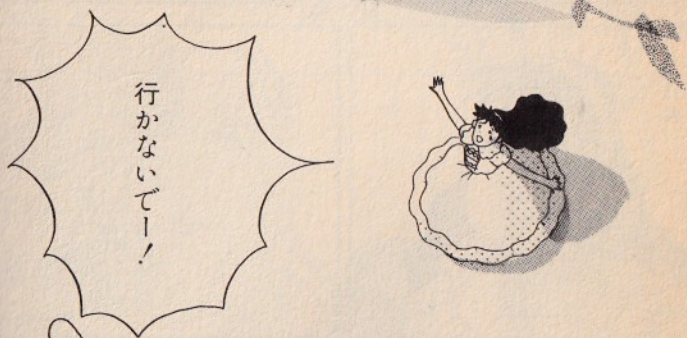
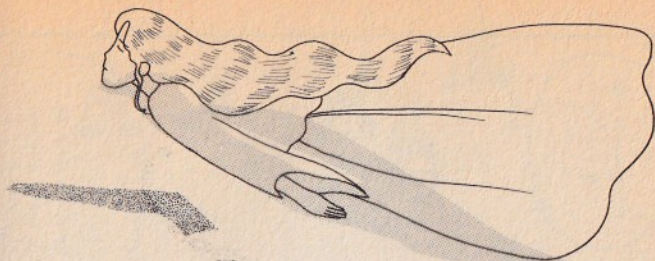
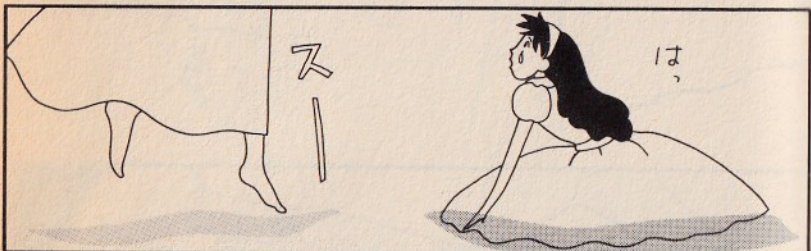
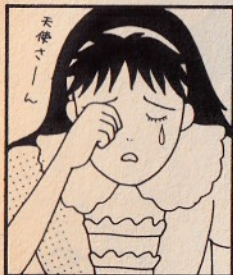
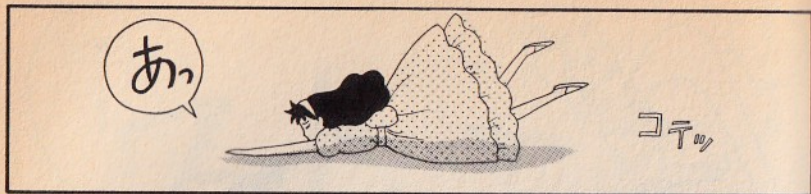


まてよー

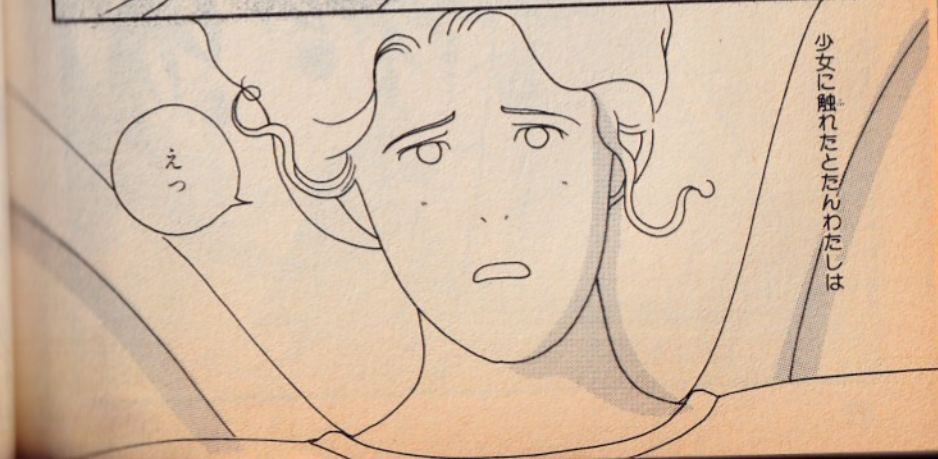
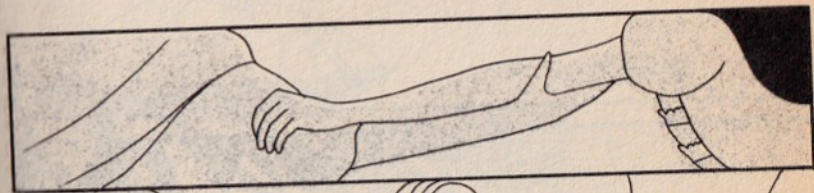
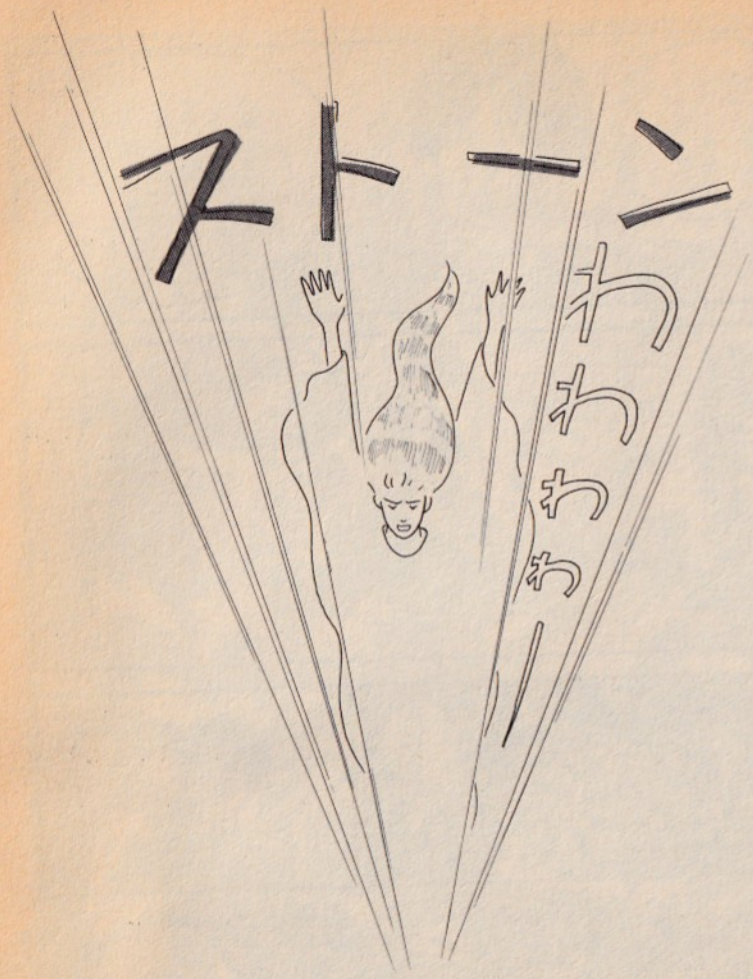
そういえば導師は
ハエは自分のことを
人間だと思ってるって
おっしゃってたなあ







落ちてしまった



少女に触れたとたんわたしは



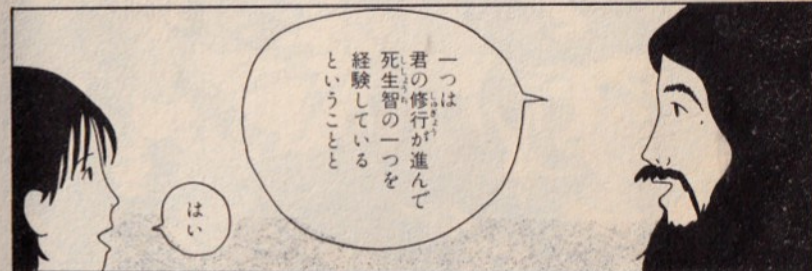
本当に導師は
すべておみとおしだ

がんばりなさい



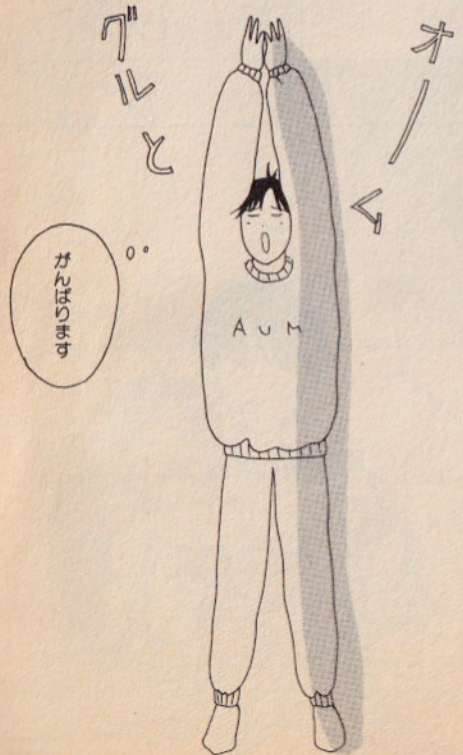
においがあります
その体験は
正しい体験です
その体験には
二つの意味がある

においについて導師は
お伺いします



一つは
君の修行が進んで
死生智の一つを
経験している
ということ

はい



がんばります

十四日の立位礼拝もあとわずか
というところになってなぜか苦しくなり
修行をドロップアウトしようかと
弱気になっていたところだった



もう一つは

君が下向した
場合に行く
世界だと
いうことだね

ググ



はい



*修行者が煩惱に負けて現世に落ちた

一月十七日

導師

三、四日前から
食欲が生起して
いるんですが
食事を取った
方がいいのでしょうか



断食するための修行を
しているわけではないから
だいたい一カ月が限度だよ
欲しくなったら取りなさい



とうとうと一カ月と一日ぶりに食事をすま

それにしても
人間は食べなくても
生きていけるんだ
これはすごい!!



一カ月に及ぶ修行もそろそろ
終わりに近づいた感じがあつた

修行メニューも
こなしたし



クンダリニー・
ヨーガ成就の
判定基準も
クリアしたし
そろそろ終わり
かな?

ところが……



あーん

二月に入つてすでに
切れると思つていた食の
煩悩にさいなまれて

量が増えてきて
止められない……
どーしょー



そんなとき

アンダーグラウンド・
サマデイに入りなさい

え!



四日間の
アンダーグラウンド・
サマデイに入ること
になったのである



グルノシウェア大神？
お守りください

こうしてわたしは
食の煩惱を捨断
できないまま、目を
つむるような思いで

不思議な空間

普通の暗い
部屋とは違う



そうまるで
人間が死後
体験する
バルドーのよう

地中の密室



でも今回のわたしの
修行はもう終わりの
ような気がするし



どうしよう
サマデイに入れる状態じゃない

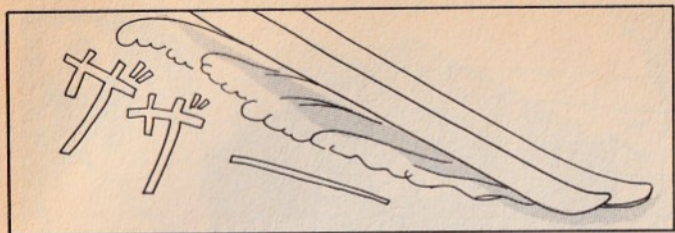


次のステージ
目指して
徳積みたいし



まあグルが入れと
おっしゃっているのだから
何とかなるでしょう

わー
導師



三〇〇

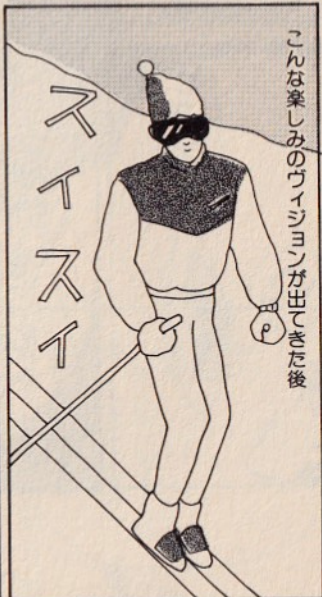


あー
横に
なりたい



えっ

えっ

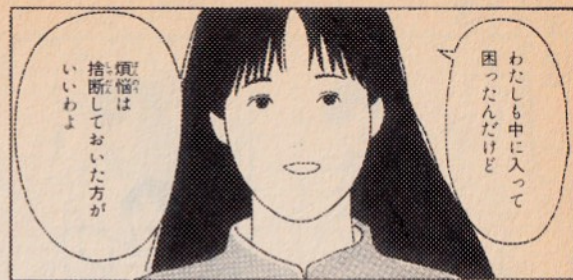


こんな楽しみみのウイジョンが出てきた後

ス
イ
ス
イ

何てことだろう
神聖なチェンパーで
横になって
寝たいなんて……

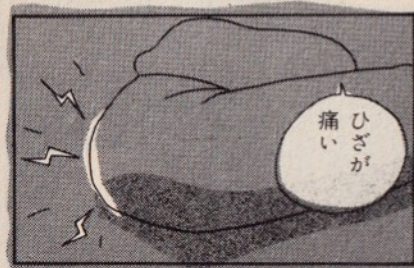
これは
動物のカルマ……



わたしも中に入って
困ったんだけど

煩惱は
捨断しておいた方が
いいわよ

……とサクラ正悟師が
おっしゃったとおり
わたしのチェンパー体験も
その一言に尽きた



ひざが
痛い



痛

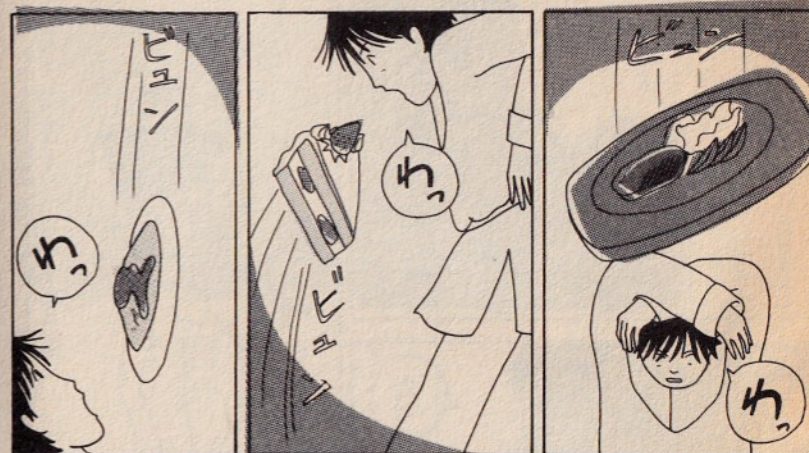
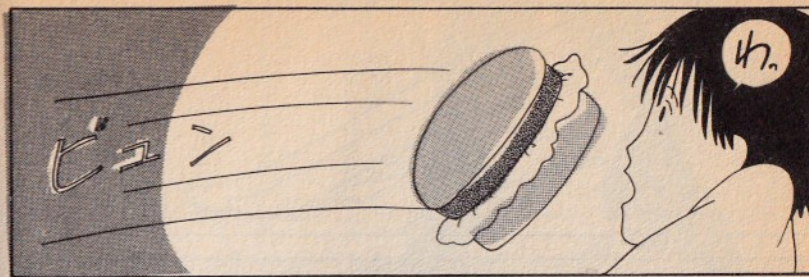
チェンパーに入ってますが初めに……

二カ月の修行中
あんなに
安定して
長時間
蓮華座が
組めていたのに
……

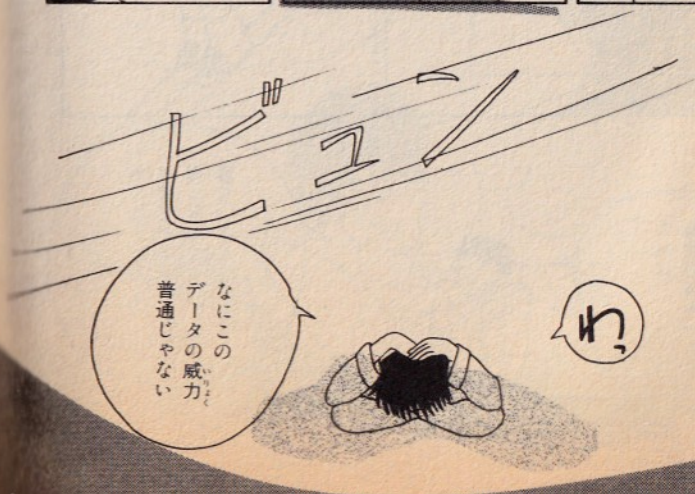


いたい

地獄のカルマでひざが痛み出した

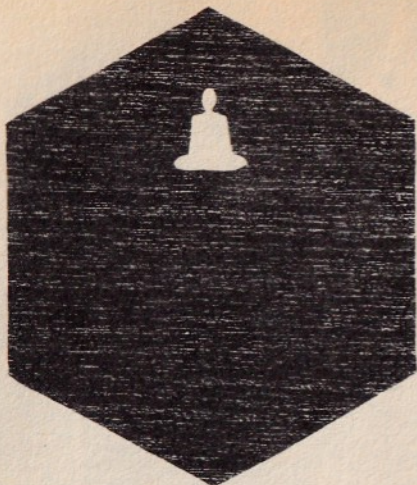


一五〇キロの剛速球のごとく
食べたものが次から次へと出てきた

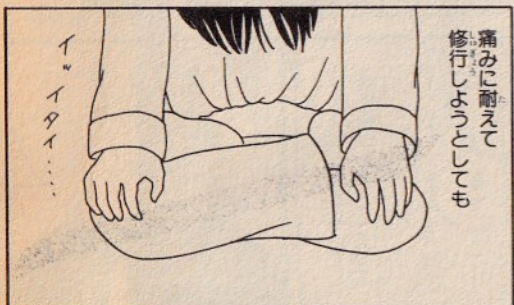


なにこの
データーの威力
普通じゃない

結同チエンバーの中で
わたしは自分の
三悪趣のカルマを



身に染みて
証悟したのだった



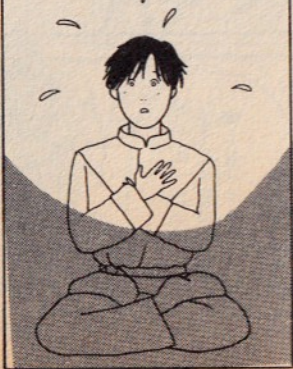
痛みに耐えて
修行しようとして

地獄 + 動物



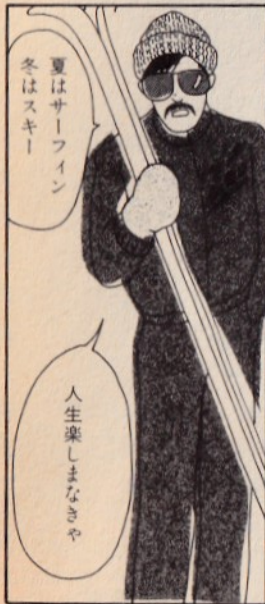
動物のカルマである
妥協の心によつて
それができない

地獄動物餓鬼
これは三つセットで
抜けられないんだ





それでも
こんなに
三悪趣の
カルマが
あるとする



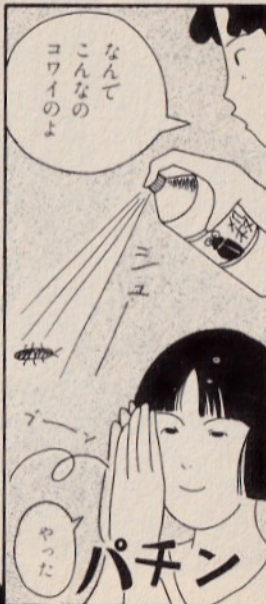
夏はサーフィン
冬はスキー

人生楽しまなきや



何食べる

〇〇の
フランス料理は
〇〇の
スペイン料理
がいいよ



なんて
こんなの
コワイのよ

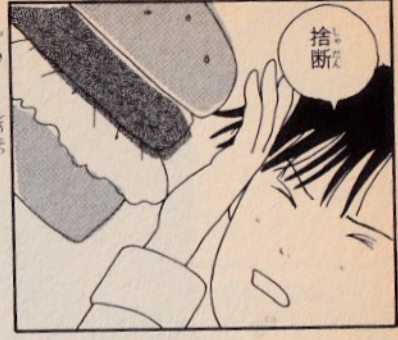
パチン
やった



楽しんでもう

できない
まい

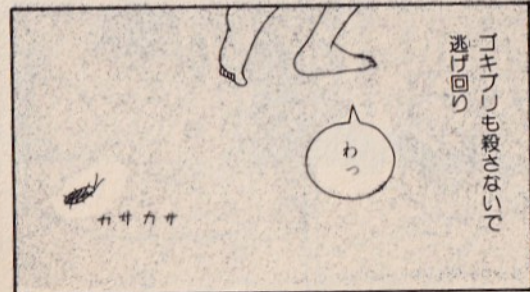
餓鬼 + 動物



捨断



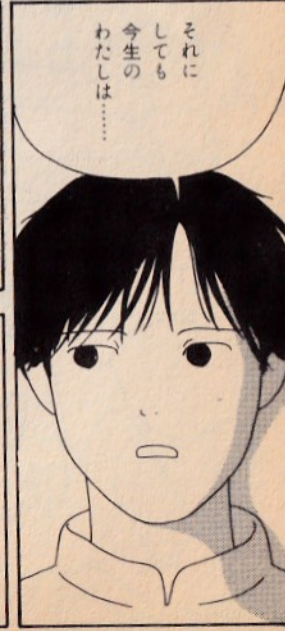
これじゃあ
三悪趣から
脱却できないな



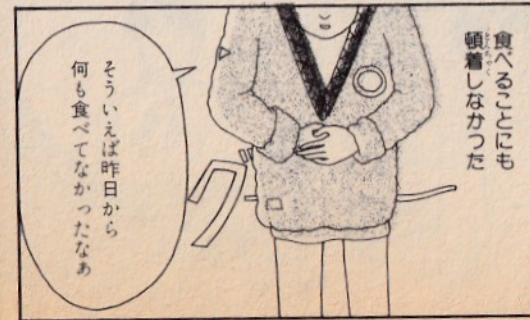
ゴキブリも殺さないで
逃げ回り

わっ

わっかさ



それに
しても
今生の
わたしは……



食へることに
頓着しなかつた

そういえば昨日から
何も食べてなかつたなあ



これじゃあ
知り合いはみんな

三悪趣だなあ



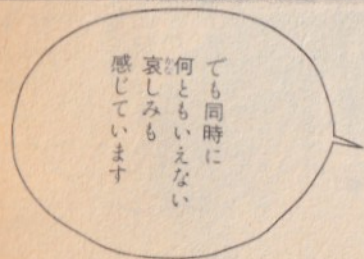
自己の三悪趣のカルマと
対して思ったことは
この人間の魂のほとんどが
三悪趣に落ちるだろうと



どうだ
アンダーグラウンド・
サマデイを終えて



解脱によって
わたしの心は
今大きな楽を
感じています



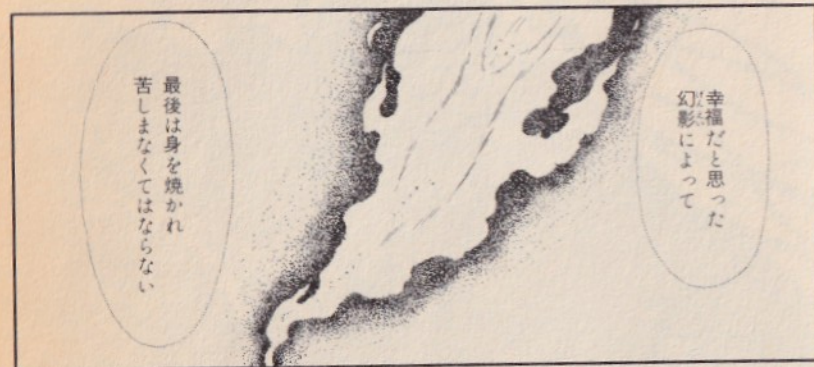
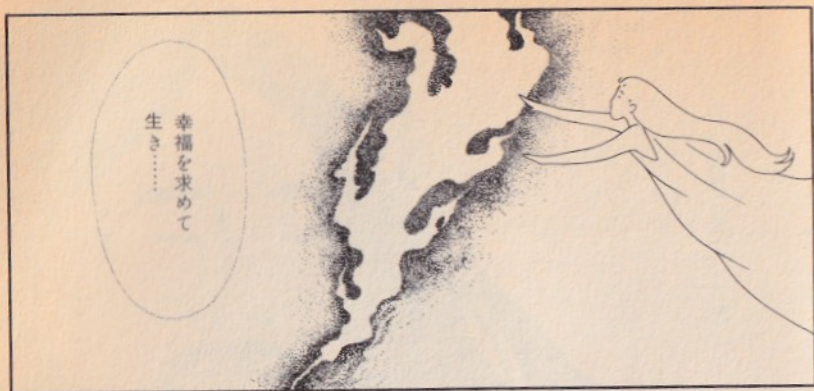
でも同時に
何ともいえない
哀しみも
感じています



その日わたしはクンタリニー・ヨーガの成就者として
オウム真理教の正師として認められたのです。

そして煩惱に苦しんだ
四日間のアンダーグラウンド・サマデイも
無事終えることができた





人間という存在そのものが

哀しいものに思えるのです



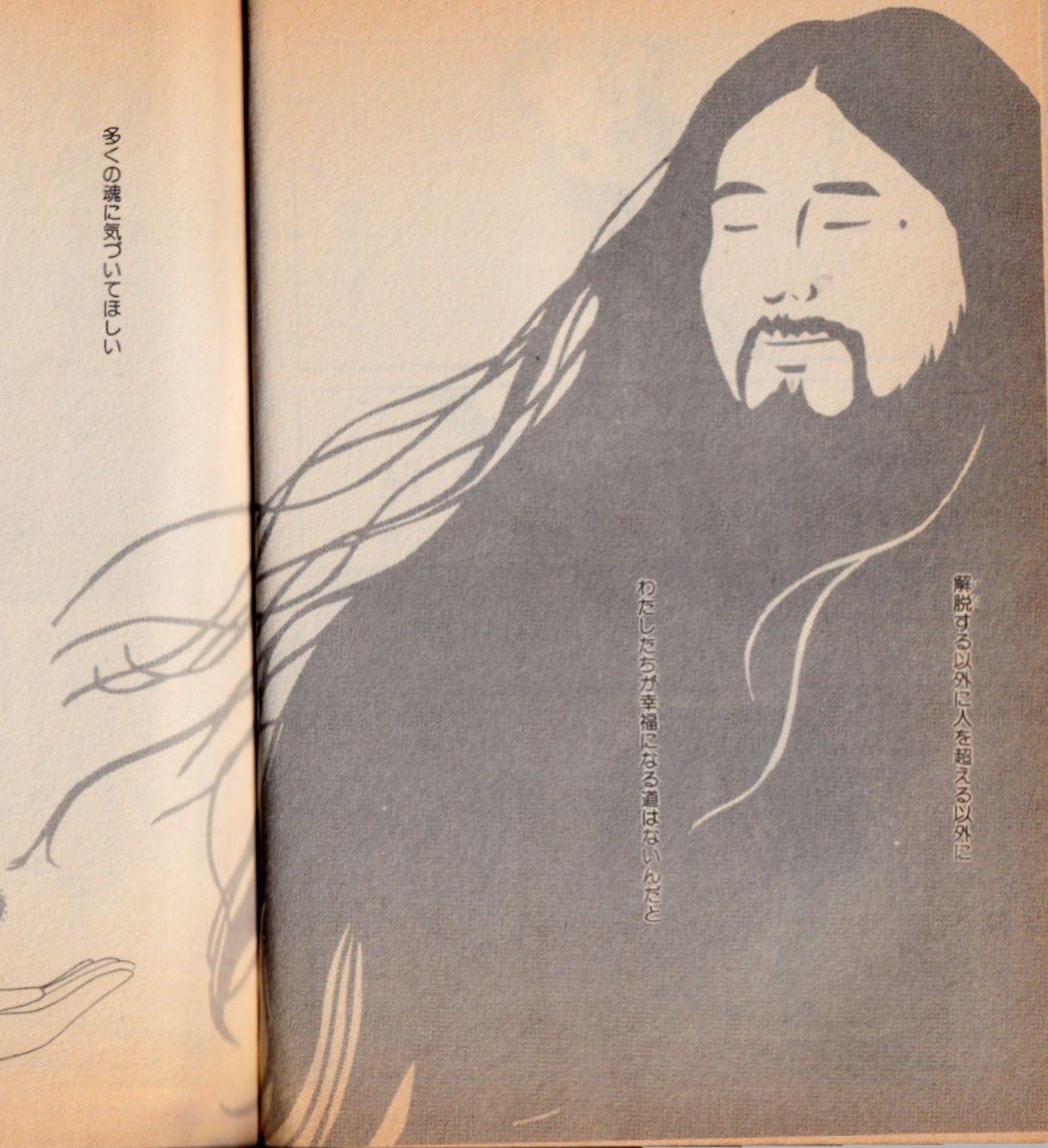
解脱する以外に人を超える以外に

わたしたちが幸福になる道はないんだと

ぬくの舞は降りてこいほつこ

そいつで早く早く本当の幸福をつかんでほしい

そう思いました



信も帰依もない不肖の弟子を、ここまで見捨てずに導いてくださったグルには感謝の言葉もありません。今後は、この偉大なグルの恵みを一人でも多くの人に伝えること、そして自己の修行に精進していききたいと思えます

絶対幸福の鍵を解く!!

生死を超える (改訂三版)



真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師 著

B六判 三二〇ページ / 定価 一八〇〇円(税込)

修行の道は長く、険しい。
だが、ここにそれを乗り越えて、
最終地点に到達した一人の聖者がいる。
生と死のすべてを知りつくし
絶対自由・絶対幸福の
境地を得た一つの魂がいる。

キミの解脱は
約束された!!



真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師が
自らの実体験をもとに真理を説く。
解脱とは何か……、
仏陀釈迦牟尼の遺した
膨大な法則の真実は……
すべてを今、明らかに。

オウム出版

〒154 東京都世田谷区世田谷 2-8-17 / TEL 03 (3439) 6043 / 郵便振替 東京 5-109325


本物の実感!

集え! 千年王国のために……

日々の生活に流され
本当に求める人生を
忘れていませんか。

世界でただ一人の最終解脱者
真理の御魂
最聖 麻原彰晃尊師が説き明かす
真実の法則が
本当の自由・幸福へと
あなたをいざないます。

新しい世界が
今まさに始まろうとしている
この時代に
新人類へと
進化の道を尊師と共に
歩んで……



宗教法人 オウム真理教

資料請求券を貼付したハガキ、または電話にて
最寄りの本部・各支部までご連絡ください。
入会案内等、詳しい資料をお送りします。

SPRIT・
JUMP 2
資料請求券

読者の熱い要望に応じて!

ガネーシャセット

PRESENTED BY AUM PRES

販売開始



「麻原尊師の本を、オウムの本をもっと読みたい……」
そんな読者の熱い要望に応じて、この度「ガネーシャセット」
ができました。
オウム出版が自信を持ってお勧めする数々の本を特別価格
で提供。さらに、なかなか手に入らない「オウムグッズ」まで
プレゼント。これは、またとないチャンスです。

確実に手に入る!

今、爆発的な人気を見せているオウム出版の書籍。
残念ながら書店では手に入りづらい状態になっています。これでは、読者の皆様の「オウム真理教ってなに?」という素朴な疑問にもなかなかお答えすることができません。

そこでオウム出版では、自信を持ってお勧めする「ガネーシャセット」を通信販売で提供することになりました。しかも今回は、発売記念特別価格で、お安く皆様にお届けします。

さらにビッグチャンス

「ガネーシャセット」をお申し込みになった
皆様にもれなくオウムグッズをプレゼント!
特製ポストカード、アニメーションビデオ、尊師の歌のテープ等、
一般ではなかなか手に入らない貴重品です。最近は類似品が出て
いるという噂も……。



わたしは、わたしの生きている限り、
真理を説き続けていきたい。
真理の御魂 最聖 麻原彰晃尊師

ガネーシャセット
5つのラインナップ

●まずは、何も言わずに

Aセット (20冊)
特別価格 **22,000円**

●さあ、もう1歩深く!

Bセット (26冊)
特別価格 **24,500円**

●これで聖者になれる
Cセット (25冊)
特別価格 **21,500円**

●これでもかこれでもかの
Dセット (112冊)
特別価格 **105,000円**

●あなたのお好きな本を——
Eセット (よりどり20冊以上)
定価の **5%OFF**

まほろしの
ヴァジラヤーナガツチャセット

●創刊号～No.10まで
10冊セット 6,800円を
特別価格 **6,000円**

※A～Dセットは、特別価格につき、定価の10%OFFになっております。
※上記の価格は、消費税+送料込みの価格です。

●詳しいご案内をさしあげます。
まずはお電話かハガキにてお問い合わせください。

●お申し込み・お問い合わせ先

オウム出版 〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17 郵便振替/東京5-109325
TEL.03 (3439) 6043 FAX.03 (5450) 3558



この本をお読みにあって、どのような感想をお持ちになりましたか。
あなたのご意見を、ぜひ下記の『スピリット・ジャンプ2』読者係』まで
お送りください。

〒154 東京都世田谷区世田谷2-8-17

オウム出版『スピリット・ジャンプ2』読者係』

◆各道場のご案内◆

富士山総本部

〒418-01 静岡県富士宮市人穴381-1

東京総本部 03 (5467) 2745

〒107 東京都港区南青山7-5-12 マハーボーシャビル2,3F

世田谷道場 03 (3327) 8565

〒156 東京都世田谷区赤堤2-42-5 杉田村松ビル1F

杉並道場 03 (3396) 9393

〒167 東京都杉並区下井草4-4-4 井口ビル2F

札幌支部 011 (241) 4938

〒060 北海道札幌市中央区北2条西2丁目19-1 ナサンホテル本館2F

仙台支部 022 (268) 3904

〒982 宮城県仙台市若林区河原町1-4-20 十全会ビル2F

水戸支部 029 (226) 8044

〒310 茨城県水戸市中央2-1-17 HDビル6F

高崎支部 0273 (46) 1573

〒370-12 群馬県高崎市倉賀野町1081-5

船橋支部 0474 (66) 4965

〒274 千葉県船橋市新高根6-26-18

横浜支部 045 (243) 8079

〒231 神奈川県横浜市中区若葉町3-41-2 コスモ伊勢佐木長者町ビル204

藤枝支部 0546 (46) 2068

〒426 静岡県藤枝市築地堤下11-5

松本支部 0263 (28) 7429

〒399 長野県松本市芳川野溝527-3

名古屋支部 052 (252) 0709

〒460 愛知県名古屋市中区栄5-8-14 万国ビル3F

金沢支部 0762 (51) 8457

〒920 石川県金沢市京町25-20 ソフトオフィスビル2+4 2F

福井支部 0776 (26) 6145

〒910 福井県福井市御幸3-3-41 東伸ビル2F

京都支部 075 (371) 3759

〒600 京都府京都市下京区堀川通り松原上ル五軒町384 松本ビル2F

大阪支部 06 (251) 4264

〒541 大阪府大阪市中央区久太郎町3-2-15 マルイビル2F

堺支部 0722 (21) 1843

〒590 大阪府堺市海山町4-168-9

和歌山支部 0734 (24) 2859

〒640 和歌山県和歌山市駿河町42 和歌山酒販会館2F

広島支部 082 (264) 7252

〒732 広島県広島市南区西蟹屋4-4-18 和田ビル3F

高知支部 0888 (84) 8286

〒780 高知県高知市はりまや町2-8-8 安藤ビル2F

福岡支部 092 (474) 2877

〒812 福岡県福岡市博多区博多駅前2-6-15 第一波部ビル6F

那覇支部 098 (866) 9537

〒902 沖縄県那覇市安里2-4-12 嘉数グラビアハイフ5F

深谷出張所 0485 (74) 8143

〒366 埼玉県深谷市萱場441-8

〈海外支部〉

ニューヨーク支部 212 (421) 3687

8 East 48th St. #2E (2nd Floor), New York, N.Y. 10017 U.S.A.

ボン支部 (0228) 616647

Auf dem Hügel 48, 53121 Bonn, S.R.Germany

スリランカ支部 (AUM SACCA SAṄGHA ASSOCIATION)

Horahena, Watte, Angulugaha, Galle, Sri Lanka

スピリット・ジャンプ 2
〈オウム・コミックス〉

1992年4月19日 初版

定価420円

1995年7月6日 第3刷

監修 真理の御魂^{みたま} 最聖 麻原彰晃^{あきひろ} 尊師

原作 オウム出版広報編集部

作画 AUM MAT STUDIO

発行者 松本知子

石井久子

発行所 株式会社オウム

東京都世田谷区世田谷2-8-17

郵便番号 154

電話 03-3439-6043

振替 東京5-109325

乱丁・落丁がありましたらお取り替えいたします。

© His Holiness the Master, Shoko Asahara 1992

ISBN4-87142-037-X C0079 P420E